

となっている。このコストの中では、農薬費用の割合が直接コストの34.5%、全体の40.3%を占めているのが注目される。

表64 とうもろこしの生産コスト予想 (92/93) A

項 目	CR		US \$		構成比 (%)
	1ha 当り	1俵 当り	1ha 当り	1俵 当り	
労 務 費	53.700	671	13,39	0,17	4,62
種 子	107.934	1.349	26,91	0,34	9,28
肥料石灰	316.369	3.955	78,87	0,99	27,21
農 薬	34.760	434	8,67	0,11	2,99
機械維持費	298.561	3.732	74,43	0,93	25,68
運 搬 費	118.800	1.485	29,62	0,37	10,22
小 計	930.123	11.626	231,88	2,90	79,99
機械償却費	100.675	1.258	25,10	0,31	8,66
金融費用	48.444	606	12,08	0,15	4,17
社会保障費	31.516	394	7,86	0,10	2,71
保 険 料	52.087	651	12,99	0,16	4,48
合 計	1.162.845	14.535	289,90	3,62	100,00

出所：IEA サンパウロ州、パイソブレト地方、機械化により1haあたり80俵収穫の場合1俵=60Kg 92年7月調査

表65 とうもろこしの生産コスト予想 (92/93) B

項 目	CR		US \$		構成比 (%)
	1ha 当り	1俵 当り	1ha 当り	1俵 当り	
労 務 費	13.884	185	3,46	0,05	1,17
種 子	126.659	1.689	31,58	0,42	10,69
肥料石灰	318.057	4.241	79,29	1,06	26,85
農 薬	408.111	5.441	101,74	1,36	34,46
機械維持費	144.794	1.931	36,10	0,48	12,23
小 計	1.011.505	13.487	252,17	3,36	85,40
機械償却費	55.392	739	13,81	0,18	4,68
金融費用	52.683	702	13,13	0,18	4,45
社会保障費	8.148	109	2,03	0,03	0,65
保 険 料	56.644	755	14,12	0,19	4,78
合 計	1.184.372	15.792	295,27	3,94	100,00

出所：IEA サンパウロ州、アシス地方、機械化により1haあたり75俵収穫の場合1俵=60Kg 92年7月調査

### 3. 1. 2 米

#### イ) 生産

表66 米：1991年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単収 Kg/ha
リオ・グランデ・ド・スール	816.5	804.1	3,809.8	4.738
マラニョン	759.0	759.0	970.3	1.278
ミナス・ジェライス	444.4	439.9	784.2	1.783
サンタ・カタリーナ	143.8	130.1	597.1	4.588
ゴヤス	333.1	328.4	524.6	1.579
マット・グロツン	311.9	303.8	466.1	1.534
ピアウイ	274.5	273.4	381.0	1.394
サン・パウロ	191.5	191.5	335.1	1.749
トカンチンス	164.4	163.4	311.2	1.904
マット・グロツド・スール	110.60	101.4	198.8	1.761
その他	679.9	622.3	1,117.7	
全国計	4,229.4	4,127.3	9,495.9	2.301

出所：IBGE

表67 米：1992年の生産状況（92年10月調査）

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単収 Kg/ha
リオ・グランデ・ド・スール	899.7	898.1	4,568.3	5.087
マット・グロツン	616.4	571.7	850.7	1.488
ミナス・ジェライス	436.0	430.8	726.9	1.687
サンタ・カタリーナ	150.9	149.8	689.1	4.599
ゴヤス	429.3	415.4	586.7	1.412
マラニョン	796.5	762.1	399.1	524
サン・パウロ	189.5	189.5	337.2	1.780
トカンチンス	213.2	200.4	319.2	1.593
マット・グロツド・スール	145.8	129.0	224.2	1.739
パラナ	134.0	134.0	216.7	1.617
その他	842.3	818.5	1,056.3	
全国計	4,853.6	4,699.3	9,974.4	2.123

出所：IBGE

IBGE（ブラジル地理統計院）が1992年10月に行った調査結果によると91/92農年における米の生産量は、9,974千トンで前農年を5%上廻ったものと推定されている。このように生産量は、最低に落ち、1990年より徐々に回復しているもの、89年までの11百万トン台には戻っていない。低位の生産は、栽培面積の減少と東北地方における乾燥の被害が影響しているものである。国内の生産地帯の中では、中西部地方における栽培面積が増加しているのが注目される。中でも、マット・グロツン州は、前年303千ヘクタールの面積で、全国6位の生産規模であったものが91/92農年には、88%増の571千ヘクタールに達しており、リオ・グランデ・ド・スール州に次ぐ2位の生産規模へと拡大した。

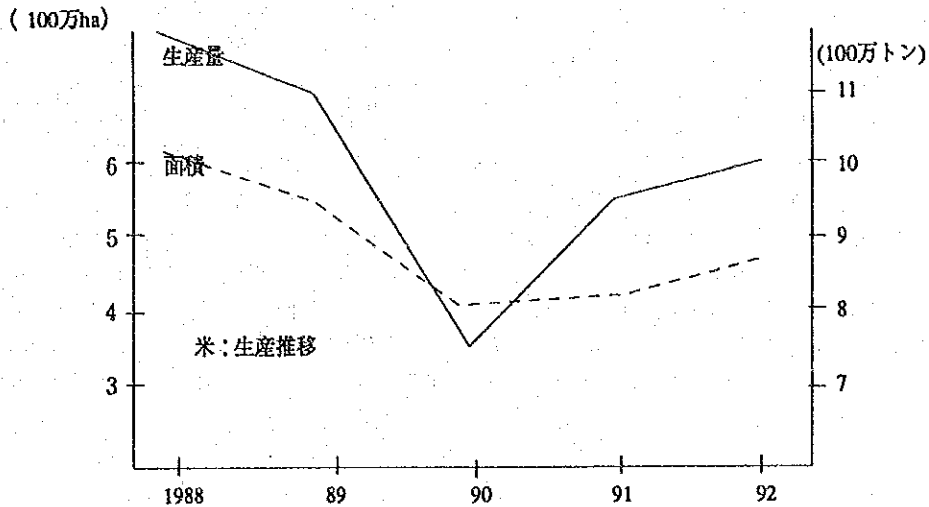


表68 米：過去5ヶ年間の生産推移

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
パラグアイ・ド・スル	3,881.3	3,968.9	3,194.4	3,809.8	4,568.3
マツト・グロツン	973.7	890.2	420.7	466.1	850.7
ミナス・ジェライス	890.8	764.7	580.1	784.2	726.9
サンタ・カタリーナ	553.3	555.1	567.7	597.1	689.1
ゴヤス	1,551.5	1,294.5	307.8	524.6	586.7
その他	3,978.9	3,571.1	2,347.8	3,314.1	2,556.7
全国計	11,809.5	11,044.5	7,418.5	9,495.9	9,974.4

収穫面積 1,000 ha	5,959.1	5,250.1	3,944.9	4,127.3	4,699.3
---------------	---------	---------	---------	---------	---------

出所：IBGE

表69 米：主要生産地の反収

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
パラグアイ・ド・スル	4.786	1.936	4.576	4.738	5.087
マツト・グロツン	1.330	1.453	1.184	1.534	1.488
ミナス・ジェライス	1.538	1.641	1.373	1.783	1.687
サンタ・カタリーナ	3.532	3.585	3.730	4.588	4.599
ゴヤス	1.412	1.546	1.040	1.579	1.412
全国平均	1.982	2.104	1.881	2.301	2.123

出所：IBGE

#### ロ) 国際市場

米国農務局 (USDA) が行った予備調査によると91/92農年における世界の米消費量は、生産量をわずか (1%) に上回る509百万トンと推定されている。需給バランスの差はこのような1%と小さなものではあるが、次年度への繰越在庫量は過去6年間最大の量に達して91/92農年の87.5百万トンを8%減少することになった。92/93農年については、生産量、消費量共521百万トンと推定されており、世界在庫に変化は生じない見込みである。但し、国際間

の取引量は、約7%増加し、20百万トンに達する見込みである。この量は、世界生産量の4%弱である。

米の国際相場は、タイ国産上級品の白米で92年9月時点でBANGKOK渡しUS\$ 290,-/tであった。この価格は、サン・パウロ市場着でCR 93.500,-/30Kgで国産の水稲米（アグリニャ）のわずかに14.5%高の価格となる。この中には、運賃、税金、輸入業者の利益が含まれている。これに対し、米国産品で国産のアグリニャに類似した白米の価格はUS\$ 341,-/tでこの場合もサン・パウロ渡し価格は、国産品と比較して極度に高いものとはならない。

MERCOSUL市場内では、ウルグアイ生産が期待を下廻る560千トン（初）と推定されており、同国の国内消費量90千トンを差引いた480千トンが輸出可能量となっている。この中230千トンは、すでにチリー、メキシコ、ペルー、ボリビア、イラン、イラク等との間に売買契約済みであり、200千トンがブラジルに輸出される見込みとなっている。92年9月の始め頃、ウルグアイ側では、リオ・グランデ・ド・スール州との国境渡しで\$ 12,-/Kgを要求していたがリオ・グランデ・ド・スール州産品がUS\$10,50/Kgで取引されていたため交渉は、具体化されていない。

同じくMERCOSUL圏内のアルゼンチンにおける米の生産量は、578千トンでこの中300千トンが輸出可能量とされており、ブラジルに販売される予定である。

#### ハ) 国内市場

表70 米の国内需給バランス

区 分	87/88	88/89	89/90	90/91	91/92
期首在庫	2.571,3	4.013,5	4.495,5	2.160,9	2.080,7
生産量	11.762,2	11.092,0	7.967,6	9.996,8	10.102,8
輸入量	190,0	200,0	800,3	1.153,0	400,0
供給量計	14.523,5	15.305,5	13.263,4	13.310,7	12.583,5
国内消費量	10.500,0	10.800,0	11.000,0	11.220,0	11.322,2
余 剰	4.023,5	4.505,5	2.263,4	2.090,7	1.251,3
輸 出 量	10,0	10,0	10,0	10,0	10,0
期末在庫	4.013,5	4.495,5	2.253,4	2.080,7	1.241,3

出所：CONAB

注) 期首在庫とは毎年収穫時の3月1日現在ストックを指す。例91/92年の場合92年3月1日

91/92年については92年6月に行われた予備推定値である。

91/92農年は生産量が消費量を下廻る需給状況が3年目に入ったため、400千トンの輸入にかかわらず次期への繰越し在庫は過去5ヶ年間最低の124万トンでわずかに40日間の国内消費を賚う量に止まる見込みである。更に政府在庫は、古米の陸稲で消費者に好まれないため米の供給状況は、極度に悪化して状況にある。

このような需給状況から来年度は116百万トンと予想される国内消費を賚ったあと、次期への繰越し在庫2.000千トンを残すためには、400千トンの輸入と合せ13.2百万トンの国内生産を必要としている。

1992年6月の初めの平均実質価格は、1990年を除き過去の水準に大きく劣るものであった。92年の価格は、サン・パウロ州を除き最低保証価格にも劣るものであったが、7月以降回復に向かっている。

表71 米：収穫期（3-6月）の実質平均価格（92年7月ベース） CR/1俵

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
リオ・グランデ・ド・スール及びサカ・カリーナ	32.610	34.149	24.589	48.371	26.213
サン・パウロ	43.697	50.358	34.237	41.083	31.575
マト・グロソ、マト・グロソ・ド・スール及びゴヤス	38.830	39.804	26.613	42.188	25.529

マラニョン	36.207	42.968	37.720	43.078	28.707
アグリコ種の最低保証価格	40.607	33.308	24.142	28.525	34.037
陸稲の最低保証価格	42.205	31.822	25.276	24.590	30.098

出所：CONAB

表72 米：生産者受取価格（サン・パウロ州）92年7月をベースとした実質価格

月別	1987	88	89	90	91	92
1月	52.931	44.579	53.332	40.168	65.871	44.434
2月	42.076	41.339	51.999	44.587	60.421	39.072
3月	40.778	40.904	48.914	33.005	55.792	32.716
4月	37.498	41.359	50.938	32.175	55.678	31.009
5月	33.037	43.779	51.382	36.352	55.566	30.746
6月	32.621	48.744	50.770	37.884	52.433	34.031
7月	35.087	54.064	41.571	37.501	48.166	35.907
8月	41.464	56.471	44.598	37.106	45.225	...
9月	48.338	56.085	32.680	39.618	47.525	...
10月	47.969	58.510	31.649	44.162	51.715	...
11月	48.886	56.680	29.669	53.296	49.326	...
12月	47.514	58.217	31.295	53.861	44.893	...

出所：IEA

このような低価格のため生産者は、収穫直後の販売を避けEGF（政府の販売融資）によって価格の上昇を待つ方法をとったが、このため約3.2百万トンがEGFの対象として貸付けられた。この中78%が南部地方、12%が中西部地方の割であった。これに対し、政府の買上げ（AGF）は、政府資金の不足もあり、60千トンに止まった。政府としては、政府の買上げを縮少し貸付（EGF）に重点を置く方針でもある。

米の供給態勢を正常化するため政府は、米作の奨励を農業政策の中に組入れ、生産費融資（VBC）の引上げ、最低保証価格の維持を図っており、その反響として次期作付けの拡大が期待されている。

（生産コスト）

サン・パウロ州農務局農業経済研究所が発表した92/93農年の生産コスト予想によると、州内リベイロン・プレット地方における陸稲栽培では、1俵（60Kg）あたりUS\$11,28同じく州内サン・ジョゼ・ドス・カンボス地区において水稲の場合はUS\$9,49であった。

表73 米の生産コスト予想（92/93） 陸稲

項目	CR		US\$		構成比 (%)
	1ha 当り	1俵 当り	1ha 当り	1俵 当り	
労務費	92.325	3.420	23,02	0,85	7,56
種子	64.500	2.389	16,08	0,60	5,28
肥料石灰	266.066	9.854	66,33	2,46	21,79
農薬	2.015	74	0,50	0,02	0,17
機械維持費	346.046	12.817	86,27	3,20	28,33
収穫請負費	116.100	4.300	28,94	1,07	9,51
風袋	43.200	1.600	10,77	0,40	3,54
小計	930.252	34.454	231,91	8,59	76,17

機械償却費	115.187	4.266	28,72	1,06	9,43
金融費用	38.760	1.436	9,66	0,36	3,17
社会保障費	54.186	2.007	13,51	0,50	4,44
保険料	82.892	3.070	20,67	0,77	6,79
合計	1.221.277	45.233	304,47	11,28	100,00

出所：IEA サン・パウロ州、リベイロン・プレット地区 機械耕作1haあたり27俵(60Kg)収穫の場合

表74 米の生産コスト予想(92/93) 水稲

項目	C R		U S \$		構成比 (%)
	1ha 当り	1俵 当り	1ha 当り	1俵 当り	
労務費	182.193	2.603	45,42	0,65	6,84
種子	215.000	3.071	53,60	0,77	8,07
肥料	214.738	3.068	53,53	0,76	8,06
農薬	810.946	11.585	202,17	2,89	30,43
機械維持費	643.833	9.197	160,51	2,29	24,16
風袋	112.000	1.600	27,92	0,40	4,20
小計	2.178.710	31.124	543,16	7,76	81,76
機械償却費	222.480	3.178	55,46	0,79	8,35
金融費用	90.780	1.279	22,63	0,32	3,41
社会保障費	106.929	1.528	26,66	0,38	4,01
保険料	65.754	939	16,39	0,23	2,47
合計	2.664.653	38.066	664,30	9,49	100,00

出所：IEA サン・パウロ州、サン・ジョゼ・ドス・カンボス地区機械耕作1ha当り70俵(60Kg)収穫の場合

注)：ドル換算レート 1992年7月US\$1.=CR 4.011,19 農業融資利息 TR+12,5% (年) 社会保障58,69%  
 保険料：陸稲の場合VBCの11,7%、融資枠80%、水稲の場合VBCの4,7%、融資枠80%

### 3. 1. 3 フェイジョン

#### イ) 生産

表75 フェイジョン：1991年の生産実績

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	単収 Kg/ha
バイア	731,8	704,8	359,3	510
パラナ	639,0	624,0	348,3	558
ミナス・ジェライス	559,3	551,5	333,3	604
サン・パウロ	312,5	312,5	282,9	905
セアラ	678,5	641,5	207,6	324
サンタ・カタリーナ	420,3	374,8	197,5	527
ピアウイ	296,4	295,1	104,9	355
リオ・グランド・ノル	229,0	218,0	99,5	456
ペルナンブコ	392,1	300,2	98,2	327
その他	1.434,9	1.420,4	717,7	
全国計	5.693,8	5.442,8	2.749,2	505

出所：IBGE

表76

フェイジョン：1992年の生産状況（92年10月調査）

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単 収 Kg/ha
パラナ	596,3	595,9	461,2	774
バイア	814,3	728,7	439,9	604
サンタ・カタリーナ	390,3	385,8	372,1	964
サン・パウロ	332,5	332,5	310,0	932
ミナス・ジェライス	554,2	503,0	284,1	565
リオ・グランデ・ド・スル	223,6	223,4	190,7	809
ゴヤス	152,4	147,8	118,4	801
セアラ	651,4	566,0	103,0	182
パライーバ	305,2	305,2	76,4	250
その他	1.573,4	1.404,8	483,8	
全国計	5.593,7	5.193,1	2.839,6	547

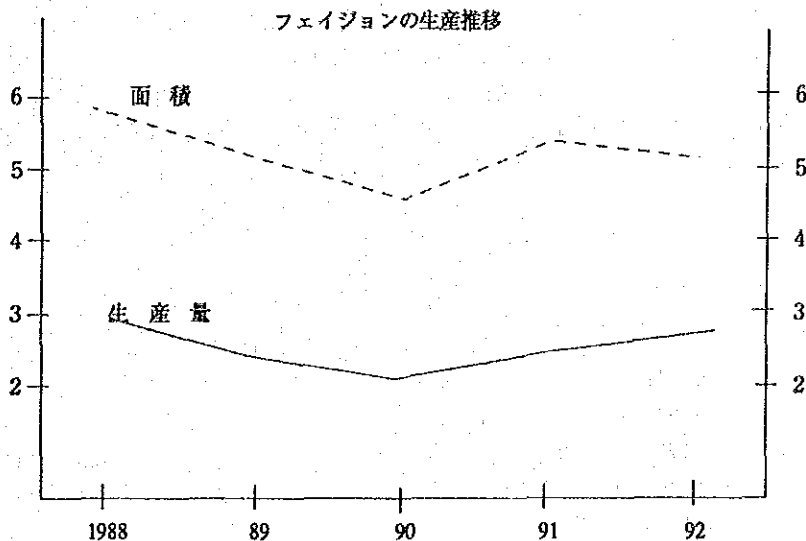
出所：IBGE

小農業者を主体として栽培されているフェイジョンは、政府の政策に敏感に反応する部門の1つであり、91年中に政府が行った政策、とくに最低価格を生産コスト以上に引上げて営農収益を保証したことから栽培面積は、一挙に前年比16%の増加をみせ、生産量も又23%の275百万トンに達したあと92年は、天候にも恵まれたことから過去5ヶ年間最高の285百万トンに達する生産量であった。

この2ヶ年間、政府のフェイジョン部門に対する政策方針としては、年間生産量が、推定消費量の260万トンを下廻らないことを目的として、められ、生産融資枠をVBC（生産費融資基準額）の100%として生産を奨励し、上の結果を得たものであった。

1991年の8月には、前年に引き続き生産を増大して、生産記録の更新を図るため、再度VBCの100%融資及び満足すべき最低保証価格を設定しており、これに刺激された生産が行われた。

(100万ha)



(100万ha)

表77 フェイジョン：過去5ヶ年間の生産推移 1,000 t

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
パラナ	441,0	226,1	279,0	348,3	461,2
バイア	292,3	192,1	227,2	359,3	439,9
サンタ・カタリーナ	265,3	268,8	280,8	197,5	372,1
サン・パウロ	401,4	319,3	271,8	282,9	310,0
ミナス・ジェライス	284,8	252,0	293,4	333,3	284,1
リオ・グランデ・ド・ノルテ	139,9	143,5	140,6	99,5	190,7
その他	983,7	908,7	740,3	1.128,4	781,6
全国計	2.808,6	2.310,5	2.233,1	2.749,2	2.839,6

収穫面積 1,000 t	5.781,2	5.181,0	4.680,1	5.442,8	5.193,1
--------------	---------	---------	---------	---------	---------

出所：IBGE

表78 フェイジョン：主要生産地の反収 Kg/ha

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
パラナ	595	430	507	558	774
バイア	332	312	383	510	604
サンタ・カタリーナ	697	772	695	527	964
サン・パウロ	882	884	739	905	932
ミナス・ジェライス	517	484	561	604	565
全国平均	486	446	477	505	547

出所：IBGE

ロ) 国内市場及び価格

1992年の上半期におけるフェイジョンの生産者受取価格は、過去4年間最低の線に落ちており、生産者収益は、大巾に圧迫されることになった。過去4年間の中で、年間平均価格が最高に達した1991年と比較すると92年1-8月間の平均価格は、約(-)30%の下降であった。これは、販売期間の91年11月より92年2月の間に政府の販売融資資金が不足したことを主要因とするもので、生産者は換金のため最低価格のUS\$115.744/1俵以下で販売をせざるを得ない状況が続いた。この他フェイジョンの販売に影響したものとして格付用器具の不足、倉庫事務の遅延、輸送コストの上昇などがある。価格は8月に入り、端境期の供給量低下から若干の回復をみている。

表79 フェイジョン：生産者受取価格 (サン・パウロ州)

92年8月をベースとした実質価格

CR/60Kg

月 別	1989	1990	1991	1992
1 月	200.929	157.448	129.466	99.176
2 月	196.911	113.465	138.951	101.180
3 月	206.751	135.354	144.980	123.549
4 月	255.796	146.769	226.706	123.755
5 月	353.455	148.628	261.763	107.428
6 月	494.307	165.613	227.128	91.026
7 月	355.093	163.976	176.790	111.634



8月	258.757	135.194	130.437	137.798
9月	182.314	136.554	134.412	...
10月	124.171	160.797	137.934	...
11月	152.705	146.496	101.433	...
12月	111.160	122.179	114.110	...
平均	241.029	144.373	160.343	111.946

出所：IEA

過去2年間にわたって生産奨励策をとってきた政府は、92年に入ると急拠抑制策に転じ、前年までその100%が融資されていたVBC（生産融資基準額）を生産者の規模に応じて80%~90%に制限し、過去3年の収穫においてその生産性が明らかに向上したことが証明されるもののみ100%の融資を行う方法に切り換えられた。

CONAB（国内供給公社）が発表したフェイジョンの需給バランスによると、91/92農年における生産量2,900千トン（この中、468千トンは黒フェイジョン）に前年よりの繰越在庫323千トンとアルゼンチン及びボリビアより行われた輸入14千トンを加えた供給量は、3.3百万トンとなり、国内消費推定量2,500千トンを差引いて次期への繰越在庫は、782千トンとなる予想がたてられている。この繰越在庫量は、現在の消費水準よりみて非常に大きなものであるが、消費者が購買力の減退を予想して低く見積もられているところから期末余剰を多く生じる形となったものである。

表80

フェイジョンの需給  
(供給)

1,000 t

農年	期首在庫	生産量	輸入量	供給量計
1982/83	656	1.655	4	2.314
83/84	222	2.616	61	2.899
84/85	170	2.534	15	2.720
85/86	322	2.445	95	2.672
86/87	267	2.108	35	2.410
87/88	106	2.752	10	2.868
88/89	265	2.386	25	2.677
89/90	77	2.340	70	2.487
90/91	116	2.806	89	3.011
91/92	323	2.915	14	3.302

表81

(需要)

農年	消費量	余剰	輸出量	期末在庫
1982/83	2.077	23	15	222
83/84	2.724	176	6	170
84/85	2.378	242	10	332
85/86	2.400	272	5	267
86/87	2.300	110	4	106
87/88	2.600	268	3	265
88/89	2.600	77	0	77

89/90	2.371	116	0	116
90/91	2.638	373	0	373
91/92	2.520	782	0	782

出所：CONAB

(生産コスト)

サン・パウロ州農務局農業経済研究所（IEA）が発表した92/93農年の生産コスト予想によると、州内ソロカバ地区における機械耕作の場合、1haの生産性を27俵（60Kg）として、その生産コストは、直接費において92年7月時点の価格でCR1.416.236,-となっている。この生産コストに対し、8月時点でのVBC（生産融資基準額）は、生産コストの55%を満たすにすぎず不足分は、自己資金もしくは、他より調達した資金によって補わなければならない状況にある。このことは、とりまなおさずフェイジョン生産の抑制策とみるべきものであろう。

表82 フェイジョンの生産コスト予想（92/93）

項 目	CR		US\$		構 成 比 (%)
	1ha 当り	1俵 当り	1ha 当り	1俵 当り	
労 務 費	105.790	3.918	26,37	0,98	6,09
種 子	177.500	6.574	44,25	1,64	10,21
肥料石灰	504.798	18.696	125,85	4,66	29,05
農 薬	229.127	8.486	57,12	2,12	13,18
機械維持費	265.387	9.826	66,12	2,45	15,27
株の引拔焼却	84.736	3.138	21,12	0,78	4,88
風 袋	48.897	1.811	12,19	0,45	2,81
小 計	1.416.236	52.453	353,07	13,08	81,49
機械維持費	126.761	4.773	31,65	1,17	7,31
社会保障費	62.088	2.229	15,48	0,58	3,57
保 険 料	132.559	4.909	33,05	1,22	7,63
合 計	1.737.844	64.364	433,25	16,05	100,00

出所：IEA サン・パウロ州ソロカバ地区機械耕作 1haあたり27俵（60Kg）収穫の場合 92年調査

3. 1. 4 ソルガム

表83 ソルガム：1991年の生産実績

州 別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	単 収 Kg/ha
サン・パウロ	44,3	44,3	92,7	2.090
リア・グランド・スカ	43,1	43,0	63,1	1.467
マツト・グロソ	59,0	46,3	60,5	1.306
パイア	20,7	20,7	13,8	669
リア・グランド・ノルテ	9,6	9,6	10,8	1.132
ゴヤス	4,8	4,8	9,1	1.918
マツト・グロソ・スカ	1,2	1,0	2,0	1.919
その他	2,5	2,1	2,5	
全国計	185,2	171,8	254,5	1.481

出所：IBGE

表84

ソルガム：1992年の生産状況（92年10月調査）

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単収 Kg/ha
リオグランデ・ド・スル	51,1	51,1	101,6	1,988
サン・パウロ	40,7	40,7	91,5	2,250
バイア	39,5	39,4	49,2	1,249
マツト・グロッソ	14,4	14,4	28,0	1,945
ゴヤス	4,7	4,7	7,7	1,635
リオグランデ・ド・ノル	6,3	6,3	4,4	696
マツト・グロッソ・ノル	1,2	1,0	1,2	1,273
その他	5,2	3,2	2,3	
全国計	163,1	160,8	285,9	1,779

出所：IBGE

表85

ソルガム：過去5ヶ年間の生産推移

1,000 t

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
リオグランデ・ド・スル	94,5	75,9	97,8	63,1	101,6
サン・パウロ	67,4	83,9	94,4	92,7	91,5
バイア	7,0	11,6	9,3	13,8	49,2
マツト・グロッソ	25,1	18,7	10,2	60,5	28,0
その他	108,0	51,0	16,2	24,4	15,6
全国計	302,0	241,1	227,9	254,5	285,9

収穫面積 1,000ha	195,4	164,6	133,4	171,8	160,8
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

出所：IBGE

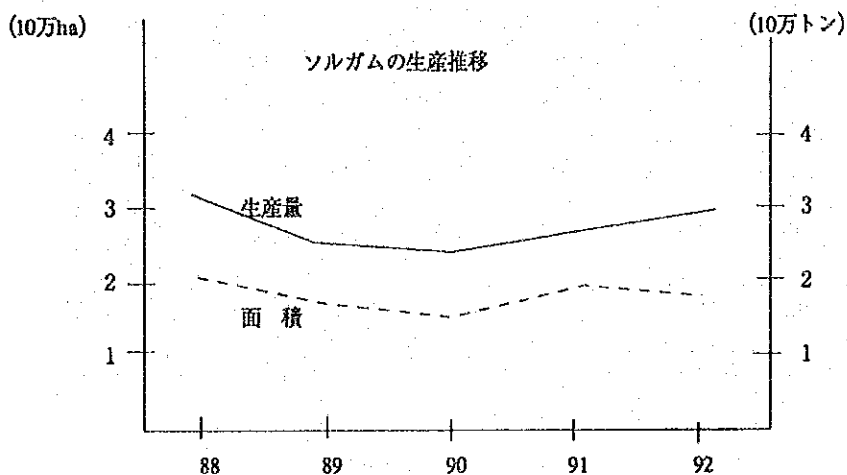
表86

ソルガム：主要生産地の反収

Kg/ha

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
リオグランデ・ド・スル	1,596	1,650	1,964	1,467	1,988
サン・パウロ	2,200	2,155	2,064	2,090	2,250
バイア	757	385	633	669	1,249
マツト・グロッソ	1,202	1,261	970	1,306	1,945
全国平均	1,545	1,465	1,708	1,481	1,779

出所：IBGE



### 3.1.5 小麦

#### イ) 生産

表87 小麦：1991年の生産実績

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	単収 Kg/ha
パラナ	1.088,5	1.082,4	1.825,9	1.687
リオグランデ・ド・スル	624,9	617,4	682,7	1.106
マトグロソ・ド・スル	113,3	112,9	155,9	1.382
サン・パウロ	98,2	98,2	141,8	1.445
サンタ・カタリーナ	81,0	80,2	103,5	1.291
ミナス・ジェライス	3,4	3,4	11,0	3.231
その他	0,5	0,3	0,5	
全国計	2.009,8	1.994,8	2.921,3	1.464

出所：IBGE

表88 小麦：1992年の生産状況 (92年10月調査)

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	単収 Kg/ha
パラナ	1.210,0	1.210,0	1.573,0	1.300
リオグランデ・ド・スル	485,1	485,1	780,9	1.610
マトグロソ・ド・スル	156,9	140,1	116,4	831
サンタ・カタリーナ	75,0	75,0	102,4	1.365
サン・パウロ	68,6	68,6	102,0	1.486
ミナス・ジェライス	2,8	2,8	8,7	3.086
その他	2,0	2,0	2,5	-
全国計	2.000,4	1.983,6	2.685,9	1.354

出所：IBGE

1991年における小麦の栽培面積は、2.0 百万ヘクタールで前年を(-)14 %、89年と比較すると(-)37 %減少するものであった。その結果生産量は、2.9 百万トンに止まり、大幅な減産をみた90年とほぼ同等の規模であった。面積の大幅な減少にかかわらず生産量にほとんど変化がなかったのは、単収の増加 (1.154 Kg/haより1.464 Kg/haへの増加) にもとづくものであるが、80年代後半の平均1,65Kg/haと比較するとはるかに低い生産性であった。

このように低位の生産規模に落ちたのは、過去3ヶ年間に於ける小麦栽培の収益低下により生産者の栽培意欲を削いだ結果にもとづくものである。すなわち、1988~90年の平均価格がUS\$114,-/tと過去10年間もっとも低い水準に落ちていたこと、生産費融資資金の不足、その結果、生産資材への投資能力も落ち、反収を大巾に落したことなどがあげられる。更に90年に発足したコーロル政府の下では極めて不安定な政情が支配し、とくに小麦部門に対しては、従来の独占下にあつて保護されていた販売面を民間に移行する計画が議論され始め生産者の不安定感を増したことがあげられる。

1992年の生産状況も又91年とほぼ同等であり、低位生産が継続中である。

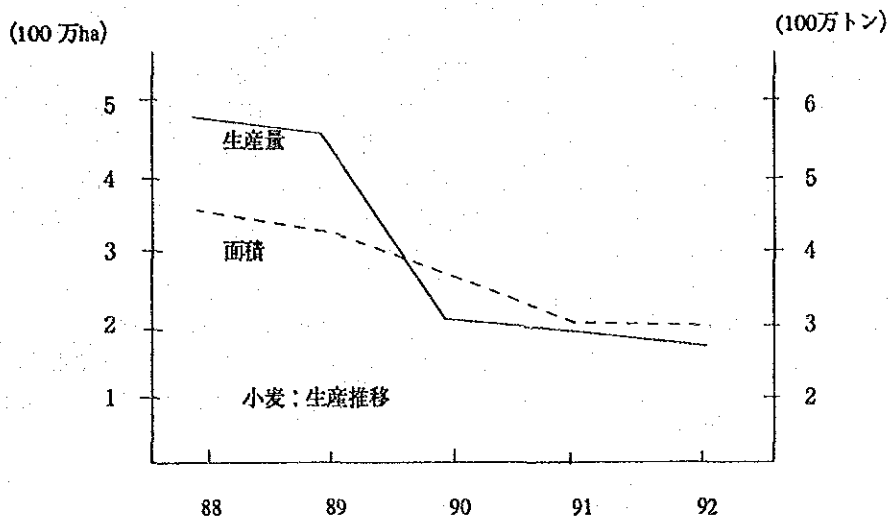


表89 小麦：過去5ヶ年間の生産推移 1,000 t

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
パラナ	3,250.0	3,100.0	1,394.1	1,825.9	1,573.0
リオ・グランデ・ド・スル	1,403.3	1,174.1	1,168.4	682.7	780.9
マト・グロソ・ド・スル	410.2	360.6	204.0	155.9	116.4
サンタ・カタリーナ	89.3	115.2	108.3	103.5	102.4
サン・パウロ	358.1	355.8	203.0	141.8	102.0
その他	227.1	447.1	15.7	11.5	11.2
全国計	5,738.0	5,552.8	3,093.5	2,921.3	2,685.9

収穫面積 1,000ha	3,467.6	3,281.4	2,680.9	1,994.8	1,983.6
--------------	---------	---------	---------	---------	---------

出所：IBGE

表90

小麦：主要生産地の反収

Kg/ha

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
パラナ	1.831	1.610	1.164	1.687	1.300
リオグランデ・ド・スル	1.386	1.548	1.183	1.106	1.610
マトグロソ・ド・スル	1.191	1.138	1.106	1.382	831
サンタ・カタリーナ	895	1.200	1.026	1.291	1.365
サン・パウロ	1.847	1.622	1.015	1.445	1.486
全国平均	1.655	1.692	1.154	1.464	1.354

出所：IBGE

小麦の国際価格は、世界の在庫が前年の142.7百万トンより129.8百万トンに減少、とくに世界最大の輸出国である米国の在庫が、23.6百万トンより11.5百万トンへと半減したこと、ブラジルの輸入市場であるアルゼンチンの生産が前年比(-)19%減少したことが影響し91年11月のUS\$127,-/t FOBより92年2月にはUS\$150,-/tへと上昇した。国内の製粉工場では、在庫補充のため良品質の小麦を求めて買いが集中したのも価格上昇に影響した。

小麦生産者に対する最低保証価格は、1992年6月の価格でCR422.670,-/t、ドルに換算して\$146,-/tとなるが、この金額は、IEAが算出した生産コストUS\$103,50/tを42%上回るものであり、十分な収益が保証されたレベルのものであった。又、92年3月に発表されたVBC(生産融資基準額)は、岡地栽培の小麦の場合US\$214,-/haで生産コストにみられるUS\$168,-/haを上廻っており、VBCの80%が融資される大農の場合でもVBCで生産コストが全額カバーできる状況にあり、全額融資で生産出来る仕組みになっていた。

このようにコストと最低価格、及びVBCとの関係は、満足すべきものであったが、融資金の解除が遅れ、作付時期(3月15日～5月31日間)の終りに近い5月になってようやく実施されたことから作付面積を拡大することは不可能であった。更に融資の条件がきびしく、借地農や生産態勢にないと判断される農業者、前回の債務を精算していない生産者及び10ヘクタール以下の規模のものが融資対象から除外されたことも作付けの拡大を阻害した理由に加えられる。

表91

小麦：生産コスト予想(92/93)

項 目	1ヘクタール CR	1俵あたり CR	ドル換算(1俵当り)	構成比(%)
A 直接コスト				
労務費	19.206,85	711,36	0,31	4,97
種子	87.818,04	3.252,52	1,41	22,71
石炭	28.365,00	1.050,56	0,46	7,33
肥料	52.330,00	1.938,15	0,84	13,53
農薬	68.376,70	2.532,47	1,10	17,68
機械維持費	79.205,56	2.933,54	1,27	20,48
小計	335.302,16	12.418,60	5,38	86,70
B 間接コスト				
機械償却費	32.939,84	1.219,99	0,53	8,52
金融費用	8.801,68	325,99	0,14	2,28
社会保障費	9.672,57	358,24	0,16	2,50
小計	51.414,09	1.904,22	0,83	13,30
合計	386.716,25	14.322,82	6,21	100,00

出所：IEA

3. 1. 6 大 麦

表92 大麦：1991年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単 収 Kg/ha
リオ・グランデ・ド・スル	66,5	66,2	67,3	1.016
パ ラ ナ	23,0	23,0	31,1	1.352
サンタ・カタリーナ	7,9	7,9	12,1	1.527
全 国 計	97,4	97,2	110,5	1.137

出所：IBGE

表93 大麦：1992年の生産状況（92年10月調査）

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単 収 Kg/ha
リオ・グランデ・ド・スル	42,8	42,8	75,5	1.765
パ ラ ナ	20,0	20,0	44,0	2.200
サンタ・カタリーナ	5,1	5,1	9,5	1.868
全 国 計	67,8	67,8	129,0	1.901

出所：IBGE

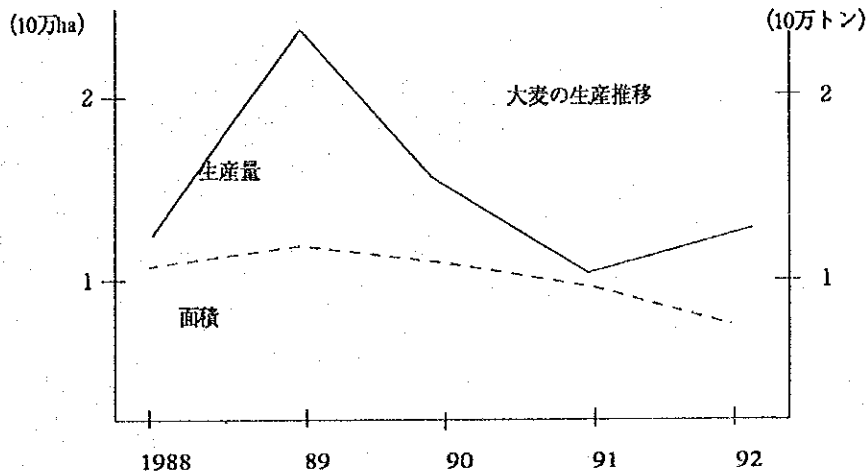


表94 大麦：過去5ヶ年間の生産推移

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
リオ・グランデ・ド・スル	53,3	98,7	88,8	67,3	75,5
パ ラ ナ	47,5	80,0	50,8	31,1	44,0
サンタ・カタリーナ	22,8	45,7	17,7	12,1	9,5
全 国 計	125,5	248,2	157,4	110,5	129,0

収穫面積 1,000ha	102,0	113,4	105,1	97,2	67,8
--------------	-------	-------	-------	------	------

出所：IBGE

表95

大表：主要生産地の反収

Kg/ha

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
リオ・グランデ・ド・スル	1.336	1.774	1.394	1.016	1.765
パラナ	1.079	2.000	1.802	1.352	2.200
サンタ・カタリーナ	1.162	1.891	1.346	1.527	1.868
全国平均	1.231	2.188	1.498	1.137	1.901

出所：IBGE

## 3. 1. 7 からす麦

表96

からす麦：1991年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単収 Kg/ha
リオ・グランデ・ド・スル	186,2	178,6	136,1	762
パラナ	71,9	70,5	74,1	1,051
サンタ・カタリーナ	14,4	14,3	18,2	1,277
全国計	272,5	263,4	228,3	867

出所：IBGE

表97

からす麦：1992年の生産状況 (92年10月調査)

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単収 Kg/ha
リオ・グランデ・ド・スル	197,9	197,9	213,8	1,080
パラナ	75,0	75,0	75,0	1,000
サンタ・カタリーナ	9,6	9,6	11,7	1,212
全国計	282,5	282,5	300,5	1,063

出所：IBGE

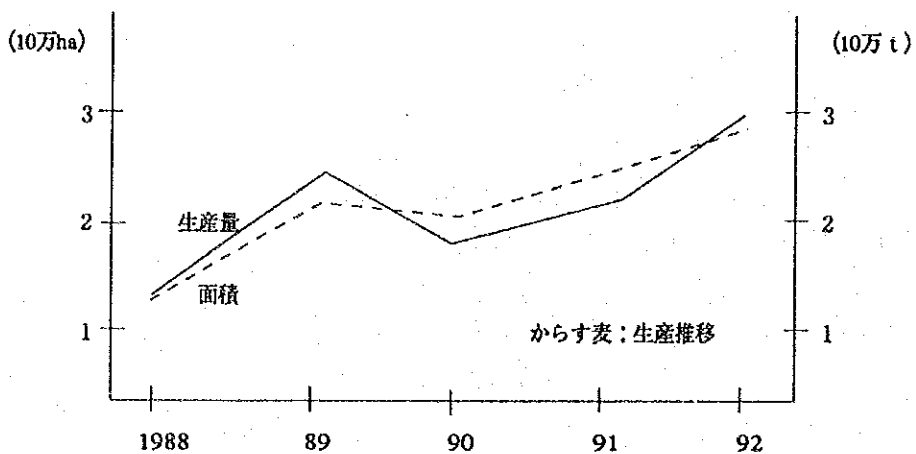




表98 からす麦：過去5ヶ年間生産推移 1,000 t

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
リオ・グランデ・ド・スル	93,0	162,4	127,6	136,1	213,8
パラナ	27,7	54,4	34,3	74,1	75,0
サンタ・カタリーナ	8,0	22,6	12,3	18,2	11,7
全国計	139,4	253,9	174,2	228,4	300,5

収穫面積 1,000ha	127,8	203,8	188,9	263,4	282,5
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

出所：IBGE

表99 からす麦：主要生産地の反収 Kg/ha

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
リオ・グランデ・ド・スル	111,7	1.159	864	762	1.080
パラナ	1.321	1.700	1.088	1.051	1.000
サンタ・カタリーナ	793	1.200	1.283	1.270	1.212
全国平均	1.000,4	1.158	922	867	1.063

出所：IBGE

### 3. 1. 8 ライ麦

表100 ライ麦：1991年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単収 Kg/ha
パラナ	3,0	3,0	3,6	1.217
リオ・グランデ・ド・スル	2,1	2,1	2,6	1.216
サンタ・カタリーナ	0,1	0,1	0,1	673
全国計	5,2	5,2	6,3	1.203

出所：IBGE

表101 ライ麦：1992年の生産状況 (92年10月調査)

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単収 Kg/ha
リオ・グランデ・ド・スル	3,3	3,3	4,2	1.279
パラナ	2,5	2,5	1,8	700
サンタ・カタリーナ	0,1	0,1	0,1	964
全国計	5,9	5,9	6,1	1.026

出所：IBGE

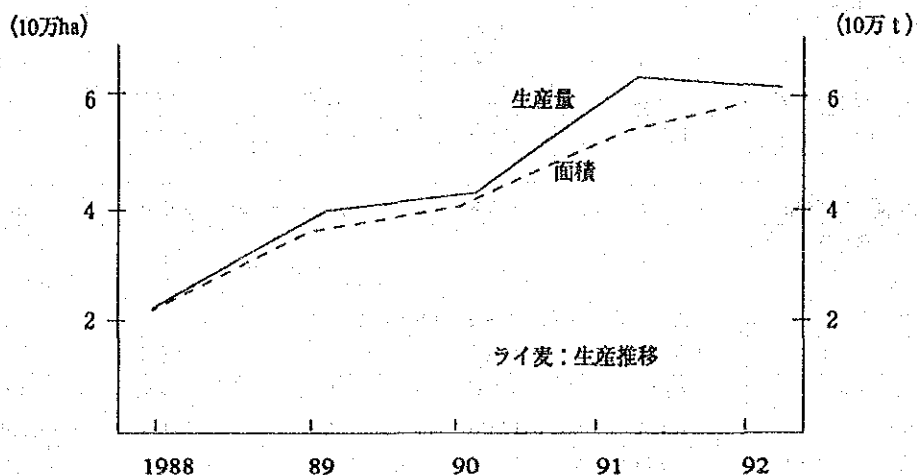


表102 ライ麦：過去5ヶ年間の生産推移 1,000 t

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
リオ・グランデ・ド・スル	0,5	2,1	3,0	2,6	4,2
パラナ	1,5	3,1	1,4	3,6	1,8
サンタ・カタリーナ	0,3	0,6	0,2	0,1	0,1
全国計	2,3	4,0	4,5	6,3	6,1

収穫面積 1,000ha	2,3	3,9	4,4	5,2	5,9
--------------	-----	-----	-----	-----	-----

出所：IBGE

表103 ライ麦：主要生産地の反収 Kg/ha

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
リオ・グランデ・ド・スル	1.022	1.384	791	1.216	1.279
パラナ	1.007	1.400	1.224	1.217	700
サンタ・カタリーナ	1.363	1.516	846	673	964
全国平均	1.004	1.043	1.032	1.203	1.026

出所：IBGE

### 3.2 油糧原料作物

#### 3.2.1 大豆

##### イ) 生産

表104 大豆：1991年の生産実績

州 別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	単 収 Kg/ha
パラナ	1.979,5	1.972,5	3.531,2	1.790
マット・グロツソ	1.172,1	1.164,6	2.738,4	2.351
リオ・グランデ・ド・スカ	3.132,1	3.116,6	2.220,5	712
マツ・グロツソ・ド・スカ	1.072,8	1.064,7	2.017,9	1.895
ゴヤス	800,8	797,7	1.661,3	2.082
サン・パウロ	503,4	503,4	983,4	1.953
ミナス・ジェライス	474,9	474,9	976,8	2.057
バイア	210,0	210,0	441,0	2.100
サンタ・カタリーナ	267,9	261,7	249,5	953
ブラジリア	43,1	43,1	101,2	2.348
その他	9,0	9,0	16,9	-
全国計	9.664,8	9.618,3	14.938,1	1.553

出所：IBGE

表105 大豆：1992年の生産状況（92年10月調査）

州 別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	単 収 Kg/ha
リオ・グランデ・ド・スカ	2.876,9	2.876,9	5.629,5	1.957
マット・グロツソ	1.459,2	1.453,7	3.642,7	2.506
パラナ	1.794,0	1.794,0	3.417,0	1.905
マツ・グロツソ・ド・スカ	949,1	940,8	1.890,7	2.010
ゴヤス	825,3	822,9	1.797,7	2.185
ミナス・ジェライス	492,3	471,7	974,1	2.065
サン・パウロ	465,6	465,6	853,8	1.834
バイア	320,0	320,0	480,0	1.500
サンタ・カタリーナ	205,3	203,7	367,4	1.803
ブラジリア	42,0	42,0	92,8	2.210
その他	128,1	28,1	35,3	-
全国計	9.457,8	9.419,1	19.181,0	2.036

出所：IBGE

IBGE（ブラジル地理統計院）が92年10月に行った調査結果によると、91/92農年における大豆の生産量は、19,181千トンの予想で前年に比して28,4%の大型収穫であった。栽培面積は、前年をや、下廻る9,42百万ヘクタールであったが、天候に恵まれたことや、主要生産地帯の南部地方において適切な栽培技術が採用されたことから1ヘクタールあたりの反収が前年の1,553Kgより2,036Kgへと飛躍し、これが生産増大の要因となった。

州別の生産量では、前年乾燥の被害によって3位に落ちていたリオ・グランデ・ド・スール州の生産が復活して再び首位に戻っており、前年を倍以上上廻る5,6百万トンの収穫をあげている。マット・グロツソ・ド・スール州は、前年と同様に2位の生産に達した。前年1位の生産に達したパラナ州は、3位の生産であった。

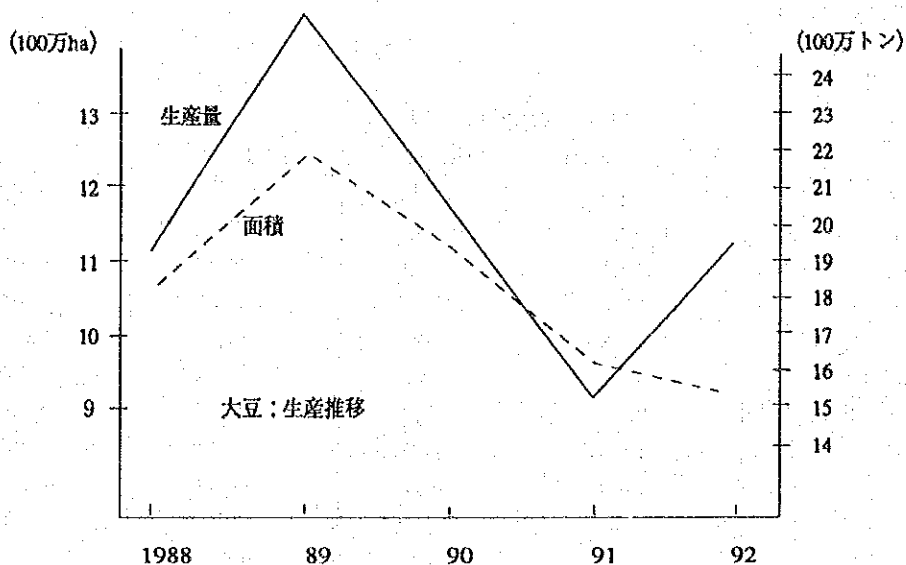


表106 大豆：過去5ヶ年間の生産推移 1,000 t

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
リオグランデ・スル	3,631.3	6,296.3	6,313.5	2,220.5	5,692.5
マツト・グロッソ	2,694.7	3,795.4	3,064.7	2,738.4	3,672.7
パラナ	4,800.0	5,060.0	4,649.8	3,531.2	3,417.0
マツト・グロッソ・スル	2,480.5	2,845.8	2,038.6	2,017.9	1,890.7
ゴヤス	1,498.0	2,155.8	1,258.4	1,661.3	1,797.7
ミナス・ジェライス	930.8	1,169.0	748.8	976.8	974.1
その他	1,980.9	2,749.0	1,811.8	1,792.0	1,819.3
全国計	18,016.2	24,071.4	19,887.6	14,938.1	19,181.0

収穫面積 1,000ha	10,520.0	12,211.2	11,481.1	9,618.3	9,419.1
--------------	----------	----------	----------	---------	---------

出所：IBGE

表107 大豆：主要生産地の反収 Kg/ha

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
リオグランデ・スル	1,057	1,716	1,796	712	1,957
マツト・グロッソ	2,043	2,228	2,006	2,351	2,506
パラナ	2,270	2,106	2,050	1,790	1,905
マツト・グロッソ・スル	2,109	2,191	1,622	1,895	2,010
ゴヤス	1,937	2,057	1,294	2,082	2,185
ミナス・ジェライス	1,925	1,992	1,341	2,057	2,065
全国平均	1,713	1,971	1,732	1,553	2,036

出所：IBGE

ロ) 国際市場とブラジルの輸出

91/92農年における10大油脂作物の世界生産量は、225.4百万トンで前農年を4%増加するものであった。世界の供給量については、91/92農年の期首在庫が前年より0.7%減少していたので91/92農年の供給量は、前年を3%上回る254.0百万トンとなっている。これに対する世界の消費量は、生産量と同等の225.3百万トンであったため91/92農年の期末在庫は、前年のレベルが維持されたものと推定されている。

1992/93農年については、世界生産が前年比1%増加する227.5百万トンに達する見込みであり、このため世界の供給量も又、前年比1%増の256.2百万トンになるものと推定されている。このような世界生産の増加は、大豆の三大生産国である米国、ブラジル及びアルゼンチンにおける生産の拡大にもとづくもので他の油脂作物は、91/92農年の116.0百万トンより92/93農年には、118.9百万トンに落ちたものと推定されている。

これに対し1992/93農年における世界の消費量は、前年を2%増加する229.3百万トンに達する予想のため、92/93農年の期末在庫は、前年を(-)6.1%下回る26.9百万トンに落ちるものと予想されており、これが92年下半年の国際価格を押し上げる理由の1つとなっている。

表108 10大油糧種子の世界需給

項 目	1989/90	90/91	91/92	92/93
期 首 在 庫	27,97	28,62	28,59	28,68
世 界 生 産	212,00	217,18	225,43	227,50
供 給 量 計	239,97	245,80	254,02	256,18
世 界 消 費 量	211,95	215,21	225,34	229,25
期 末 在 庫	28,62	28,59	28,68	26,93

出所：OIL WORLD WEEKLY

大豆の国際相場については、92/93農年における米国の生産が天候に恵まれ降雨が順調にあったため、当初の予想を5%上回る56.5百万トンに達するだろうとの米国農務局 (USDA) の発表により一時的に減退したが、次の事項が価格を維持する要素として考えられた。 a) 世界的に大豆粕及び大豆油の需要が増加していること b) EC圏において大豆の代替作物としての綿実及びヒマワリの生産が減少し、大豆及びその副産物の需要がヨーロッパ全体に増加していること c) 米国の旧ソ連圏に対する大型の融資と補助プログラムが維持されており、又これらの国における動物性油脂の供給量減少により、植物油の需要が増加していること d) 世界的に鶏を含む家畜の飼育が増加傾向にあること e) 穀類と大豆粕の価格関係が大豆粕へ有利に動いているため、配合飼料原料としてとくに大豆粕の需要が増加していること

このような今後の市場予想の前に南米の大豆生産量は、当初予想されていた31.3百万トンを上回るものとなることが予想され、これが価格の上昇を押える要素として作用するものと思われる。

表109 大豆：国際市場相場 US\$/t CIF ROTTERDAM

月 別	1988	1989	1990	1991	1992
1 月	254	318	242	239	236
2 月	254	307	240	241	237
3 月	257	313	242	244	240
4 月	270	297	247	245	235
5 月	285	297	259	241	247
6 月	353	291	249	241	253
7 月	351	272	252	229	237
8 月	342	236	250	241	...

9月	337	237	250	246	...
10月	313	238	248	237	...
11月	313	246	239	237	...
12月	313	248	244	234	...

出所：OIL WORLD WEEKLY

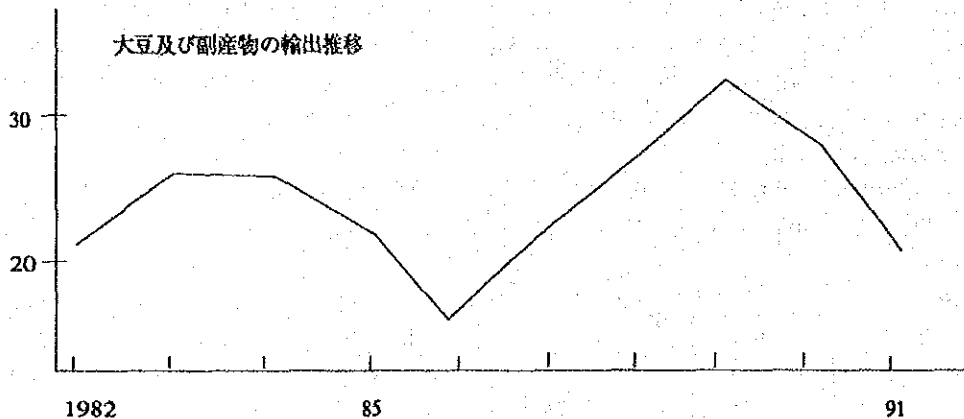
(ブラジルの大豆及び副産物輸出)

表110 大豆及び副産物の輸出実績 100万ドル

年度	大豆(豆)	大豆粕	大豆油	計
1982	123	1.168	379	2.170
83	309	1.793	461	2.563
84	454	1.460	651	2.565
85	363	1.175	602	2.140
86	243	1.198	138	1.579
87	570	1.450	304	2.324
88	728	1.892	294	2.914
89	1.138	1.950	395	3.483
90	910	1.610	321	2.841
91	445	1.369	208	2.022

出所：CACEX, DECEX

(億ドル)



大豆及び副産物の市場としては、海外市場の比重が大きく、国内生産の4分の1が国内、4分の3が海外市場へ向けられている。この比率は、80年代の始め頃より今日にいたるまで継続しており、91/92農年においても約75%が海外に販売された。

世界の貿易に占めるブラジルの比率は、重量にしる、金額にしる国内の供給量に直接関連する。1988/89～91/92の4農年における平均値をみると平均供給量(生産量+輸入量)が20,547.8千トンであったが、その71.76%が特

油原料として処理され、7,37%が種子として利用、17,61%が(豆)のまま輸出されている。搾油加工の結果、年間平均8,511.5千トン的大豆粕、711,9千トン的大豆油を輸出し、3,105.0千トン的大豆粕(大豆粕生産量の26,08%)2,105.5千トン的大豆油(大豆油生産量の76,2%)が国内で消費されている。

ブラジルの貿易収支面からみると大豆及び副産物がブラジルの輸出に占めた比率は、1980~91年の平均で9,7%、基礎産品のみに限る場合は30,08%の割合であった。1992年は、輸出総額に対して7,97%、基礎産品に対して28,52%と予想されている。

輸出統計による大豆及び副産物の輸出実績は、下表の通りである。

表111 大豆(豆)の輸出実績

年 度	重量 1,000 t	金額 100万ドル	平均価格 US\$/t
1982	500	123	246
83	1,295	309	239
84	1,561	454	291
85	3,491	763	218
86	1,200	243	202
87	3,024	570	188
88	2,577	728	280
89	4,618	1,154	249
90	4,077	910	223
91	2,008	445	221

出所: CACEX DECEX

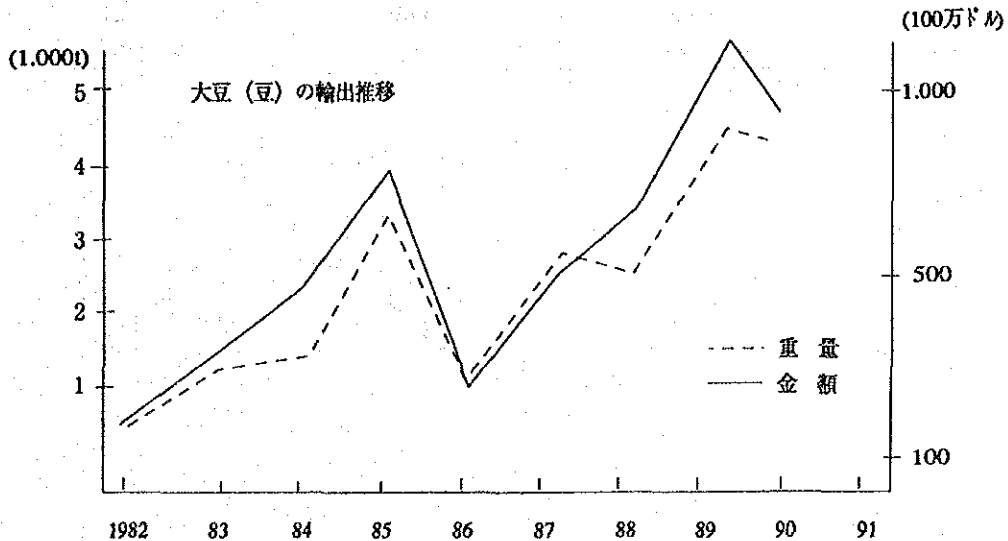


表112 大豆(豆)の輸出先市場(1992年)

輸 出 先 国	重 量 t	金 額 1,000ドル	平均価格 US\$/t
オランダ	1,325,936	294,085	222
スペイン	599,644	129,724	216

日 本	426.860	95.416	224
ベルギー	288.375	64.007	222
ドイツ	265.253	57.877	218
イタリア	261.160	56.718	217
英 国	169.352	38.265	226
マレー半島	94.399	20.300	215
フランス	77.552	17.081	220
ポルトガル	35.200	7.692	219
そ の 他	195.886	31.259	159
計	3.739.617	812.424	217

出所: DECEX/CTIC

表113 大豆粕の輸出推移

年 度	重 量 1,000 t	金 額 100万ドル	平均価格 US\$/t
1982	7.954	1.668	210
83	8.493	1.793	211
84	7.587	1.460	192
85	9.588	1.175	123
86	6.666	1.198	180
87	7.802	1.450	186
88	8.129	2.023	249
89	9.871	2.136	216
90	8.744	1.610	184
91	7.487	1.369	183

出所: CACFX DECEX

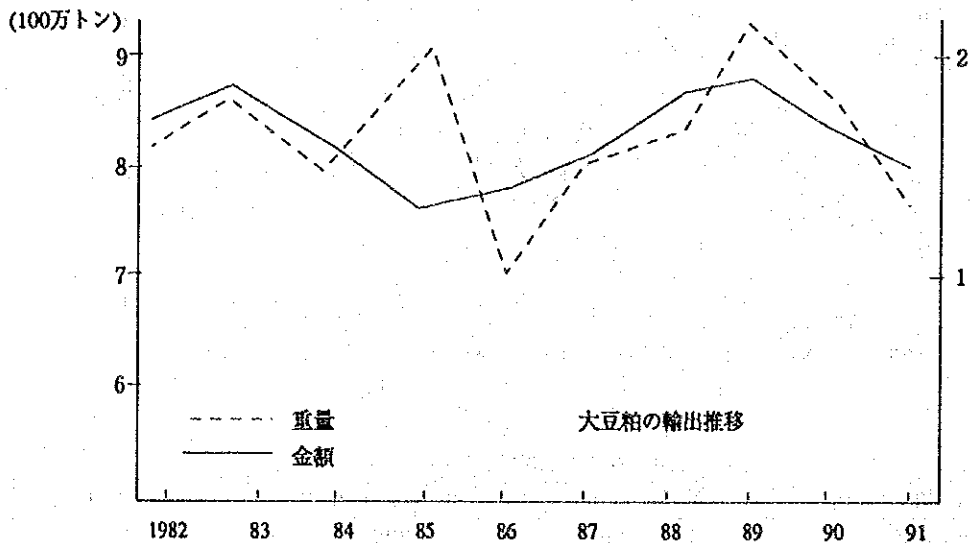




表114

## 大豆粕の輸出先市場 (1992年)

輸出先国	重量 t	金額 1,000ドル	平均価格 US\$/t
オランダ	2,560.876	484.217	189
フランス	1,405.889	264.192	188
イタリー	946.365	180.003	190
スペイン	769.766	141.941	184
ハンガリー	464.413	90.365	195
ドイツ	371.508	69.502	187
ベルギー	297.726	55.312	186
タイ	207.127	38.032	184
日本	188.109	33.455	174
旧ソ連	161.500	29.171	181
その他	1,126.559	209.182	186
計	8,500.838	1,595.372	188

出所: DECEX/CTIC

(NBM2.304.60.0100)

表115

## 大豆油の輸出先市場 (1992年)

輸出先国	重量 t	金額 1,000ドル	平均価格 US\$/t
イラン	191.415	75.199	393
バングラ・デッシュ	117.514	46.081	392
パキスタン	107.950	42.926	398
中国	106.270	42.486	400
ドミニカ	38.900	15.133	389
オランダ	30.540	12.332	404
インド	19.351	7.986	413
ネパール	12.375	5.096	412
フランス	8.500	3.521	414
イラク	9.000	3.511	390
その他	27.051	10.000	392
計	668.866	264.871	396

出所: DECEX/CTIC

(NBM 1507.10.0000)

## ハ) 国内市場

91/92農年は、前年に比して供給量が増大したにもかかわらず各地の生産地帯における生産者受取価格は全般的に満足すべきものであった。とくに92年の上半期には、実質的な価格の上昇がみられた。中でも統計がもっともはっきりしているサン・パウロ州の場合をとると、92年1-7月間の生産者価格は、前年同期と比較して実質的に14%の上昇ぶりであった。この中、過去4年間における1月の価格を比較すると88年における米国の乾燥による被害の影響が残っていた89年がもっとも高く、92年は、これに次ぐ価格であったが6月になると92年の価格が前3年をはるかにしのいでもっとも高い価格となっている。しかしこの価格も米国の栽培面積減少(エル・ニーニョ現象による天候不順から栽培面積が76年以降最低の57.4千エーカーに落ちた)により上昇するとみられていた当初の予想よりは低いものであった。

表116

大豆：地方別生産者受取価格 サン・パウロ州

(1992年7月をベースとした実質価格)

CR/60Kg

月 別	1989	1990	1991	1992
1 月	54.960	39.180	35.189	43.483
2 〃	51.260	33.161	36.382	40.371
3 〃	48.690	29.016	35.246	39.861
4 〃	46.370	29.495	35.249	37.454
5 〃	42.910	31.809	35.484	37.734
6 〃	33.800	29.780	34.414	39.397
7 〃	33.590	31.057	31.950	39.125
8 〃	25.640	30.057	34.582	...
9 〃	28.110	27.722	38.074	...
10 〃	28.160	30.731	44.175	...
11 〃	28.120	34.706	37.391	...
12 〃	29.740	34.266	37.038	...

出所：IEA、FGV

表117

大豆：地方別生産者受取価格 リオ・グランデ・ド・スル州

CR/60Kg

月 別	1989	1990	1991	1992
1 月	51.030	29.695	33.752	...
2 〃	47.820	24.308	33.811	...
3 〃	46.070	27.274	35.839	35.530
4 〃	45.610	25.819	36.057	34.510
5 〃	43.960	28.828	35.944	34.132
6 〃	36.070	26.729	35.351	36.057
7 〃	32.200	27.817	32.926	...
8 〃	25.800	28.912	32.585	...
9 〃	29.720	25.702	36.085	...
10 〃	28.490	28.328	44.066	...
11 〃	27.120	...	38.333	...
12 〃	27.850	35.516	35.515	...

出所：IEA、FGV

表118

大豆：地方別生産者受取価格 ゴヤス州

CR/60Kg

月 別	1989	1990	1991	1992
1 月	43.740	27.602	29.732	...
2 〃	47.820	26.213	30.963	...
3 〃	46.070	25.383	33.458	33.367
4 〃	43.630	24.762	32.554	32.747
5 〃	40.450	28.239	32.173	30.677
6 〃	31.910	26.412	30.609	30.987
7 〃	28.170	25.626	27.817	...
8 〃	22.120	25.030	28.410	...

9月	24.410	23.452	29.293	...
10月	20.890	23.119	40.044	...
11月	24.750	...	32.663	...
12月	24.850	31.180	31.410	...

出所：IEA、FGV

CONAB（食糧供給公社）が発表した大豆の国内需給バランスによると92/93農年に対する国内供給量は、19.8百万トンで前年を20%増加しているが、これは前年よりの繰越在庫が過去5年間最低の282千トンにかかわらず、生産量が前年比26%増加したためであった。

この供給量に対し需要面では、国内消費量が前年を11%上回る15.76百万トン、輸出が19%増の3.8百万トンで差引き241千トンが次期に繰越される予想となっている。

又、大豆粕の国内消費量は養鶏、養豚の増加によって前年を3%増加する3.4百万トン、大豆油の国内消費量は、前年よりやや減少（-2%）した2.2百万トンと推定されている。又1.5ヶ月分の消費量に相当する次期繰越しを残すためには、年間100千トンの輸入が必要であった。

表119 大豆：国内需給推定 1,000 t

項目	1987/88	88/89	89/90	90/91	91/92
期首在庫	442,0	475,0	1.493,2	794,5	282,5
生産量	18.127,0	23.929,2	20.101,3	15.395,0	19.418,6
輸入量	62,0	63,0	0,0	350,0	100,0
供給量計	18.631,0	24.467,2	21.594,2	16.539,5	19.801,1
消費量	15.545,0	18.401,0	16.818,0	14.257,0	15.760,0
輸出货量	2.611,0	4.573,0	3.982,0	2.000,0	3.800,0
期末在庫	475,0	1.493,2	794,5	282,5	241,1

出所：CONAB

1992年を良好な市場価格で終った大豆部門も1993年については、海外市場の需要が強くない場合3～4月以降価格の下降があり得ることも考えられる。とくに海外の需要は旧ソ連圏に対する米国の融資によって大きく左右されること、世界の経済活動に影響されること、ドルとヨーロッパ通貨との関係も、又世界の取引量に影響する要素であることなどから92年の価格が継続する保証はない。さらに92年の価格に刺激された作付けの増加が大巾に行われる場合、供給量が増加し、価格にネガティブな影響を与えることも考えられる。

サン・パウロ州農務局、農業経済研究所が92年7月に行った調査によると、大豆1俵（60Kg）あたりのコストは、州内リベイロン・プレット地方の場合CR31.238,-、マリリア地方の場合CR26.849,-、いずれも最低価格（CR33.928,-）をそれぞれ8,6%及び26,7%下回るもので収益が保証されており、92/93農年では、もっとも保証された作物の1つに数えられる。このような大豆作奨励の政策に対し、サン・パウロ州においても全国の傾向と同様に約10%の栽培面積が予想されている。

表120 大豆：生産コスト予想（92/93）A

項目	CR			US\$			構成比 (%)
	1ha 当り	1t 当り	1俵 当り	1ha 当り	1t 当り	1俵 当り	
労務費	52.838	25.160	1.509	13,17	6,27	0,38	4,83
種子	137.088	65.280	3.917	34,18	16,27	0,98	12,54
肥料石灰	259.170	123.414	7.405	64,61	30,77	1,85	23,70

農 業	83.170	39.604	2.376	20,73	9,87	0,59	7,61
機械維持費	290.530	138.347	8.301	72,43	34,49	2,07	26,57
運 搬 費	69.300	33.000	1.980	17,28	8,23	0,49	6,34
小 計	892.096	424.808	25.488	222,40	105,91	6,35	81,59
機械償却費	100.246	47.730	2.864	24,99	11,90	0,71	9,17
金融費用	32.524	15.488	929	8,11	3,86	0,23	2,97
社会保障費	31.011	14.767	886	7,73	3,18	0,22	2,84
保 險 料	37.468	17.842	1.071	9,34	4,45	0,27	5,43
合 計	1.093.345	520.641	31.238	272,57	129,80	7,79	100,00

出所：I E A サバウ州、バイロブレト地方 機械化により1haあたり35俵収穫の場合1俵=60Kg

92年7月調査

表121 大豆：生産コスト予想 (92/93) B

項 目	CR			US\$			構成比 (%)
	1ha 当り	1t 当り	1俵 当り	1ha 当り	1t 当り	1俵 当り	
労 務 費	37.695	17.950	1.077	9,40	4,48	0,27	4,01
種 子	119,500	56.905	3.414	29,79	14,19	0,85	12,72
肥料石灰	231,973	110.463	6.628	57,83	27,54	1,65	24,68
農 業	158.252	75.358	4.522	39,45	18,79	1,13	16,84
機械維持費	225.063	107.173	6.430	56,11	26,72	1,60	23,95
小 計	772.485	367.849	22.071	192,58	91,71	5,50	82,20
機械償却費	84.519	40.240	2.415	21,07	10,03	0,60	8,99
金融費用	28.163	13.411	805	7,02	3,34	0,20	3,00
社会保障費	22.123	10.535	632	5,52	2,63	0,16	2,35
保 險 料	32.444	15.450	927	8,09	3,85	0,23	3,45
合 計	939.736	447.493	26.850	234,28	111,56	6,69	100,00

出所：I E A サバウ州、マリリア地方 機械化により1haあたり35俵収穫の場合1俵=60Kg 92年7月調査

### 3. 2. 2 綿

#### イ) 生産

表122 綿(草綿)：1991年の生産実績

州 別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	単 収 Kg/ha
パラナ	618,0	618,0	1.024,1	1.657
サン・パウロ	243,6	243,6	438,7	1.801
バイア	175,5	175,4	137,0	781
ミナス・ジェライス	119,5	118,5	106,8	902
マトグロソ・スル	52,7	51,9	90,6	1.745
ゴヤス	43,2	43,0	83,7	1.946
その他	250,3	233,7	156,9	
全国計	1.502,8	1.484,1	2.037,8	1.373

出所：IBGE

表123

綿(木綿) : 1991年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単 収 Kg/ha
セ ア ラ	164,8	153,6	18,2	119
ピアウイ	94,4	93,9	7,0	75
パライーバ	58,0	58,0	9,2	159
ベルナンブコ	32,5	28,7	1,4	48
リオ・グランデ・ド・ノルテ	10,7	10,7	2,6	246
その他	0,2	0,1	0,1	
全国計	360,6	345,0	38,5	112

出所: IBGE

表124

綿(草綿) : 1992年の生産状況 (92年10月調査)

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単 収 Kg/ha
パラナ	700,0	700,0	980,0	1.400
サン・パウロ	230,0	230,0	381,3	1.658
バイア	195,7	174,9	102,2	684
マト・グロソ・ド・スル	74,0	73,3	85,2	1.162
ゴヤス	54,1	53,8	83,7	1.557
ミナス・ジェライス	114,7	111,3	78,4	704
その他	278,7	248,3	137,5	
全国計	1.647,4	1.571,6	1.848,3	1.161

出所: IBGE

表125

綿(木綿) : 1992年の生産状況 (92年10月調査)

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単 収 Kg/ha
セ ア ラ	139,2	137,2	13,8	101
パライーバ	59,6	59,6	7,1	119
ピアウイ	53,5	53,5	2,5	47
ベルナンブコ	25,6	24,1	1,6	68
リオ・グランデ・ド・ノルテ	9,8	9,8	1,2	121
その他	0,1	-	0,1	...
全国計	287,7	284,2	26,3	92

出所: IBGE

91/92農年における綿(草綿)の生産は、年度当初増産が予想されていたが全国的な天候不順のため前年を(-)9,3%下廻る1.848千トンに止まった。中でも最大の生産地帯であるパラナ州において、その反収を前年の1.657Kg/haより1.400Kgに落し、過去5ヶ年間の最低を記録したのが全国生産に大きく影響した。パラナ州に次ぐサンパウロ州においても栽培面積の減少と天候不順により生産を落している。

東北地方も又面積の減少と乾燥による反収の低下が重なって減産をみており、これらの結果、全国の綿生産量は、前年比(-)9%の653.8千に止まった。

東北地方で生産される永年性の木綿の場合も前年の38.5千トンに対し91/92農年は、26.3千トンへと落ちている。

表126

綿(草綿):過去5ヶ年間の生産推移

1,000 t

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
バラナ	874,2	805,3	852,6	1,024,1	980,0
サン・パウロ	675,2	513,5	480,1	438,7	381,3
バイア	324,1	114,2	109,4	137,0	102,3
マトグロソド・スル	73,5	78,5	73,6	90,6	85,2
ゴヤス	84,4	58,7	59,8	83,7	83,7
その他	906,4	243,2	199,0	263,7	215,9
全国計	2,437,8	1,813,4	1,774,5	2,037,8	1,848,3

収穫面積 1,000ha	1,824,6	1,506,8	1,383,5	1,484,1	1,591,6
--------------	---------	---------	---------	---------	---------

出所: IBGE

表127

綿(木綿):過去5ヶ年間の生産推移

1,000t

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
セアラ	41,2	18,7	18,8	18,2	13,8
パライーバ	19,3	7,4	3,9	9,2	7,1
ピアウイ	13,7	5,3	9,0	7,0	2,5
ベルナンブコ	8,6	2,4	2,4	1,4	1,6
リオグランデ・ノル	14,2	11,9	3,8	2,6	1,2
その他	2,3	1,4	0,3	0,1	...
全国計	99,3	47,1	38,2	38,5	26,3

収穫面積 1,000ha	734,4	618,6	511,8	345,0	284,2
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

出所: IBGE

表128

綿(草綿):主要生産地の反収

Kg/ha

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
バラナ	1,860	1,940	1,740	1,657	1,400
サン・パウロ	2,023	1,889	1,596	1,801	1,658
バイア	981	434	587	781	584
マトグロソド・スル	1,468	1,728	1,650	1,745	1,162
ゴヤス	1,844	2,294	1,685	1,946	1,557
全国平均	1,336	1,203	1,283	1,373	1,161

出所: IBGE

表129

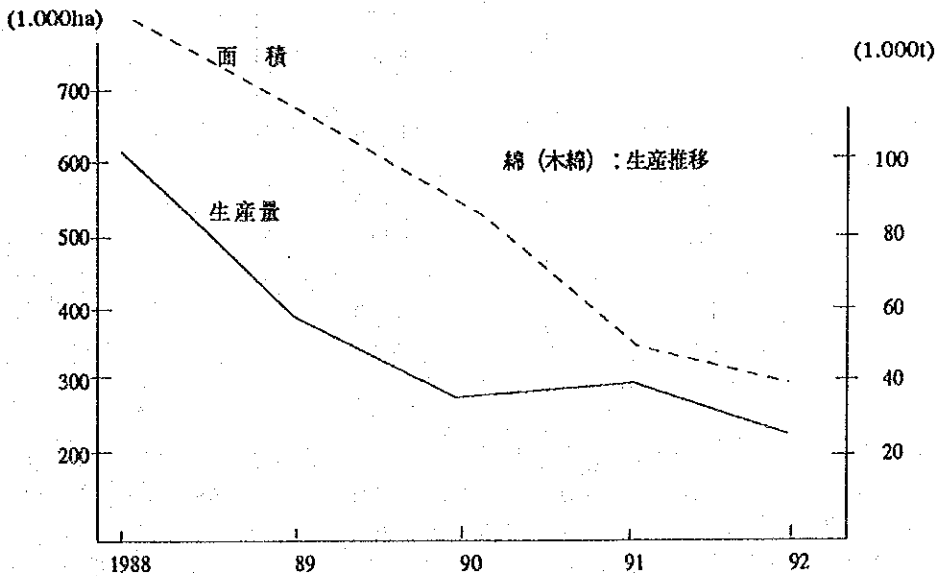
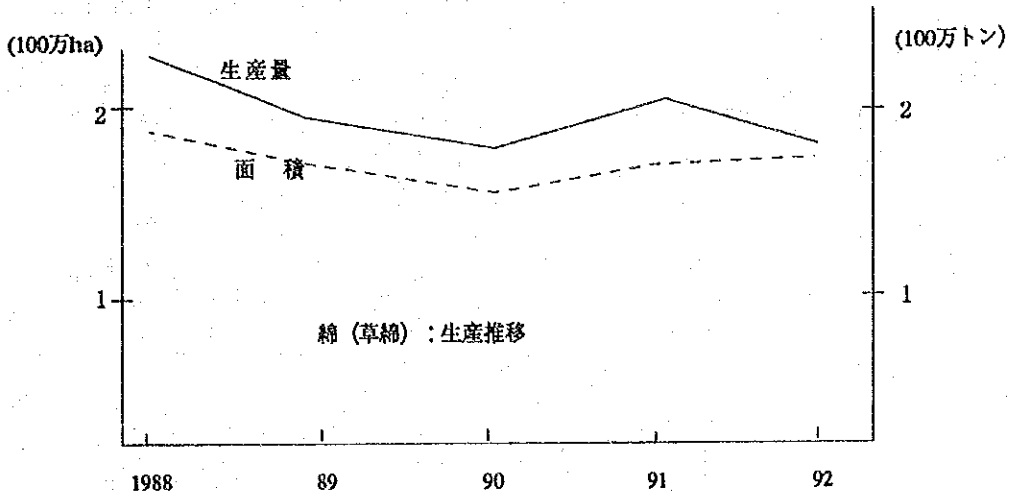
綿(木綿):主要生産地の反収

Kg/ha

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
セアラ	144	113	95	119	101
パライーバ	184	94	55	159	119

ピアウイ	84	40	72	75	47
ベルナンブコ	144	63	63	48	68
リオ・グランデ・ド・ノルテ	138	120	49	211	121
全国平均	135	76	75	112	92

出所：IBGE



(国際市場)

91/92農年には、綿綿の世界生産量が記録的な20.79百万トンに達したのに対し世界の消費量に変化がなかったため、取引量の増加にかかわらず国際相場の大巾な下落がみられた。中でも世界の大型消費市場である東南アジア及びEC圏では、その消費量をそれぞれ4.0%及び7.0%減少し、これは国際価格に大きな影響を与えた。世界の取引量では、輸入側において東ヨーロッパ及び旧ソ連圏、輸出側では、オーストラリア及びパキスタンが大きかった。

世界の綿市場は、91/92農年以降消費が供給量の増加に伴わなかったため、2、3年間世界在庫の増加が記録されており、これを理由として価格の下落が加速し、上半期には前年同期に比して(-)23.0%の下落があった。

表130 綿：世界の綿綿需給 100万トン

項目	1990/91	91/92	92/93
期首在庫	6,89	7,03	9,24
生産量	19,02	20,79	20,16
消費量	18,63	18,74	19,44
輸出量	5,01	6,22	6,34
輸入量	5,32	6,34	3,64
期末在庫	7,03	9,24	9,96

出所：ICAC

表131 綿の国際相場

月別	1990	1990	1990
1月	74,78	83,58	59,20
2月	77,02	85,17	56,27
3月	79,63	84,00	55,46
4月	81,68	82,99	58,41
5月	80,74	83,64	60,65
6月	81,48	83,77	64,26
7月	83,17	80,72	...
8月	81,12	73,01	...
9月	81,23	70,09	...
10月	81,63	67,83	...
11月	82,51	63,39	...
12月	83,97	61,70	...
平均	80,75	76,66	...

出所：COTTON SITUATION

国際綿委員会（ICAC）によると92/93農年の世界生産者は、20.16百万トンで前年を(-)3.0%減少する見込みである。世界最大の生産国である中国で、栽培面積の増加にかかわらず紡績原料としての綿に対する補助の撤廃から生産量は(-)3.6%の減少が見込まれており、これが世界生産減少の理由とされている。

90/91農年における世界消費の減退、91/92年における消費の低位安定のあと92/93農年には、前年を3.7%上回る需要の回復が予想されている。ただし輸出国における繰越在庫の増加から、需要の回復が価格の上昇につながる可能性は少ない。91/92農年の期末在庫量は、9.24百万トンで前年を31.4%上回るものであり、最近数年間でもっとも大きなものとなっている。

綿の国際貿易に関しては、輸出において前年比1.9%の増加が予想されている。これは、基本的に中国における輸



出量が91/92農年の149.0千トンより92/93農年には550.0千トンに増加し、最近数年間にみられた輸入国の立場より大型の輸出国に変る可能性が考えられているためである。このような動きは、又、国際価格の上昇を押える要素ともなり得るものである。その1つの現われとして、世界最大の輸出国である米国が輸出量を前年比(-)1.4%減少する1.46百万トンに落しながら価格は、前年並みのポンド当りUS\$0.73を維持していることなどがあげられる。

このような92/93農年における国際間の供給態勢の前に輸出国間の競争は、避け得ないものと予想されており、I C A C (国際綿委員会)によるとポンドあたり価格は91/92農年のUS\$ 0.63よりは、やゝ上昇、たゞし73/74農年当時のUS\$ 0.74よりは、はるかに低いUS\$ 0.67あたりに止まらうと予想されている。

#### ハ) 国内市場

実綿及び繰綿の販売は、ゆるやかな速度で行われ実質価格の上昇を妨げた。全般的に低調な市況に支配されたのは、経済リセッションによる国内需要の落ち込みと、国際市場における相場の低下にもとづくものであった。

サン・パウロ州内の綿生産者受取価格をみると、2月以降実質価格の下落が記録されており、4月から6月にかけて最低価格を割る状態にあった。このようなサン・パウロ州の91/92農年価格は、過去3年間でもっとも低いレベルであった。

表132 実綿の生産者受取価格 CR/アローバ

月 別	価 格			92年7月を基準とした実質価格		
	1990	91	92	1990	91	92
1月	87	941	4.622	19.047	18.656	14.931
2月	146	1.216	7.035	18.614	19.915	18.212
3月	284	1.532	8.036	19.939	23.390	17.235
4月	239	1.602	9.499	15.098	22.493	17.186
5月	345	1.628	10.247	19.945	21.457	15.141
6月	379	1.685	12.137	20.086	20.218	14.769
7月	419	1.816	16.773	19.634	19.307	16.773
8月	522	2.000	...	21.668	18.411	...
9月	550	2.183	...	20.441	17.291	...
10月	572	2.654	...	18.614	16.688	...
11月	611	3.103	...	16.924	15.531	...
12月	630	3.425	...	14.985	14.035	...

出所: I F A

このような情勢下において綿部門としては、政府による販売融資や輸出に対するI C M S (商品流通サービス税)の延払い等を要請し、政府によるE G F (販売融資)が実施されることとなった。1992年7月までにE G Fの対象とされた量は、89,453トンで全国生産量の13.7%に相当している。

年間700千トンに停滞している国内の消費傾向とは矛盾しているが、繰綿の輸入は増加しており、とくに1992年は、国内生産量の減少を補填するために原綿の輸入は更に重要性をおびた。輸入品の中では、パラグアイが天候不順のため高級品質繊維の供給力を落したため、他の供給先としてロシアよりの輸入が行われた。

1992年におけるブラジルの輸出量は、90.0千トンと推定されており、最近3年間でもっとも低いレベルである。国内における供給量の減少と年間を支配した低い国際相場が輸出を押えた最大の理由であった。輸出の減少により期末在庫は、77.8千トンに達し過去3年間最大の規模となる見込みである。CONAB (国内供給公社)が発表した繰綿の需給バランスは、次表の通りである。

表133

## ブラジルの綿綿需給

1,000 t

区 分	1990	1991	1992
期首在庫	100,0	25,4	64,0
生産量	665,7	717,0	653,8
輸入量	85,2	150,0	150,0
供給量計	850,9	892,4	867,8
消費量	715,0	700,0	700,0
輸出量	110,5	128,4	90,0
期末在庫	25,4	64,0	77,8

出所: CONAB

サン・パウロ州農務局、農業経済研究所 (IEA) が行った92/93農年の生産コスト予想によるとサン・パウロ州内の綿作生産者は、生産費の一部を自己資金又は農業融資以外の金融によらねばならない結果が出ている。すなわち92年7月に行われた生産コスト調査によると州内プレジデンテ・ブルデンテ地区における1haあたりコストは434.69ドルとなっているが、生産費融資枠が決定された8月のレートで換算するとそのクルゼイロ額はCR2.207.117,-/haでVBC (生産費融資) CR1.424.526,- はコストの64,5%にしか相当しないこととなり35,5%は、農業融資以外の資金を準備しなければ生産が出来ない計算となる。カンピーナス地区における生産コストも同様の計算でCR3.155.635,-/ha、これに対するVBCは、CR1.740.693,- で必要資金の55,2%を満たすにすぎない。

地方92/93農年に対する最低保証価格は、92年8月時点でCR 21.198,- /アローバとなっており同月のサン・パウロ市場における価格CR 21.400,- /アローバとほぼ同等であった。7月以降生産者価格の回復があったが生産物の大半は、上半期中に販売されているため、7月以降の価格回復も生産者収益の増加にはつなげていない。

このような情勢の中で92/93農年における綿の作付面積は、前年並みを維持する程度、もしくは若干の減少となるものと予想されている。

表134

## 綿の生産コスト予想 (92/93農年) A

項 目	CR		US\$		構 成 比 %
	1ha 当り	170バ 当り	1ha 当り	170バ 当り	
労 務 費	174.431,25	1.373,47	43,49	0,34	7,85
種 子	84.092,00	662,14	20,96	0,17	3,78
肥料石灰	327.672,00	2.580,09	81,69	0,64	14,74
農 薬	383.121,00	3.016,70	95,51	0,75	17,24
機械維持費	545.719,57	4.297,00	136,05	1,07	24,55
収穫負請費	228.600,00	1.800,00	56,99	0,45	10,28
小 計	1.743.635,82	13.729,42	434,69	3,42	78,44
機械償却費	186.251,95	1.466,55	46,43	0,37	8,38
金融費用	90.814,37	715,07	22,64	0,18	4,09
社会保障費	102.373,70	806,09	25,52	0,20	4,61
保 険 料	99.716,85	785,17	24,86	0,20	4,49
合 計	2.222.792,68	17.502,30	554,15	4,36	100,00

出所: IEA サンパウロ州、プレジデンテ・ブルデンテ地区 機械化により1haあたり12770バ収穫の場合

92年7月調査

表135

綿の生産コスト予想 (92/93) B

項 目	CR		US\$		構 成 比 %
	1ha 当り	170バ 当り	1ha 当り	170バ 当り	
労 務 費	196,880.00	1,238.24	49.08	0.31	6.40
種 子	163,636.00	1,029.16	40.79	0.26	5.32
肥料石灰	541,580.00	3,406.16	135.02	0.85	17.60
農 薬	576,621.80	3,626.55	143.75	0.90	18.73
機械維持費	643,253.38	4,045.62	160.36	1.01	20.90
収穫負請費	371,000.00	2,333.33	92.49	0.58	12.05
小 計	2,492,971.18	15,679.06	621.50	3.91	81.00
機械償却費	217,615.55	1,368.65	54.25	0.34	7.07
金融費用	129,842.25	816.62	32.37	0.20	4.22
社会保障費	115,548.87	726.72	28.81	0.18	3.75
保 険 料	121,848.50	766.34	30.38	0.19	3.96
合 計	3,077,826.34	19,357.40	767.31	4.83	100.00

出所：IEA サバウ州、カビナ地区 機械化により1haあたり159バ収穫の場合 92年7月調査

### 3.2.3 落花生

#### イ) 生産

表136

落花生：1991年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単 収 Kg/ha
サン・パウロ	73.0	73.0	123.0	1.685
オランダ・スル	5.0	5.0	4.3	867
バイア	3.1	3.1	3.8	1,211
パラナ	2.4	2.4	3.3	1,353
セルジッペ	1.2	1.2	1.3	1,096
セアラ	1.2	1.2	1.2	1,031
そ の 他	2.3	2.3	2.0	-
全 国 計	88.2	88.2	138.9	1,575

出所：IBGE

表137

落花生：1992年の生産状況 (92年10月調査)

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単 収 Kg/ha
サン・パウロ	84.9	84.9	153.8	1.812
オランダ・スル	5.0	5.0	5.9	1,176
パラナ	2.2	2.2	3.3	1,511
バイア	2.6	2.6	3.0	1,132
ミナス・ジェライス	1.4	1.4	1.7	1,207
セルジッペ	1.2	1.2	1.3	1,096
そ の 他	2.1	2.0	1.3	-
全 国 計	99.4	99.3	170.3	1,715

出所：IBGF

ブラジルの落花生栽培は、サン・パウロ州に集中しており、同州が全国生産の約90%を占める。従ってサン・パウロ州の生産動向は、ブラジルの落花生生産動向とみて差支えない。91/92農年における同州の生産量は、栽培期間中の天候不順にかかわらず前年を25%上回る153.8千トンで90年以降生産の回復がみられており、1988年の生産規模に復活している。91/92農年収穫量の中81%が雨期作によるもので残りが第2収穫の乾期作によるものであった。

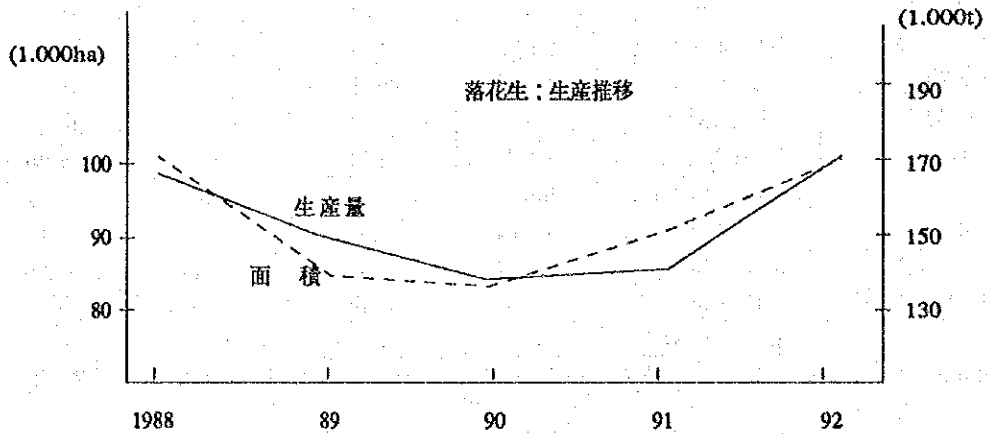


表138 落花生：過去5ヶ年間の生産推移 1,000 t

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
サン・パウロ	145,2	133,1	121,3	123,0	153,8
リオ・グランデ・ド・スル	5,6	5,7	5,8	4,3	5,9
パラナ	5,5	3,8	3,5	3,3	3,3
バイア	3,4	3,3	2,6	3,8	3,0
ミナス・ジェライス	1,3	1,1	0,9	0,9	1,7
その他	6,0	4,1	3,1	3,6	2,6
全国計	167,0	151,1	137,2	138,9	170,3

収穫面積 1,000ha	99,9	85,5	82,8	88,2	99,3
--------------	------	------	------	------	------

出所：IBGE

表139 落花生：主要生産地の反収 1,000 t

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
サン・パウロ	1.796	1.901	1.771	1.685	1.812
リオ・グランデ・ド・スル	1.060	1.140	1.137	867	1.176
パラナ	1.628	1.520	1.458	1.353	1.511
バイア	1.110	1.178	1.083	1.211	1.132
全国平均	1.672	1.767	1.658	1.575	1.715

出所：IBGE

#### ロ) 国際市場

91/92農年における落花生の世界生産量は22.61百万トンで前年を1,6%増加した。これは、前農年を通じて支配した高い価格が生産国における栽培面積を増加させたものであり、中でも米国では史上最大の生産が記録されている。

世界生産の増加にかかわらず世界の落花生取引きは、減退しており、輸出面において前年比(-)9.2%の減少がみられた。これは、前年よりの繰越在庫が比較的大きかったためであるが、このことは価格の上昇を押える要因となり、米市場では92年1-6月に前年同期と比較して大巾な価格の下落がみられた。

92/93農年については、前年を(-)1%下廻る22.38百万トンの生産となる見込みであるが、前年よりの繰越在庫が14%増加して780千トンに及んでいることから世界生産の減少も価格を押える要素とはなっていない。ただし国際間貿易は、増大の傾向をみせているので、これが相場を回復される期待が持たれている。

落花生油の国際市場も前年中良好な状況ではなく、91/92年中に生産の増加がなかったにもかかわらず過去数年間最低の価格を記録した。取引量が安定してきたこと、全般的に消費が減少して在庫量が前年を上廻ったことが価格下落の理由となっている。このほか、他の競合作物(大豆、綿、パームオイル等)の生産増加も落花生価格の上昇を押える要素に加えられる。

表140 落花生の国際相場 US \$ - CIF ROTTERDAM

月 例	1990	1991	1992
1月	923	1.850	812
2月	900	1.788	779
3月	880	1.700	766
4月	875	1.500	794
5月	883	1.256	827
6月	905	1.103	828
7月	860	1.180	830
8月	1.400	928	...
9月	2.050	930	...
10月	2.120	956	...
11月	2.110	854	...
12月	2.000	800	...
平均	1.326	1.237	...

出所: OIL WORLD WEEKLY

表141 落花生油の国際相場 US\$ / t CIF ROTTERDAM

月 例	1990	1991	1992
1月	903	1.013	619
2月	933	1.027	605
3月	971	1.022	595
4月	938	986	616
5月	919	919	651
6月	931	919	665
7月	925	930	640
8月	963	929	...
9月	991	844	...
10月	1.012	799	...
11月	1.040	718	...
12月	1.038	614	...

平均	964	893	...
----	-----	-----	-----

出所：OIL WORLD WEEKLY

表142 世界の落花生油需給 1,000 t

区分	1990/91	91/92	92/93
生産量	3,430	3,470	3,520
輸出量	300	300	290
輸入量	330	290	290
消費量	2,460	3,450	3,530
期末在庫	60	70	70

出所：USDA

米国農務局 (USDA) が発表した世界の落花生油需給バランスによると92/93農年における落花生油の世界生産量は、3.52百万トンの予想で、91/92農年を1.4%上回る見込みである。又世界の取引量は、290千トンで大きな変化はないが過去2年間よりは、やや減少する予想となっている。世界の消費量は、前年をやや上回る3.53百万トン、期末在庫は前年並みの70千トンと予想されている。

#### ハ) 国際市場

91/92農年落花生の販売は、92年の最初の2ヶ月間は、前年並みの価格で取引されたが、乾期の作付が前年を大巾に(18.5%)上回り、先行き価格の低下が予想されたため、その前に販売しようとする動きが強くなり、これが価格を押し下げ、3月から7月にかけて前年を大巾に下回る価格が支配した。6月の価格をとる場合、実質価格でみて前年比(-)57%の値下げであった。

92年の落花生市場では、搾油量が減少し、国内市場向け豆の需要が増加するという変化があった。これは、新期収穫物の品質が向上したこと、落花生粕に対する海外の需要が減少したためであるが、この結果、国内市場が価格決定の主要市場となった。しかし、全般的なリセッションは、落花生市場にも同様な影響を与えて需要を押し下げ、それを反映して価格は伸びなかった。

表143 落花生：生産者受取価格 CR/25Kg

月例	生産者受取価格			92年7月をベースとした実質価格		
	1990	1991	1992	1990	1991	1992
1月	95	1.322	8.910	20.758	26.221	28.785
2月	120	1.383	8.428	15.335	22.647	21.819
3月	189	1.507	7.861	13.290	23.005	16.860
4月	212	2.189	8.370	13.386	30.733	15.144
5月	303	2.278	8.200	17.502	30.020	12.116
6月	521	2.605	11.165	27.598	31.241	13.587
7月	600	2.821	17.169	28.143	29.990	17.169
8月	759	3.107	...	31.482	28.596	...
9月	1.072	3.758	...	39.804	29.768	...
10月	1.164	4.937	...	37.856	31.076	...
11月	1.124	7.377	...	31.144	36.922	...
12月	1.258	8.382	...	29.927	34.347	...

出所：IEA

サン・パウロ州農務局農業経済研究所 (IEA) が算出した92/93農年の生産コスト予想によると、州内リベイロン・プレット地区の場合、1俵 (25Kg) 当りコストは、CR25,480,00、マリリア地区でCR 33,145,00 (いずれも92年7月時点) であった。これを92年7月の平均レート (CR 4,011,19) で除したドル価額は、それぞれ\$6,35 及び\$8,26 となっている。

尚生産コスト表の中にある金融費用とは、農業融資利息年利12,5%、社会保障費とは、一般労務費及びトラクター運転手の人件費に対する58,69%、又保険料とは、VBC (生産融資基準額) の9,4%として算出されたものである。

表144 落花生の生産コスト予想 (92/93) A

項 目	CR		US\$		構 成 比 (%)
	1ha 当り	1俵 当り	1ha 当り	1俵 当り	
労 務 費	336,460	3,738	83,88	0,93	14,67
種 子	224,000	2,488	55,84	0,62	7,77
肥料石灰	241,74	2,686	60,27	0,67	10,54
農 薬	304,056	3,378	75,80	0,84	13,26
機械維持費	505,482	5,616	126,02	1,40	22,04
風 袋	72,000	800	17,95	0,20	3,14
運 搬 費	74,250	825	18,51	0,21	3,24
小 計	1,757,989	19,533	438,27	4,81	76,66
機械償却費	185,103	2,057	46,15	0,51	8,07
金融費用	64,093	712	15,98	0,18	2,79
社会保障費	197,468	2,194	49,23	0,55	8,61
保 險 料	88,541	984	22,07	0,25	3,86
合 計	2,293,194	25,480	571,70	6,35	100,00

出所: IEA サンパウロ州 リベイロン・プレット地区、機械化により1haあたり90俵収穫の場合 92年7月調査

表145 落花生の生産コスト予想 (92/93) B

項 目	CR		US\$		構 成 比 (%)
	1ha 当り	1俵 当り	1ha 当り	1俵 当り	
労 務 費	252,420	3,195	62,93	0,80	9,64
種 子	214,880	2,720	53,57	0,68	8,21
肥料石灰	205,456	2,600	51,22	0,65	7,85
農 薬	494,096	6,255	123,18	1,56	18,87
機械維持費	710,212	8,990	177,06	2,24	27,12
風 袋	118,500	1,500	29,54	0,37	4,53
運 搬 費	65,175	825	16,25	0,21	2,49
小 計	2,060,740	26,085	513,75	6,50	78,70
機械償却費	245,955	3,113	61,32	0,78	9,39
金融費用	75,131	951	18,73	0,24	2,87
社会保障費	148,145	1,875	36,93	0,47	5,66
保 險 料	88,541	1,121	22,07	0,28	3,38
合 計	2,618,514	33,145	652,80	8,26	100,00

出所: IEA サンパウロ州 マリリア地区、機械化により1haあたり79俵収穫の場合 92年7月調査

3. 2. 4 ヒマ

表146 ヒマ：1991年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単 収 Kg/ha
バ イ ア	165,7	162,1	84,9	524
サン・パウロ	11,7	11,7	13,0	1.111
セ ア ラ	14,1	14,1	11,2	794
ベルナンブコ	38,8	30,6	8,1	265
ピアウイ	10,4	10,1	6,7	658
バラ ナ	3,1	3,1	4,5	1.443
ミナス・ジェライス	0,6	0,6	0,6	963
全 国 計	244,9	232,8	129,2	555

出所：IBGE

表147 ヒマ：1992年の生産状況（92年10月調査）

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単 収 Kg/ha
バ イ ア	136,6	132,6	90,1	680
サン・パウロ	8,4	8,4	10,1	1.201
ピアウイ	8,1	8,1	5,2	648
ベルナンブコ	38,4	20,0	3,5	176
バラ ナ	1,9	1,9	2,5	1.300
セ ア ラ	10,5	8,7	1,9	216
ミナス・ジェライス	0,4	0,4	0,4	1.002
そ の 他	0,4	0,4	0,3	
全 国 計	204,7	180,5	114,0	632

出所：IBGE

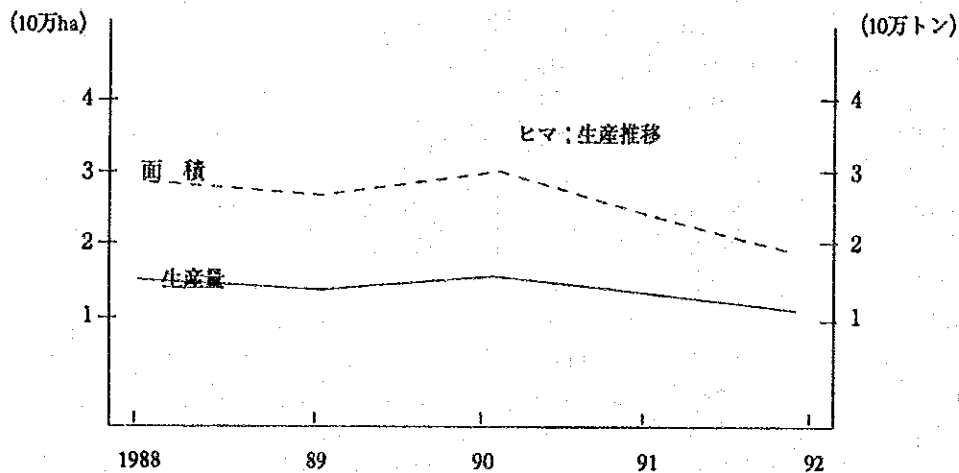




表148

ヒマ：過去5ヶ年間の生産推移

1,000 t

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
バイヤ	72,8	62,3	100,3	84,9	90,1
サン・パウロ	16,4	16,1	16,5	13,0	10,1
ピアウイ	8,7	14,6	4,8	6,7	5,2
ベルナンブコ	15,6	14,5	12,3	8,1	3,5
バラナ	12,6	7,9	5,8	4,5	2,5
セアラ	13,1	9,0	5,7	11,2	1,4
その他	8,7	4,2	2,3	0,8	1,2
全国計	147,9	128,6	147,7	129,2	114,0

収穫面積 1,000ha	278,9	269,1	286,3	232,8	180,5
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

出所：IBGE

表149

ヒマ：主要生産地の反収

Kg/ha

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
バイヤ	390	356	491	524	680
サン・パウロ	1,265	1,247	1,319	1,111	1,201
ピアウイ	692	1,057	348	658	648
ベルナンブコ	570	512	330	265	176
バラナ	1,374	1,408	1,474	1,443	1,300
セアラ	791	515	503	794	216
全国平均	530	476	516	555	632

出所：IBGE

表150

ココヤシ：1991年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000ヶ	単収 Kg/ha
バイア	51,5	51,5	213,5	4.143
セアラ	38,3	38,3	140,9	3.682
バラナ	13,5	13,5	136,1	10.054
リオグランデ・ド・ノル	34,9	34,9	108,3	3.098
セルジッパ	47,7	47,6	102,2	2.146
アラゴアス	15,2	15,2	63,8	4.200
ベルナンブコ	11,9	11,9	38,9	3.259
その他	14,7	14,7	35,5	
全国計	227,7	227,6	849,2	3.731

出所：IBGE

表151

ココヤシ：1992年の生産状況 (92年10月調査)

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000ヶ	単収 Kg/ha
バイア	52,7	52,7	209,6	3.974
セアラ	42,6	42,6	160,8	3.773
バラナ	11,8	11,8	140,5	11.858

オグランド・ルテ	34,8	34,8	107,4	3.091
セルジッペ	50,0	50,0	98,4	1.969
アラゴアス	14,8	14,8	59,0	4.000
ペルナンブコ	12,0	12,0	40,7	3.395
その他	14,5	14,5	51,1	
全国計	233,2	233,2	867,5	3.721

出所：IBGE

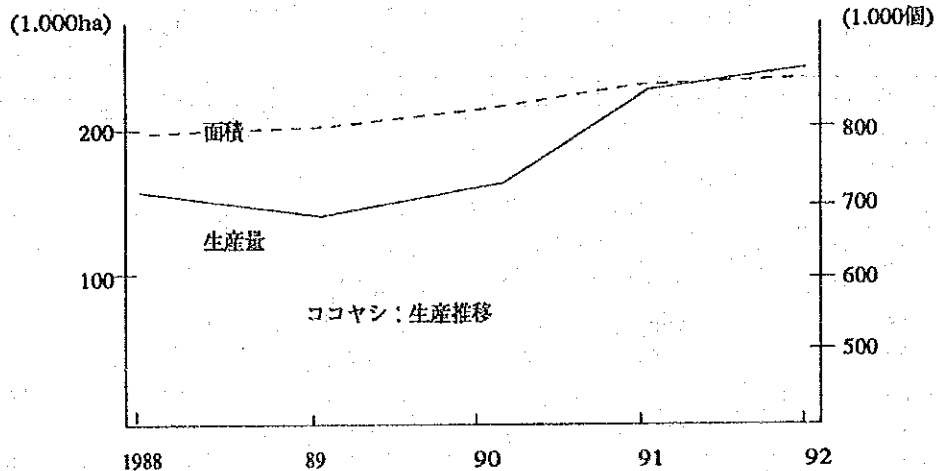


表152 ココヤシ：過去5ヶ年間の生産推移 1,000ヶ

州別	1988	1989	1990	1991	1992
バイア	120,0	132,6	188,5	213,5	209,6
セアラ	134,2	129,9	133,9	140,9	160,8
パラ	49,5	65,6	97,1	136,1	140,5
オグランド・ルテ	99,2	68,3	54,5	108,3	107,4
セルジッペ	91,7	87,1	86,5	102,2	98,4
その他	205,3	197,5	148,8	138,2	91,8
全国計	699,9	681,0	709,3	849,2	867,5

収穫面積 1,000ha	198,1	198,1	206,0	227,6	233,2
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

出所：IBGE

表153 ココヤシ：主要生産地の反収

州別	1988	1989	1990	1991	1992
バイア	3.000	3.544	3.882	4.143	3.974
セアラ	4.255	4.028	3.782	3.682	3.773
パラ	6.818	7.172	9.306	10.054	11.858
オグランド・ルテ	3.632	2.647	2.027	3.098	3.091
セルジッペ	2.022	2.039	2.007	2.146	1.969

全国平均	3.533	3.439	3.443	3.731	3.721
------	-------	-------	-------	-------	-------

出所：IBGE

### 3.3 工業原料作物

#### 3.3.1 砂糖キビ

##### イ) 生産

表154 砂糖キビ：1991年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単 収 Kg/ha
サン・パウロ	1,852.4	1,852.4	136,200.0	73,526
ベルナンブコ	468.9	467.1	23,505.5	50,317
アラゴアス	489.9	483.8	22,214.5	45,917
ミナス・ジェライス	283.5	276.3	17,588.3	63,647
パラナ	172.3	172.3	12,218.6	70,916
オデジサイ	195.4	195.4	8,145.0	41,694
パライーバ	155.6	155.6	8,115.4	52,141
ゴヤス	101.9	101.9	7,136.1	70,017
マトグロソド・スル	65.4	65.4	3,932.5	60,168
バイア	75.8	75.8	3,391.7	44,733
オグランダ・ド・ノル	62.7	62.7	3,128.0	49,909
マット・グロソ	59.5	51.3	3,110.9	60,649
セアラ	65.7	65.7	2,899.5	44,106
マラニオン	37.3	37.3	2,010.1	53,945
セルジッペ	35.8	35.7	1,970.4	55,121
エスピリト・サント	34.2	34.2	1,580.0	46,258
ピアウイ	19.2	19.2	1,490.1	77,679
オグランダ・ド・スル	31.8	31.8	840.0	26,480
その他	28.1	27.0	1,362.2	
全国計	4,235.4	4,210.9	260,838.8	61,943

出所：IBGE

表155 砂糖キビ：1992年の生産状況 (92年10月調査)

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単 収 Kg/ha
サン・パウロ	1,889.5	1,889.5	145,500.0	77,004
ベルナンブコ	468.9	468.9	23,776.3	50,711
アラゴアス	447.9	447.9	21,453.1	47,894
ミナス・ジェライス	272.5	272.5	17,354.2	63,688
パラナ	185.0	185.0	13,875.0	75,000
パライーバ	152.5	152.5	7,969.9	52,273
ゴヤス	99.5	99.5	7,321.8	73,586
オデジサイ	174.6	174.6	7,305.5	41,852
マット・グロソ	63.6	63.6	4,182.3	65,712
マトグロソド・スル	64.8	63.9	4,163.9	65,170

パイア	72,4	72,4	3.304,2	45.624
セアラ	64,2	64,2	2.798,1	43.592
リオグランデ・ド・ノル	54,2	54,2	2.568,6	47.404
セルジッペ	31,2	31,2	1.802,2	57.792
エスピリト・サント	33,8	33,8	1.779,1	52.683
マラニョン	37,1	35,4	1.710,1	48.277
リオグランデ・ド・スル	32,9	32,9	1.023,9	31.079
その他	47,2	46,9	2.285,4	
全国計	4.191,8	4.188,9	270.173,6	64.498

出所：IBGE

IBGEが発表する全国収穫状況調査によると91年の砂糖キビ生産実績は、421万ヘクタールの面積より260.8百万トン、又92年の5月より開始された92/93農年の生産状況は、面積において前年比(-)0,5%の419万ヘクタールに減少したものの、反収の増加により生産量は、前年を3,6%上回る270.2百万トンに達しており、91年に後退した生産を再び上昇線に戻している。92年は収穫開始時点では、天候の不順のために予想よりも遅延する問題が生じていたが、その後は生育期間の全体を通じて天候に恵まれたことから上記の生産に達したものであった。92年に得られた反収の64,4t/haは、史上最高のレベルとされている。中でも全国生産の54%を占める国内最大の生産地帯を持つサン・パウロ州では、9月以降定期的な降雨があったため極めて順調な生産が行われ、その反収を前年比10%向上する77t/haに伸ばし、生産量も又145.5百万トンに達する記録を残しているが、これ又過去5年間最大の収穫量であった。

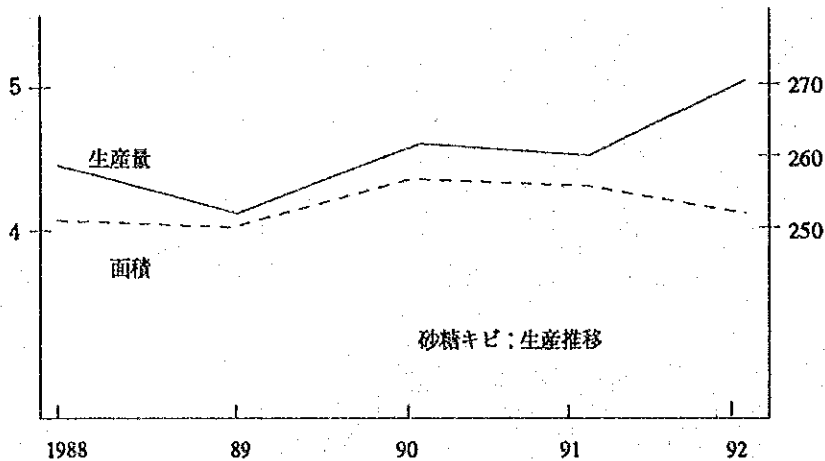


表156

砂糖キビ：過去5ヶ年間の生産推移

1,000 t

州別	1988	1989	1990	1991	1992
サン・パウロ	135.399,4	131.705,2	137.835,0	136.200,0	145.500,0
ペルナンブコ	22.557,3	24.508,1	22.817,7	23.505,5	23.776,3
アラゴアス	18.354,3	25.208,0	26.151,0	22.214,5	21.453,1
ミナス・ジェライス	18.308,5	17.006,2	17.533,4	17.588,3	17.354,2
パラナ	12.210,0	12.337,5	11.736,4	12.218,6	13.875,0
パライーバ	8.798,2	8.647,3	8.254,8	8.115,4	7.969,9

ゴヤス	6.556,1	6.640,0	6.896,3	7.136,1	7.321,8
その他	36.229,1	28.590,3	31.380,0	43.860,4	32.923,3
全国計	258.412,9	252.642,6	262.604,6	260.838,8	270.173,6

収穫面積 1.000ha	4.117,4	4.075,8	4.270,9	4.210,9	4.188,9
--------------	---------	---------	---------	---------	---------

表157 砂糖キビ：主要生産地の反収 Kg/ha

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
サン・パウロ	75.839	80.609	76.069	73.526	77.004
ペルナンブコ	50.639	53.581	48.831	50.317	50.711
アラゴアス	43.439	57.304	46.819	45.917	77.894
ミナス・ジェライス	59.156	57.808	58.824	63.647	63.688
パラナ	74.000	75.000	73.621	70.916	75.000
パライーバ	54.834	54.467	52.936	52.141	52.273
ゴヤス	67.854	70.450	70.407	70.017	73.586
全国平均	62.762	61.985	61.487	61.943	64.498

IEA (サン・パウロ州農務局農業経済研究所) がサン・パウロ州内の土地利用に関する調査結果として発表したところによると州内における砂糖キビの生産拡大は、他の作物よりの砂糖キビへの切替えもしくは既存栽培分の生産性の向上によってのみ可能とするものであり、新しい栽培地帯を求める可能性は僅少との結論が出されている。砂糖キビの栽培を可能とする面積としては、6.552 千ヘクタールあり、これに対する現在の栽培面積2.109 千ヘクタールは、可能面積の30%程度で他の作物を砂糖キビに切り換えることにより全体的には栽培面積増加の余地は残されているが、地域によってはすでに限界に達しているところもある。例えば、州内砂糖キビ地帯のカンピーナスやソロカバでは適地以外の場所での栽培が行われており、リベイロン・プレットでも62%がすでに耕作済みとなっている。同研究所の発表による砂糖キビ栽培適地面積は、次表の通りである。

表158 サン・パウロ州内の砂糖キビ栽培適地面積 1.000ha

地域別	砂糖キビ栽培面積(1)	適地			制約地		合計(3)	割合	
		A	B	小計(2)	C	D		1/2	1/3
レジストロ	0,14	0	0	0	0	0	0	-	-
サンジョゼ・ドス・カボス	3,74	0	0	0	0	0	0	-	-
ソロカバ	82,43	0	42,0	42,0	0	121,0	163,0	196	51
カンピーナス	407,86	159,0	211,0	370,0	0	97,0	467,0	110	87
リベイロン・プレット	764,09	711,0	512,0	1.223,0	287,0	73,0	1.583,0	62	48
パウルー	294,50	361,0	203,0	564,0	0	4,0	568,0	52	52
サンジョゼ・ド・リベイロン・プレット	168,95	1.341,0	123,0	1.464,0	404,0	0	1.868,0	12	9
アラサツーパー	112,95	397,7	312,1	709,8	0	0	709,8	16	16
ナジデ・デ・ナズ	78,50	652,0	564,5	1.216,5	0	0	1.216,5	6	6
マリリア	196,97	811,0	152,0	963,0	0	66,0	1.029,0	20	19
合計	2.109,92	4.432,7	2.119,6	6.552,3	691,0	361,0	7.604,3	32	28

出所：IEA - INFORMAÇÃO ECONOMICA

注) A：土壌、気候が最適の条件下にある地区

B：気候は、最適だが土地の肥沃度に制約がある地区

C: 気候上問題があり水分も不足する地区

D: 気候上制約を受ける地区

#### ロ) 砂糖及びアルコール市場

91/92農年における砂糖及びアルコールの生産は、砂糖において、8,012千トン、アルコールが124.6億リットルの目標が設定されていたが、結果的に砂糖において13.3%、アルコール2.5%と目標を上回る良好な成果で終わり、砂糖の輸出も400千トンに達した。中でも国内最大の生産地帯であるサン・パウロ州では、砂糖の生産目標3.9百万トンに対し、4.6百万トンの生産、アルコールの場合は、生産目標82億リットルに対して85億リットルの生産実績を残している。これは、天候条件に恵まれ農業面、工業面で生産性を向上した結果によるものであり、1トンの砂糖キビ当り、砂糖の生産性は、前年の109Kgより115Kgへと増加した。

中央・南部地方におけるアルコールの生産量は、109.1億リットルでこれを補足したメタノール(630百万リットル)MTBE(130百万リットル)、含水エタノール(40百万リットル)の輸入品と前年よりの繰越在庫(565百万リットル)により、供給総量は、122.79億リットルであった。これに対する消費量は、年間110億リットルで(月間平均917百万リットル)で年度末(92年4月30日)には、12.79億リットルの次期繰越在庫(約1.4月分の消費量)を残しており、供給面に問題はなかった。

1992/93農年の生産計画は、92年6月16日付地域開発庁布告第60により砂糖において8,127千トン、アルコールにおいて132億リットルと発表されており、砂糖の生産を前年並みに維持しながらアルコールの生産を更に拡大する線です、めることが明らかとされている。

表159

92/93農年の砂糖及びアルコール生産計画

地域別	砂糖 (1,000 t)	アルコール (1億リットル)
中央・南部地方	5,434	111,82
(内 サン・パウロ州)	(4,035)	(86,00)
北部・東北部地方	2,738	20,13
全国計	8,172	131,95

出所: SDR

世界でもユニークな国家計画として推進されているアルコール計画(プロアルコール)については、政府がインフレ抑制の対策として行った価格政策の中で砂糖キビ価格を押えたことから原料の生産が低滞して、89年末より90年始めにかけて極度のアルコール不足を生じプロアルコール最大の危機を経験した。このような事態の再発を防止する措置としては、メタノールの輸入を始め、無水アルコールのガソリン混入率を大サン・パウロ圏のみを除き、22%より12%に低下してアルコールの消費を押えたため、以後国内供給に支障を生じることなく今日にいたっているが91/92農年に続き、92/93農年の原料生産が順調に伸びたことから92年10月には、無水アルコールのガソリン混入率を再び全国的に22%に復活することを決定したほか、自動車工業界との協定により、全車種生産に占めるアルコール車の比率を40%に引上げることなど国家アルコール計画の推進に前向きな姿勢が示されている。一時的に不信を買ったアルコール燃料への関心の復活は、本来の目的としてのエネルギーの対外依存軽減のほか、すでに農村経済に重要な位置を占め、農村雇用、農村所得、地域格差の是正等に大きな影響を持つアルコール産業の安定、更に最近その関心がとくに高まっている環境対策の中で石油副産物に比してはるかに大気汚染度が低いアルコール燃料への再認識等にもとづくものである。

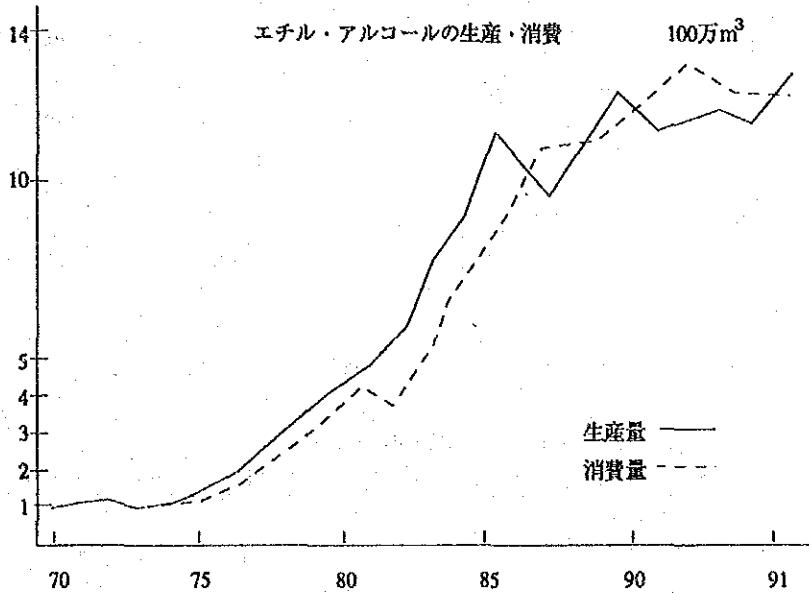
表160

## エチル・アルコールの需給バランス

1,000m<sup>3</sup>

年 度	生 産 量			輸 入 量	損失統計の 訂正等	消 費 量
	無水アルコール	含水アルコール	計			
1987	10.185	2.155	12.340	0	- 581	11.759
88	9.837	1.686	11.523	0	+ 875	12.398
89	10.315	1.494	11.809	0	+1.617	13.426
90	10.669	849	11.518	1.156	- 284	12.390
91	10.818	2.044	12.862	1.084	-1.360	12.586

出所：BALANÇO ENERGÉTICO NACIONAL 1992



## ハ) 輸 出

表161

## 砂糖の輸出実績 (重量)

1,000 t

年 度	精 晶 糖	粗 糖	精 製 糖	計
1986	304	874	1,154	2,322
87	193	908	1,093	2,194
88	92	892	781	1,764
89	116	433	504	1,053
90	101	825	577	1,503
91	174	803	506	1,483
92	655	681	809	2,145

(金額)

100万ドル

1986	33	138	184	355
87	31	134	159	324
88	16	167	162	345

89	33	114	159	306
90	37	289	186	512
91	47	208	142	397
92	161	168	211	540

出所: CTIC

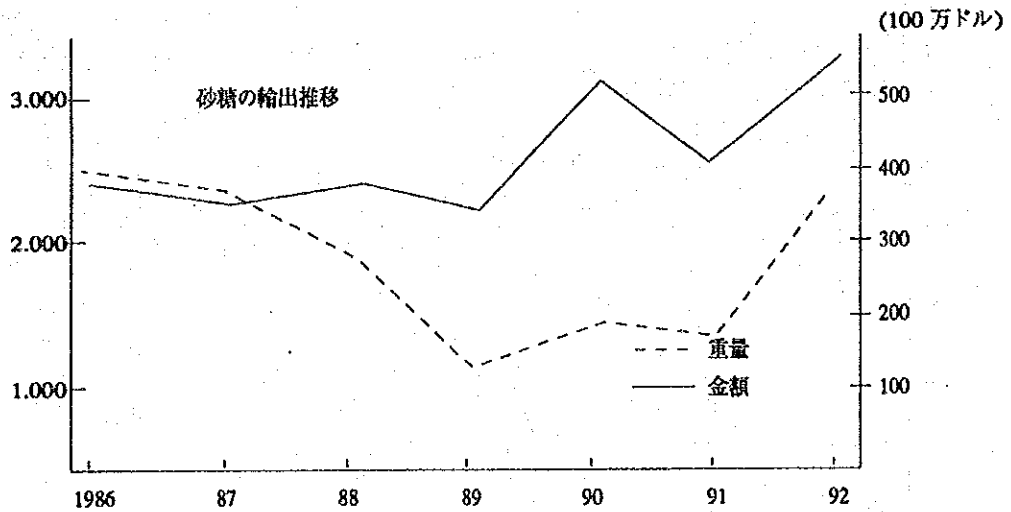


表162 砂糖(粗糖)の輸出先市場 1992年

輸出先国	重量 t	金額 1,000ドル	平均単価 US\$/t
モロッコ	300.080	60.057	200
米 国	140.866	58.119	412
南アフリカ連邦	68.300	13.946	204
シ リ ア	41.578	8.686	209
ポルトガル	39.648	8.032	203
ブルガリア	30.800	6.350	206
ツニジア	29.500	6.208	210
そ の 他	30.369	6.657	219
計	681.141	168.055	247

出所: DECE/CTIC (NBM1701.11.0200)

表163 砂糖(結晶糖)の輸出先市場 1992年

輸出先国	重量 t	金額 1,000ドル	平均単価 US\$/t
エジプト	170.776	42.071	246
旧ソ連邦	133.082	32.829	247
ナイジェリア	69.130	16.300	236
イエメン	51.000	13.631	267
ケ ニ ア	40.000	9.603	240
スリランカ	31.000	6.920	223
ルーマニア	26.000	6.239	240



ジョルダン	16.500	3.960	240
リビア	15.400	3.661	238
ペルー	13.000	3.244	250
その他	88.984	22.372	251
計	654.872	161.190	246

出所: DECEX/CTIC (NBM1701.11.0100)

表164 砂糖(精製糖)の輸出先市場 1992年

輸出先国	重量 t	金額 1,000ドル	平均単価 US\$/t
ナイジェリア	408.500	106.648	261
イラン	173.600	45.048	259
ツニジア	52.850	13.509	256
ブルガリア	38.575	9.864	256
ガーナ	35.650	9.036	253
アンゴラ	28.047	7.650	273
旧ソ連邦	26.000	6.602	254
その他	46.693	13.084	280
計	809.915	211.441	261

出所: DECEX/CTIC (NEM1701.99.0100)

ニ) 生産コスト

表165 砂糖キビの生産コスト推定 サン・パウロ州カンピーナス地方91/92農年 US\$/t

項目	第1年目	第2年目	第3年目	第4年目
	反収 95t/ha	反収 75t/ha	反収 65t/ha	反収 52t/ha
<b>A. 直接コスト</b>				
1) 労賃	0,63	0,35	0,40	0,48
2) 肥料石灰	1,94	1,10	1,33	1,58
3) 農薬	0,68	0,32	0,39	0,47
4) 機械維持費	3,46	1,63	1,76	2,09
5) 収穫請負費	0,96	1,01	1,01	1,01
6) 苗代	1,12	-	-	-
小計	8,79	4,41	4,88	5,63
<b>B. 間接コスト</b>				
1) 機械維持費	1,21	0,57	0,62	0,74
2) 金融費用	0,55	0,28	0,59	0,68
3) 社会保障費	0,32	0,18	0,20	0,24
小計	2,08	1,03	1,41	1,66
合計	10,87	5,44	6,29	7,28

出所: IEA

### 3. 3. 2 マンジョカ

#### イ) 生産

表166 マンジョカ：1991年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単 収 Kg/ha
バイア	338,1	338,1	4.243,5	12.550
バラ	233,9	232,0	2.962,5	12.769
パナ	102,6	102,3	2.261,8	22.117
マニョン	237,5	237,5	1.962,6	8.264
ピアウイ	159,7	159,7	1.934,3	12.109
リオ・グランド・スル	112,2	112,2	1.500,8	13.376
セアラ	137,9	137,9	1.185,5	8.598
ペルナンブコ	113,9	112,3	1.126,2	10.029
その他	512,7	511,1	7.352,6	
全国計	1.948,5	1.943,1	24.530,8	12.624

出所：IBGE

表167 マンジョカ：1992年の生産状況 (92年10月調査)

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単 収 Kg/ha
バイア	333,9	333,9	4.258,2	12.754
バラ	207,2	207,2	2.693,0	12.998
パナ	100,0	100,0	2.100,0	21.000
マニョン	237,9	233,9	1.655,2	7.077
リオ・グランド・スル	106,2	106,2	1.557,0	14.658
ピアウイ	143,3	143,1	1.217,9	8.512
ペルナンブコ	112,0	109,7	1.096,2	9.993
サンタ・カタリーナ	56,7	56,7	1.016,6	17.930
その他	602,3	601,4	7.322,7	
全国計	1.899,5	1.892,1	22.916,8	12.112

出所：IBGE

IBGEが92年10月に行った収穫状況調査によると91/92農年におけるマンジョカの実産量は、前年を51千ヘクタール下回る1.892千ヘクタールの面積で行われ、22.9百万トンの生産をあげた。この生産量は、前年の24.5百万トンに(-)7%劣るものであったが、これは主に東北地方における乾燥の被害にもとづくもので作付面積の減少、反収の低下によって生じたものであった。このような生産状況のため、91年まで増加を続けてきたマンジョカの実産量は、92年に始めて下降し、80年代末の実産規模に戻っている。

マンジョカは、ブラジル人とともに農村地帯の基礎食糧であることやその栽培が自然条件に大きく影響されないことから全国的に普及しており、一地域、一地方に偏重する形はないが地域別では、東北地方の実産比率が大きく、中でもバイア州は、面積、生産量共に最大の規模に有している。

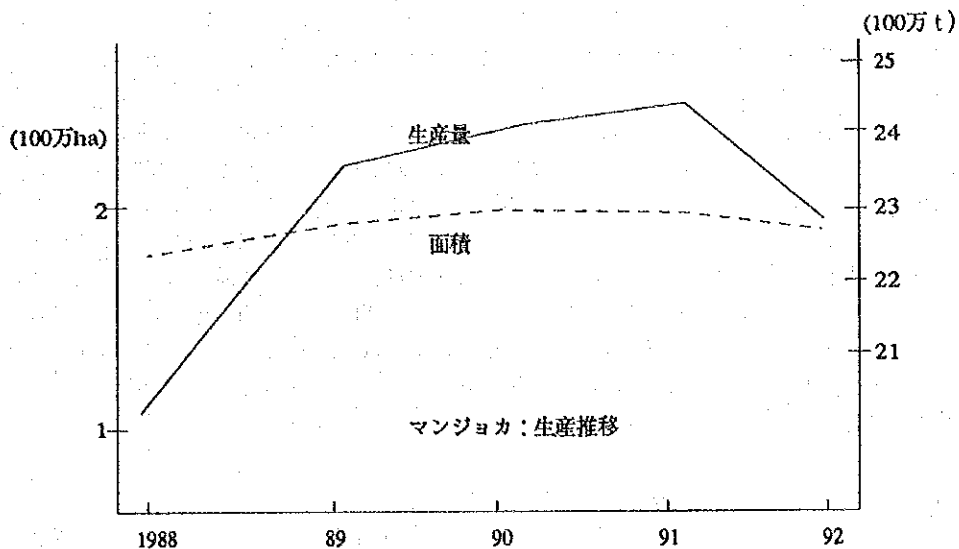


表168 マンジョカ：過去5ヶ年間の生産推移 1,000 t

州別	1988	1989	1990	1991	1992
バイア	3,429.0	4,022.7	4,152.3	4,243.5	4,258.2
パラ	1,908.9	2,609.6	2,857.5	2,962.5	2,693.0
パラナ	1,850.0	1,743.0	2,184.6	2,261.8	2,100.0
マラニョン	1,619.4	1,855.6	1,782.2	1,962.6	1,655.2
リオ・グランデ・ド・スル	1,827.8	1,644.7	1,738.1	1,500.8	1,557.0
その他	11,038.7	11,792.9	12,714.0	11,599.6	10,653.4
全国計	21,673.8	23,668.5	24,284.7	24,530.8	22,916.8

収穫面積 1,000ha	1,752.0	1,880.9	1,933.6	1,943.1	1,892.1
--------------	---------	---------	---------	---------	---------

出所：IBGE

表169 マンジョカ：主要生産地の反収 Kg/ha

州別	1988	1989	1990	1991	1992
バイア	12,700	12,571	12,753	12,550	12,754
パラ	12,116	13,174	12,395	17,769	12,998
パラナ	21,264	21,000	21,448	22,117	21,000
マラニョン	7,911	7,984	7,853	8,264	7,077
リオ・グランデ・ド・スル	13,554	13,571	14,309	13,376	14,658
全国平均	12,371	12,584	12,559	12,624	12,112

出所：IBGE

#### ロ) 市場

サン・パウロ市場におけるマンジョカ粉の卸市場価格は、89年上半期に高騰し実質価格で1俵あたりCR 115千まで上昇したあと90年、91年には、原料供給の増大から低価格が支配していたが92年の上半期には、原料生産の減少を反映した反発がみられ4～5月にCR50千を越す価格が記録された。これに平行してマンジョカ生産者の受取価格も上昇

し、4月にはトン当り、CR 150千を越えたが、89年2月に達したCR 427千には、いまだ遠く及んでいない。このように原料生産の減少にかかわらず価格が伸び悩んでいるのは、代替製品としてのとうもろこし粉に押されてマンジョカ粉や澱粉の需要が減少したためである。

たゞ1992年には、東北地方が乾燥の被害によって供給力を落していることや代替粉（米やとうもろこし）の価格も再び上昇気味であることなどから、マンジョカ粉の需要が復活し価格を押し上げる可能性が期待されている。代替粉の中、小麦粉だけは、国内生産の減少にかかわらず国際市場における競争激化のため価格の上昇はなく、マンジョカ粉の価格上昇を押える要素となっている。しかしいづれにしろ上半期にみられた価格の上昇は、作付を刺激するに十分な理由であり、次期生産の増加が予想される。92/93農年の作付けを刺激している他の理由としては、農業政策の中で生産費及び販売融資の対象にマンジョカ粉が含められたこと、VBC（生産費融資基準額）として設定されたCR 2,047,000,-（1ヘクタール20～25t収穫の場合）が生産コストのCR1,222,000,-を大中に上回るものであること、最低価格のCR95,650,-/haも1ヘクタールに21トン以上を生産する場合、コストを全面的にカバーすることなどから安定した収益を得る作物の1つとされていることが加えられる。

表170 マンジョカ：生産者受取価格（サン・パウロ州）  
1992年7月をベースとした実質価格

月 別	1988	1989	1990	1991	1992
1 月	134.983	422.263	102.581	77.435	98.766
2 月	197.072	427.369	78.016	75.210	112.806
3 月	197.961	411.719	69.843	89.420	137.280
4 月	260.127	405.481	66.084	85.935	152.285
5 月	265.488	386.490	77.034	88.386	144.705
6 月	237.831	340.347	75.283	74.336	133.815
7 月	248.443	244.850	70.048	79.809	135.094
8 月	262.744	191.049	64.218	86.374	...
9 月	279.867	150.933	67.414	87.271	...
10 月	325.468	140.450	63.245	85.554	...
11 月	384.487	101.605	72.228	90.097	...
12 月	411.740	83.500	70.866	85.868	...

出所：IEA

表171 マンジョカ粉の卸市場価格（サン・パウロ市）  
1992年7月をベースとした実質価格

月 別	1988	1989	1990	1991	1992
1 月	61.557	106.819	43.346	35.163	46.518
2 月	81.534	114.168	35.598	37.501	47.695
3 月	80.692	114.992	31.504	38.565	53.830
4 月	72.117	103.436	31.212	37.121	50.355
5 月	79.879	92.069	33.034	35.243	50.384
6 月	74.108	72.276	34.443	32.079	44.174
7 月	66.236	54.451	31.353	28.432	47.300
8 月	66.498	40.382	28.551	27.582	...
9 月	70.359	44.552	31.044	28.910	...
10 月	77.923	40.357	33.132	37.920	...

11月	90.954	41.007	32.322	45.041	...
12月	70.570	36.917	33.282	36.877	...

出所：IEA

表172 マンジョカの生産コスト予想 (92/93)

項目	CR		US\$		構成比 (%)
	1ha 当り	1俵 当り	1ha 当り	1俵 当り	
労務費	823.610	45.756	205,33	11.41	42,67
杭	43.400	2.411	10,82	0,60	2,25
石灰	41.800	2.322	10,42	0,58	2,17
農薬	2.728	151	0,68	0,04	0,14
機械維持費	310.642	17.258	77,44	4,30	16,09
小計	1.222.180	67.898	304,69	16,93	63,32
機械償却費	18.531	1.030	4,62	0,26	0,96
金融費用	76.386	4.244	19,04	1,05	3,96
社会保障費	483.377	26.854	120,51	6,69	25,04
保険料	129.828	7.213	32,37	1,80	6,73
合計	1.930.302	107.239	481,23	26,73	100,00

出所：IEA サバ州、マリリア地区、機械化により1haあたり18t収穫の場合 92年7月調査

### 3.3.3 煙草葉

表173 煙草葉：1991年の生産実績

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	単収 Kg/ha
オグラダ・ド・スル	123,2	123,2	186,6	1.515
サンタ・カタリーナ	85,2	85,2	145,6	1.708
パラナ	22,9	22,9	41,8	1.931
アラゴアス	30,5	30,5	22,2	725
バイア	16,6	16,6	11,6	701
その他	7,4	7,3	5,5	
全国計	285,8	285,7	413,3	1.446

出所：IBGE

表174 煙草葉：1992年の生産状況 (92年10月調査)

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	単収 Kg/ha
オグラダ・ド・スル	154,0	153,9	283,1	1.839
サンタ・カタリーナ	104,7	104,7	179,1	1.711
パラナ	32,0	32,0	61,8	1.931
アラゴアス	28,3	28,3	32,0	1.129
バイア	15,1	15,1	9,7	642
その他	6,8	6,8	15,1	
全国計	340,9	340,8	570,8	1.675

出所：IBGE

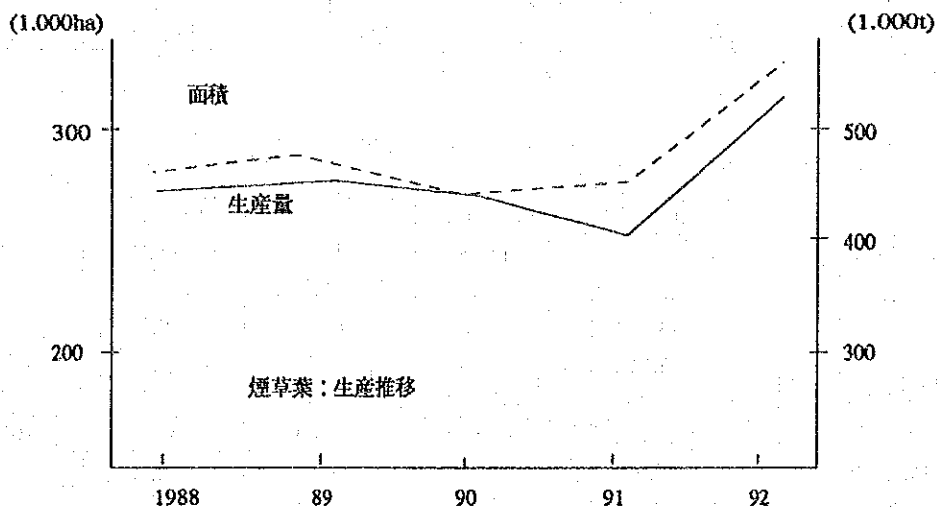


表175 煙草業：過去5ヶ年間の生産推移 1,000 t

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
リオ・グランデ・ド・スル	183,3	201,2	204,6	186,6	283,1
サンタ・カタリーナ	149,1	156,7	152,4	145,6	179,1
パラナ	44,0	46,6	40,3	41,8	61,8
アラゴアス	26,6	22,1	31,6	22,2	32,0
バイア	17,4	14,7	10,5	11,6	9,7
その他	10,6	7,7	5,0	5,5	15,1
全国計	431,0	449,0	444,4	413,3	570,8

収穫面積 1,000ha	280,5	289,1	272,4	285,7	340,8
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

出所：IBGE

表176 煙草業：主要生産地の反収

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
リオ・グランデ・ド・スル	1.766	1.722	1.772	1.515	1.839
サンタ・カタリーナ	1.722	1.600	1.809	1.708	1.711
パラナ	1.973	1.850	1.792	1.931	1.931
アラゴアス	791	1.200	1.189	725	1.129
バイア	739	784	623	701	642
全国平均	1.537	1.531	1.632	1.446	1.675

出所：IBGE

表177

煙草(葉)バージニア種の輸出先市場(1992年)

輸出先市場	重量 t	金額 US\$1,000	平均単価 US\$/t
米 国	38,146,0	156,805,3	4.111
英 国	26,008,8	122,830,1	4.723
ド イ ツ	17,256,1	81,999,7	4.752
ベルギー	7,455,3	36,897,0	4.949
オランダ	5,632,4	27,575,8	4.896
日 本	4,686,0	23,037,1	4.916
ギリシャ	3,241,6	14,825,8	4.574
イタリア	2,644,0	13,331,6	5.042
スペイン	1,804,8	8,436,9	4.675
デンマーク	1,513,5	7,490,9	4.949
そ の 他	21,392,1	97,670,1	4.566
計	129,777,6	590,896,3	4.553

出所: DECEX/CTIC (NBM2401.20.9901)

表178

煙草(巻煙草)の輸出先市場(1992年)

輸出先市場	重量 t	金額 US\$1,000	平均単価 US\$/t
ベルギー	45,121,9	89,624,1	1.986
パラグアイ	5,702,9	34,367,6	6.026
キプロス	3,138,8	19,608,4	6.247
香 港	817,1	4,122,4	5.045
ボリビア	468,6	3,466,1	7.397
リバノ	250,8	1,729,9	6.898
オランダ領モロッコ	210,9	1,543,1	7.317
スリナム	244,0	1,469,7	6.023
旧ソ連	257,9	1,272,2	4.933
ド イ ツ	176,4	1,253,7	7.107
そ の 他	953,7	6,754,8	7.083
計	57,342,0	165,212,0	2.881

出所: DECEX/CTIC

## 3. 3. 4 サイザル

表179

サイザル: 1991年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単 収 Kg/ha
バ イ ア	218,3	218,3	168,4	771
パラíba	74,5	74,5	58,7	788
リオグランデ・ド・ノル	6,1	6,1	5,6	907
ペルナンブコ	1,3	1,2	0,9	787
そ の 他	0,2	0,2	0,1	
全国計	300,4	300,3	233,7	778

出所: IBGE

表180

サイザル：1992年の生産状況 (92年10月調査)

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単 収 Kg/ha
バ イ ア	212,6	212,6	161,4	759
パラíba	65,8	65,8	51,7	786
リオ・グランデ・ド・ノルテ	3,8	3,8	3,2	840
ペルナンブコ	1,1	0,9	0,7	767
そ の 他	0,3	0,3	0,3	
全 国 計	283,6	283,4	217,3	767

出所：IBGE

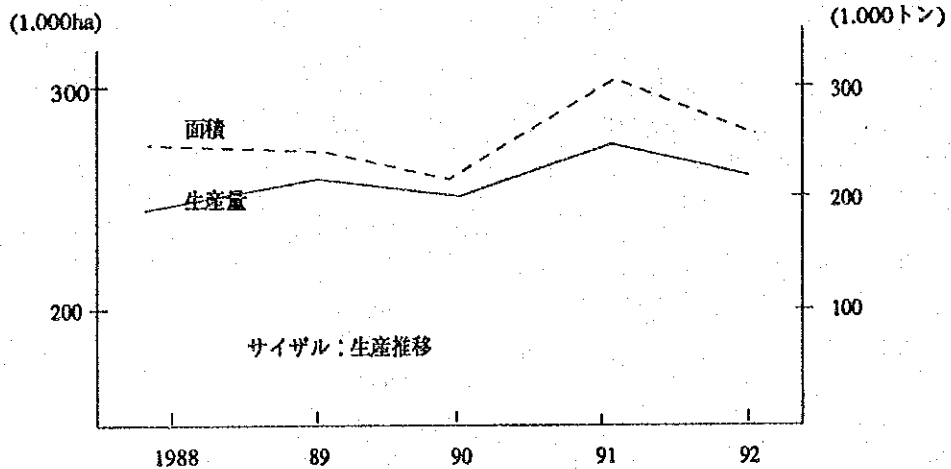


表181

サイザル：過去5ヶ年間の生産推移

1,000 t

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
バ イ ア	112,8	150,0	119,1	164,4	161,4
パラíba	67,5	67,2	57,3	58,7	51,7
リオ・グランデ・ド・ノルテ	8,1	7,6	8,0	5,6	3,2
ペルナンブコ	1,0	1,1	0,5	0,9	0,7
そ の 他	0,2	0,1	0,2	0,1	0,3
全 国 計	185,4	221,0	185,1	233,7	217,3

収穫面積 1,000ha	270,2	270,2	249,2	300,3	283,4
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

出所：IBGE

表182

サイザル：主要生産地の反収

Kg/ha

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
バ イ ア	620	800	700	771	759
パラíba	815	890	830	788	786
リオ・グランデ・ド・ノルテ	1,137	872	912	907	840
ペルナンブコ	812	850	500	787	767
全国平均	685	818	743	778	767



### 3. 3. 5 ジュート及びマルバ

#### イ) ジュート

表183

ジュート：1991年の生産実績

州別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単収 Kg/ha
パラ	1,9	1,3	1,7	1.258
アマゾン	1,5	1,5	1,6	1.070
全国計	3,4	2,8	3,3	1.157

出所：IBGE

表184

ジュート：1992年の生産状況 (92年10月調査)

州別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単収 Kg/ha
アマゾン	3,0	3,0	3,6	1.200
パラ	1,6	1,3	1,7	1.332
全国計	4,6	4,3	5,3	1.239

出所：IBGE

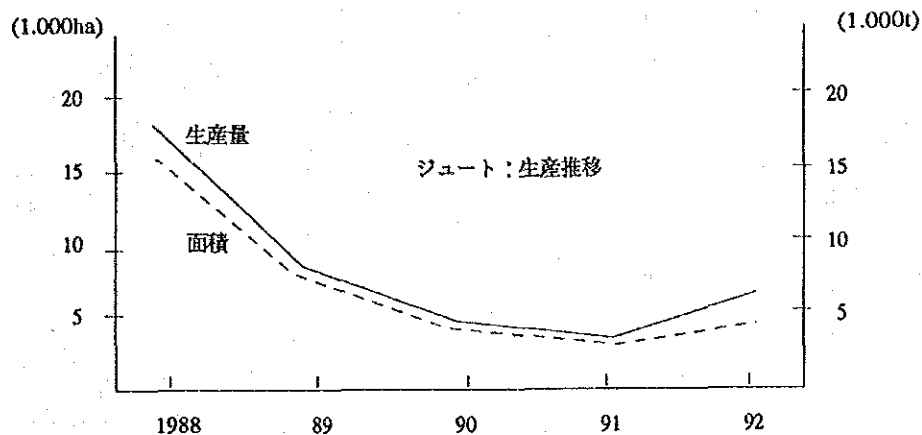


表185

ジュート：過去5ヶ年間の生産推移

1,000 t

州別	1988	1989	1990	1991	1992
アマゾン	10,9	5,9	2,8	1,6	3,6
パラ	5,2	2,4	0,8	1,7	1,7
全国計	16,1	8,3	3,6	3,3	5,3

収穫面積 1,000ha	13,5	7,1	3,0	2,8	4,3
--------------	------	-----	-----	-----	-----

出所：IBGE

表186

ジュート：主要生産地の反収

Kg/ha

州別	1988	1989	1990	1991	1992
アマゾンナス	1.200	1.200	1.200	1.070	1.200
パラ	1.158	1.018	1.246	1.258	1.332
全国平均	1.186	1.176	1.210	1.159	1.239

出所：IBGE

ロ) マルバ

表187

マルバ：1991年の生産実績

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	単収 Kg/ha
パラ	9,3	7,1	5,9	836
マラニオン	3,7	3,7	2,9	796
アマゾンナス	1,9	1,9	2,8	450
全国計	14,9	12,7	11,7	917

出所：IBGE

表188

マルバ：1992年の生産状況 (92年10月調査)

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	単収 Kg/ha
アマゾンナス	5,0	5,0	7,5	1.500
パラ	7,6	7,7	5,8	757
マラニオン	2,9	2,6	2,0	771
全国計	15,5	15,3	15,3	1.003

出所：IBGE

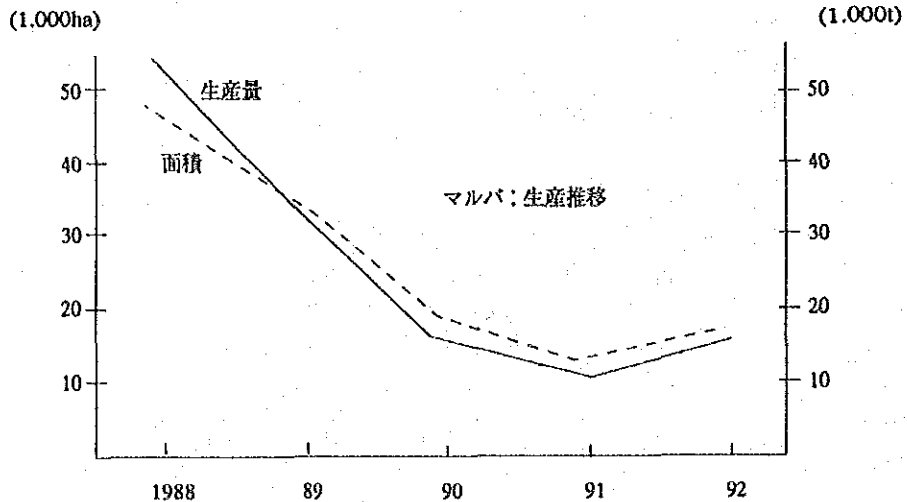


表189

ジュート：過去5ヶ年間の生産推移

1.000 t

州別	1988	1989	1990	1991	1992
アマゾンナス	29,6	27,8	5,2	2,8	7,5
パラ	20,8	14,9	9,2	5,9	5,8

マラニヨン	2,5	4,1	4,1	2,9	2,0
全国計	52,9	31,7	18,5	11,7	15,3

収穫面積 1,000ha	47,2	32,2	21,2	12,7	15,3
--------------	------	------	------	------	------

出所：IBGE

表190 マルバ：主要生産地の反収

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
アマソナス	1.783	1.800	1.800	1.450	1.500
パラ	757	752	735	836	757
マラニヨン	796	798	798	796	771
全国平均	1.121	984	873	917	1.003

出所：IBGE

### 3.3.6 ラミー

表191 ラミー：1991年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単収 Kg/ha
パラナ	5,6	5,6	8,0	1.439
計	5,6	5,6	8,0	1.439

出所：IBGE

表192 ラミー：1992年の生産状況 (92年10月調査)

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単収 Kg/ha
パラナ	5,3	5,3	6,5	1.226
計	5,3	5,3	6,5	1.226

出所：IBGE

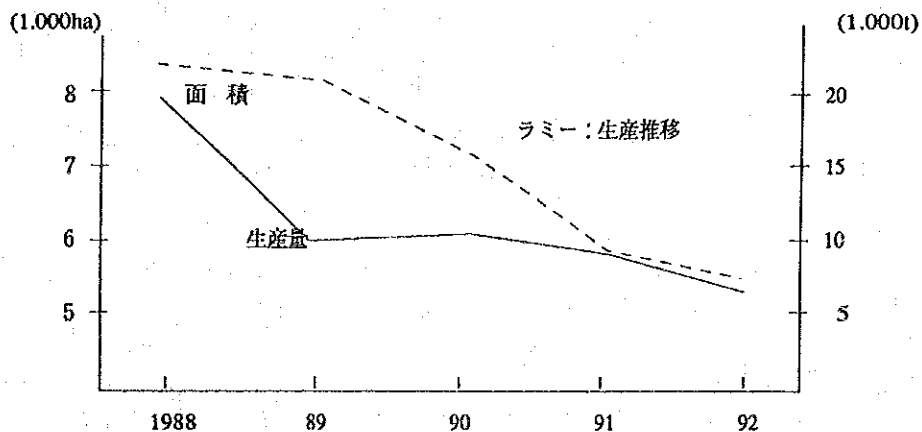


表193

ラミー：過去5ヶ年間の生産推移

1,000 t

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
パラナ	19,1	9,2	10,2	8,0	6,5
収穫面積 1,000ha	8,2	8,0	7,1	6,6	5,3

表194

ラミー：主要生産地の反収

Kg/ha

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
パラナ	2,335	1,145	1,426	1,439	1,226

## 3.4 嗜好作物

## 3.4.1 コーヒー

## イ) 生産

表195

コーヒー：1991年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単 収 Kg/ha
ミナス・ジェライス	958,0	958,0	1,192,4	1,245
エスピリト・サント	519,1	519,1	551,0	1,062
サン・パウロ	496,5	496,5	475,2	957
パラナ	383,4	383,4	403,8	1,053
ロンドニア	135,7	135,7	149,3	1,100
その他	275,0	274,7	278,9	
全国計	2,767,7	2,767,4	3,050,6	1,102

出所：IBGE

表196

コーヒー：1992年の生産状況 (92年10月調査)

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単 収 Kg/ha
ミナス・ジェライス	953,1	950,4	1,106,5	1,164
エスピリト・サント	474,2	474,2	512,3	1,080
サン・パウロ	424,9	424,9	372,8	877
パラナ	296,0	296,0	215,0	730
ロンドニア	122,1	122,1	137,2	1,124
その他	255,7	255,2	254,7	
全国計	2,526,0	2,522,8	2,598,5	1,030

出所：IBGE

1989年7月に国際コーヒー協定の中で国際価格のコントロール・システムを定めた経済条項が中止されて以降コーヒーの国際価格が下落し、いまだに回復していないのに加え1990年には、国内のコーヒー業界を調整し、保護してきたブラジル・コーヒー院（IBC）が廃止され内部的にも支援態勢を失ったため、コーヒー部門は、かつてない危機に直面しており、生産者の資本減少がみられている。このような情勢は、一部コーヒー園の抜根、他の作物への転換を余儀なくしており、その栽培面積は、89年に達した3,026千ヘクタールを頂点として以後下降し、92年には89年の面積を500千ヘクタール減少した2,6百万ヘクタールに縮小されている。これに伴う生産量も又、3,000千トンに達していた生産量を400千トン以上減少する2,500千トンに止めている。

国内の生産分布は、かつてのパラナ州よりサン・パウロ州を経て現在では、ミナス・ジェライス州が全国生産の42%を占めて圧倒的に大きな割合を占め、エスピリト・サント州がこれに続く2位の生産地帯となっている。

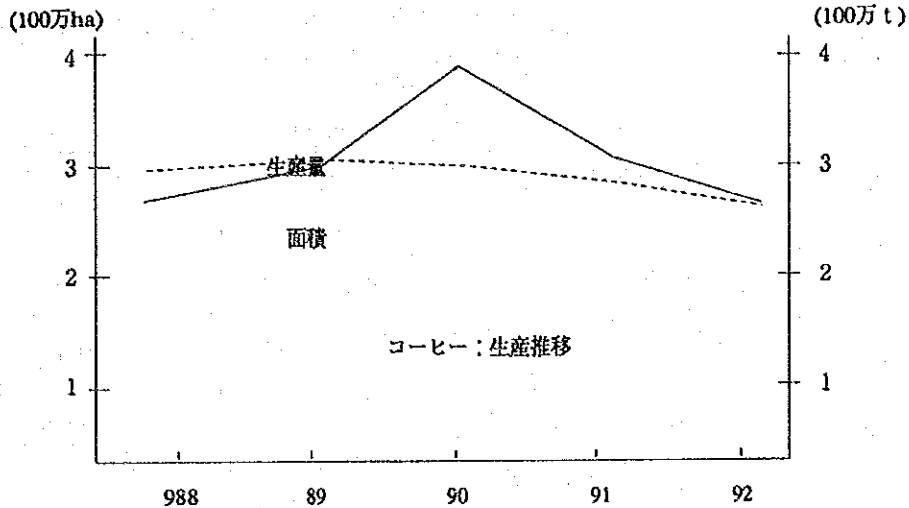


表197 コーヒー：過去5ヶ年間の生産推移 1,000 t

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
ミナス・ジェライス	1,029.4	1,200.5	1,040.8	1,192.4	1,106.5
エスピリト・サント	519.2	526.7	436.3	551.0	512.3
サン・パウロ	565.8	469.5	649.6	475.2	372.8
パラナ	228.0	456.0	313.4	403.8	215.0
その他	395.3	407.0	486.1	428.2	391.9
全国計	2,737.7	3,059.7	2,926.2	3,050.6	2,698.5

収穫面積 1,000ha	1988	1989	1990	1991	1992
	2,975.2	3,026.5	2,905.8	2,767.4	2,522.8

出所：IBGE

表198 コーヒー：主要生産地の反収 Kg/ha

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
ミナス・ジェライス	1.144	1.244	1.226	1.245	1.164
エスピリト・サント	1.081	1.032	1.030	1.062	1.080
サン・パウロ	814	720	1,146	957	877
パラナ	465	903	735	1,053	1,124
全国平均	920	1,011	1,007	1,102	1,030

出所：IBGE

#### ロ) 輸出

90年以降不況が続いているコーヒー部門の1992年における輸出額は、ついに10億ドルを割る9.7億ドルに止まり、1976年以降最低を記録した。76年より今日にいたるまで84年には、25.6億ドル、86年も23億ドルの大型輸出が記録されており、従来のパターンでは、20億ドルというのがブラジルのコーヒー輸出額であったが、今日はこれを半減して

おり、輸出平均単価も又80年代後半と比較して半分以下に落ちている状況にあり、コーヒー部門にとっては最悪の情勢が継続中である。

93年度については、東ヨーロッパ市場におけるインスタント・コーヒー需要の復活を中心としてや、回復の見通しがあり、FEBEC（ブラジル・コーヒー輸出協会）では、93年の輸出量を14.4百万俵と予想しており、インスタント・コーヒーを含めたコーヒー部門全体の輸出が18百万俵に達するものと期待している。

表199 コーヒー：コーヒー（豆）の輸出推移

年 度	重 量 1,000 t	金 額 100万ドル	単 価 US\$/t
1986	1,034	2,369	2,291
87	988	1,959	1,983
88	514	1,170	2,276
89	653	1,610	2,465
90	853	1,106	1,357
91	1,095	1,582	1,262
92	1,018	970	953

出所：CACEX、DECEX

表200 コーヒー：インスタント・コーヒーの輸出推移

年 度	重 量 1,000 t	金 額 100万ドル	単 価 US\$/t
1986	46	297	6,457
87	36	210	5,833
88	23	124	5,367
89	30	193	6,433
90	51	147	2,878
91	32	97	3,031
92	51	142	2,772

出所：CACEX、DECEX

表201 コーヒー：コーヒー（豆）の輸出先市場

輸 出 先 国	重 量 t	金 額 1,000ドル	平均価格 US\$/t
米 国	222,423	199,100	895
イタリー	110,984	115,344	1,039
ド イ ツ	101,965	105,847	1,038
日 本	69,403	77,790	1,121
オランダ	52,878	53,063	985
ベルギー	44,812	44,178	886
スペイン	46,737	41,412	947
スエーデン	35,827	33,927	955
フランス	32,651	31,190	912
アルゼンチン	30,681	27,995	874
ギリシャ	31,883	27,864	966
デンマーク	23,567	22,775	817

カナダ	22.844	18.676	999
その他	191.901	171.330	-
計	1.018.556	970.491	953

出所：DECEX ICTIC (NBM0901.11.0100)

表202 コーヒー：インスタント・コーヒーの輸出先市場

輸出先国	重量 t	金額 1,000ドル	平均価格 US\$/t
米 国	14.351	35.347	2.463
英 国	6.694	21.735	3.247
旧ソ連邦	9.830	20.682	2.104
ルーマニア	3.555	11.556	3.251
日 本	1.934	7.016	3.628
カナダ	2.656	6.106	2.300
ドイツ	1.778	5.043	2.836
オーストラリア	1.782	4.319	2.351
ハンガリー	710	2.350	3.310
オランダ	866	1.874	2.164
ブルガリア	699	1.835	2.625
フランス	562	1.729	3.076
イスラエル	765	1.698	2.220
その他	5.104	20.878	4.090
計	51.886	142.171	2.772

出所：DECEX/CTIC (NBM2101.10.0100)

ハ) 生産コスト

表203 コーヒー：生産コスト予想 91/92サン・パウロ州  
A 1ヘクタール当り10俵 (60Kg) 収穫の場合

項 目	1ha 当り CR	1俵 当り CR	1俵 当り US\$	構 成 比 (%)
I) 直接コスト				
労 務 費	193.096,96	19.309,70	31,53	42,23
肥料石灰	105.195,60	10.519,56	17,17	20,01
農 薬	-	-	-	-
機械維持費	29.988,34	2.998,83	4,50	6,56
収穫請負費	75.600,00	7.560,00	12,34	16,53
袋・その他作業用具	24.348,00	2.434,80	3,97	5,33
小 計	408.228,90	42.822,89	69,91	93,66
II) 間接コスト				
機械償却費	9.717,66	971,77	1,59	2,13
金融費用	19.270,30	1.927,03	3,15	4,21
小 計	28.987,96	2.898,80	4,74	6,34
合 計	457.216,86	45.721,69	74,65	100,00

表204

B 1ヘクタール当り20俵 (60Kg) 収穫の場合

I) 直接コスト				
労務費	208.048,80	10.402,44	16,98	25,82
肥料石灰	156.643,50	7.832,18	12,79	19,44
農薬	153.581,00	7.679,05	12,54	19,06
機械維持費	50.321,20	2.516,06	4,11	6,25
収穫請負費	151.200,00	7.560,00	12,34	18,77
袋・その他作業用具	34.548,00	1.727,40	2,82	4,29
小計	754.342,50	37.717,13	61,58	93,62
II) 間接コスト				
機械償却費	17.425,41	871,27	1,42	2,16
金融費用	33.945,41	1.697,27	2,77	4,21
小計	51.370,82	2.568,54	4,19	6,38
合計	805.713,32	40.285,67	65,77	100,00

表205

C 1ヘクタール当り30俵 (60Kg) 収穫の場合

I) 直接コスト				
労務費	217.414,40	7.247,15	11,83	21,88
肥料石灰	210.156,00	7.005,20	11,44	21,15
農薬	153.581,00	5.119,37	8,36	15,46
機械維持費	66.349,98	2.225,00	3,63	6,72
収穫請負費	226.800,00	7.500,00	12,34	22,83
袋・その他作業用具	44.748,00	1.491,60	2,44	4,50
小計	919.449,38	30.648,31	50,04	92,57
II) 間接コスト				
機械償却費	32.862,68	1.095,42	1,79	3,31
金融費用	41.245,44	1.374,85	2,24	4,17
小計	74.108,12	2.740,27	4,03	7,43
合計	993.557,50	33.118,58	54,07	100,00

出所: IEA

注) 1992年10月の対ドル交換率

US\$1,00 = CR 612,50

表206

コーヒー: 1haあたり30俵 (60Kg) 収穫の場合のコスト積算内訳 1991年10月時点

項目	労働費		トラクター	耕運機	運搬車	散布	乾燥機	計
	一般労働力	トラクター運転手						
A. 作業コスト								
石灰散布	72,00							
人力除草	224,00							
機械除草		8,00	8,00	8,00				
施肥	32,00							
薬剤散布		6,00	6,00			6,00		
芽摘み	37,20							
畝立て	72,00							



圃場内運搬	2,10	3,40	3,40		3,40			
洗滌乾燥	125,40						14,40	
時間計 (h)	564,70	17,40	17,40	8,00	3,40	6,00	14,40	
1時間当りコストCR	368,00	552,00	2.800,19	57,00	169,30	341,70	1.037,38	
コスト計	207.809,60	9.604,80	48.723,31	460,00	575,62	2.047,02	14.944,03	284.164,38
収穫請負費								226.800,00
B. 資材コスト	量		単 価 CR		金 額 CR			
配合肥料								
(29-05-20)	1,00	t	175.326,00		175.326,00			
石灰	2,00	t	10.500,00		21.000,00			
微量要素								
硼酸	10,00	Kg	811,00		8.110,00			
硫酸亜鉛	20,00	Kg	286,00		5.720,00			
土壤殺虫剤	39,00	Kg	2.400,00		93.600,00			
葉面殺虫剤	3,00	ℓ	4.975,00		14.925,00			
殺菌剤	16,00	Kg	2.816,00		45.056,00			
篩 (A)	1,00	個	3.330,00		3.330,00			
篩 (B)	1,00	個	820,00		820,00			
布地 (収穫用)	2,00	個	3.579,00		7.158,00			
袋 (収穫用)	4,00	個	710,00		2.840,00			
袋 (梱包用)	30,00	個	1.020,00		30.600,00			
小 計							408.485,00	
直接コスト計							919.449,38	
C. 間接コスト								
機械償却費							32.862,68	
金融費用							41.245,44	
小 計							74.108,12	
合 計							CR 993.557,50	

出所: IEA 注) ドル交換レート US\$1,- = CR612,50

1ヘクタール当り 1.300株植立

農業融資利息 年利9%

### 3. 4. 2 ココア

#### イ) 生産

表207

ココア: 1991年の生産実績

州 別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	単 収 Kg/ha
パイア	545,0	544,8	259,9	477
パラ	53,2	51,6	28,1	544
ロンドニア	43,3	43,3	22,8	526
エスピリト・サント	21,1	21,1	7,5	354
マット・グロツ	4,6	4,6	2,1	471
その他	1,8	1,6	0,1	

全国計	669,0	667,0	320,5	480
-----	-------	-------	-------	-----

出所：IBGE

表208 ココア：1992年の生産状況（92年10月調査）

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	単収 Kg/ha
バイア	554,5	554,5	291,4	525
パラ	49,9	49,9	28,7	576
ロンドニア	43,8	43,8	20,5	467
エスピリト・サント	21,0	21,0	9,5	452
マツト・グロッソ	3,7	3,7	1,6	450
その他	1,6	1,6	0,1	
全国計	674,5	674,5	351,8	522

出所：IBGE

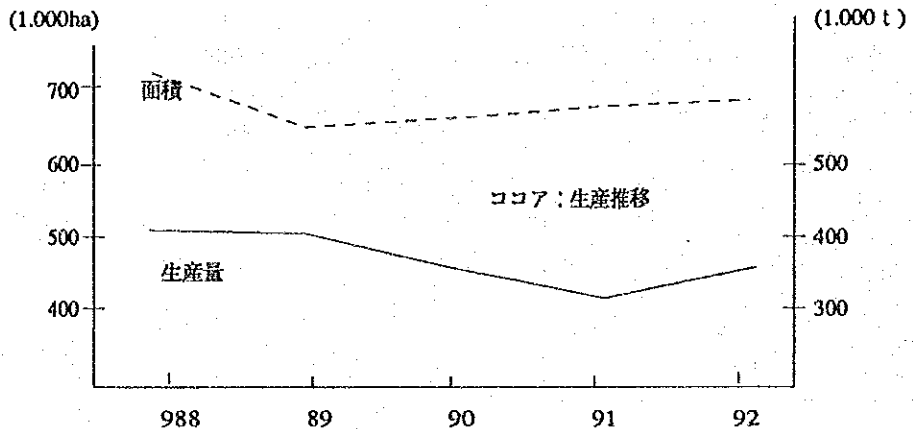


表209 ココア：過去5ヶ年間の生産推移 1.000 t

州別	1988	1989	1990	1991	1992
バイア	272,9	320,8	298,0	259,9	291,4
パラ	23,6	29,2	28,6	28,1	28,7
ロンドニア	32,7	40,9	20,3	22,8	20,5
エスピリト・サント	10,5	6,6	6,5	7,5	9,5
マツト・グロッソ	1,5	2,7	1,7	2,1	1,6
その他	1,2	2,4	0,1	0,1	0,1
全国計	392,4	392,6	355,2	320,5	351,8

収穫面積 1.000ha	702,5	660,0	663,3	667,0	674,5
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

出所：IBGE

表210

ココア：主要生産地の反収

Kg/ha

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
バ イ ア	490	551	543	477	525
バ ラ ー	600	710	592	544	576
ロンドニア	841	955	492	526	467
エスピリト・サント	486	296	308	354	452
マツト・グロッセ	375	337	565	471	450
全国平均	559	595	536	480	522

出所：IBGE

## ロ) 輸 出

表211

ココア：ココア(豆)の輸出推移

年 度	重 量 1,000 t	金 額 100万ドル	平 均 単 価 US\$/t
1986	134	273	2,037
87	143	266	1,860
88	134	215	1,602
89	107	134	1,252
90	118	128	1,082
91	84	88	1,048
92	83	84	1,032

出所：CACEX、DECEX (NBM 1801.00.0100)

表212

ココア：ココア・リコールの輸出推移

年 度	重 量 1,000 t	金 額 100万ドル	平 均 単 価 US\$/t
1986	53	131	2,142
87	42	99	2,357
88	46	95	2,071
89	43	73	1,698
90	27	42	1,531
91	25	38	1,513
92	23	34	1,457

出所：CACEX・DECEX (NBM 1803.10.0100)

表213

ココア：ココア・バターの輸出推移

年 度	重 量 1,000 t	金 額 100万ドル	平 均 単 価 US\$/t
1986	44	199	4,522
87	44	184	4,279
88	47	171	3,638
89	34	100	2,941
90	47	136	2,875
91	44	127	2,910
92	46	119	2,570

出所：CACEX、DECEX (NBM 1804.00.0000)

最近の国際市場におけるココア（豆）の価格は、1トンあたり\$900,-～\$1,000,-の最低レベルが続いており、ブラジルの輸出平均価格も92年において\$1,032,-～\$1,000,-それぞれの線上にある。この価格は、76年から77年にかけて高騰した\$5,000,-のわずか20%、86年頃の価格と比較してもその半分にすぎない。ココアが輸出を主体とする商品であることから国内価格も国際価格に準じており、船積経費を除いた価格は、トンあたり\$755,-といわれている。

国際価格の下落は、70年代の高値に刺激された世界的な増産の結果によるものであり、中でも新しい生産国としてのマレー半島とインドネシアが、この両国でブラジルをしのぐ年間\$300～400千トンの生産に達しているのが世界の供給増加に拍車をかけてきた。

このような生産過剰に対し、消費面では、世界の重要な市場であったソ連が政治形態の崩壊による混乱から輸入を減少して、世界の需給バランスを崩し価格低下の原因を作っている。この世界情勢を反映してブラジルの生産もかつて年間420千トンに達していた規模を240千トンへと半減させており、完全な衰退期に入っている。

表214 ココア：ココア及び副産物の輸出先市場（1992年）

輸出先国	重量 t	金額 1,000ドル	平均単価 US\$/t
ココア（豆）			
米 国	58,577.0	57,650.9	984
カ ナ ダ	6,219.1	6,150.1	989
英 国	4,789.3	4,863.9	1,016
日 本	4,020.0	4,138.2	1,029
オランダ	2,810.0	3,067.1	1,091
そ の 他	7,407.3	7,642.8	1,032
小計 (NBM.1801.00.0100)	83,822.7	83,513.0	996
ココア・リコール			
米 国	11,829.4	16,502.3	1,395
アルゼンチン	7,948.4	12,002.5	1,510
日 本	679.0	1,008.6	1,485
そ の 他	2,729.0	4,271.4	1,565
小計 (NBM.1803.10.0100)	23,186.5	33,784.8	1,457
ココア・バター			
米 国	29,573.1	73,918.3	2,500
アルゼンチン	5,310.2	14,870.2	2,800
日 本	3,132.5	8,921.7	2,848
カ ナ ダ	3,462.6	8,869.7	2,562
チ リ ー	1,943.6	5,950.4	3,062
そ の 他	2,823.2	6,320.0	2,239
小計 (NBM.1804.00.0000)	46,245.2	118,856.8	2,570
粉末ココア			
米 国	5,848.3	3,139.4	536
オランダ	3,565.3	2,637.2	740
メキシコ	152,954.6	1,162.9	-
そ の 他	6,148.6	2,475.4	402
小計 (NBM.1805.00.0000)	168,516.7	9,414.9	-
チョコレート			
米 国	9,374.6	10,704.5	1,142

ホリピア	330,1	968,8	2.935
アルゼンチン	319,9	849,9	2.657
パラグアイ	154,8	520,9	3.365
ウルグアイ	149,9	433,3	2.891
その他	134,9	450,2	3.337
小計 (NBM1806,32,0100)	10.464,2	13.927,6	1.331
その他	51.807,2	38.413,4	-
合計	384.042,5	297.910,5	-

出所：DECEX/CTIC

### 3.4.3 ビメンタ

表215 ビメンタ：1991年の生産実績

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	単収 Kg/ha
パラ	34,7	33,2	75,3	2.267
エスピリト・サント	2,3	2,3	5,5	2.431
バイア	0,5	0,5	1,7	3.221
マラニョン	0,5	0,5	1,1	2.382
その他	0,3	0,3	0,1	
全国計	38,3	36,8	83,7	2.277

出所：IBGE

表216 ビメンタ：1992年の生産状況 (92年10月調査)

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	単収 Kg/ha
パラ	30,3	30,3	63,4	2.092
エスピリト・サント	2,5	2,5	5,1	2.039
バイア	0,5	0,5	1,8	3.230
マラニョン	0,4	0,4	1,1	2.376
その他	0,4	0,4	0,0	
全国計	34,1	34,1	71,4	2.096

出所：IBGE

ブラジルにおけるビメンタの収穫は、1月より開始され8月から11月にかけて最盛期となる。その生産規模は、91年まで上昇線を辿り、面積において36.8千ヘクタール、生産量で83.7千トンまで達したが、92年は前年のパラ州における乾燥の被害から面積 (34.1千トン) 生産量 (71.4千トン) 共に減少した。

世界のビメンタ生産量は、200千トン前後と推定されており、ブラジルの生産量は、インドネシア及びインドに次ぐ世界3位の位置にある。国内で生産されるビメンタの85%近くが外国に向けられる完全な輸出農作物であるため、ビメンタ生産地帯の景気は、国際市場の動向を反映するものであるが92年は、ブラジルの減産が影響し、ロンドン市場における黒ビメンタの相場が7月のトン当り、\$1.000,-より11月には\$1.450,-へと上昇しているため、生産地帯にも活気がとりもどされていると報じられている。

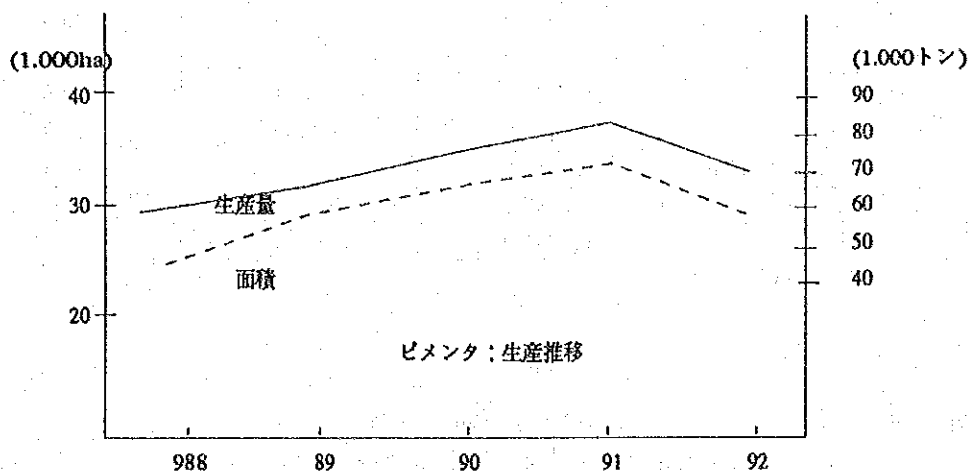


表217 ビメンタ：過去5ヶ年間の生産推移 1,000トン

州別	1988	1989	1990	1991	1992
バラ	55.8	63.1	68.1	75.3	63.4
エスピリト・サント	2.8	3.5	4.9	5.5	5.1
バイア	0.2	0.4	0.5	1.7	1.8
マラニョン	0.4	0.5	1.1	1.1	1.1
その他	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0
全国計	59.4	65.5	74.7	83.7	71.4

収穫面積 1,000ha	1988	1989	1990	1991	1992
	23.9	29.2	33.2	36.8	34.1

出所：IBGE

表218 ビメンタ：主要生産地の反収 Kg/ha

州別	1988	1989	1990	1991	1992
バラ	2.593	2.581	2.257	2.267	2.092
エスピリト・サント	2.259	2.328	2.436	2.431	2.039
バイア	1.140	2.571	2.608	3.221	3.230
マラニョン	1.113	1.464	2.355	2.382	2.376
全国平均	2.490	2.241	2.249	2.277	2.096

出所：IBGE

表219 ビメンタの輸出先市場 (1992年)

輸出先国	重量 t	金額 1,000ドル	平均単価 US\$/t
黒ビメンタ			
米 国	3,759.7	3,133.8	834
モロッコ	1,453.0	1,205.7	830
アラブ首長国連邦	1,385.0	1,100.9	795
フランス	747.0	669.1	896

オランダ	805,0	668,8	831
メキシコ	556,0	423,7	762
その他	1.910,5	1.698,5	889
小計	10.616,2	8.900,5	838
白ビメンタ			
アルゼンチン	179,0	280,4	1.566
その他	118,0	146,7	1.243
小計	297,0	427,1	1.438
合計	10.913,2	9.327,6	855

出所：DECEX/CTIC (NBM 0904.11.0100, 0904.11.0100)

### 3.4.4 グアラナ

表220 グアラナ：1991年の生産実績

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	単収 Kg/ha
バイア	2,0	2,0	1,2	614
アマゾナス	3,3	3,0	0,5	165
マツト・グロッソ	0,8	0,8	0,2	260
バラ	0,2	0,2	0,1	433
その他	0,1	0,1	-	-
全国計	6,4	6,1	2,0	333

出所：IBGE

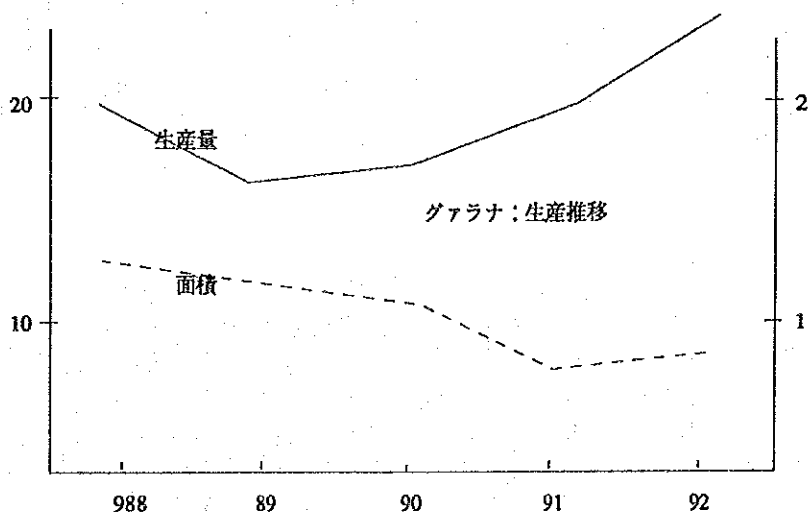


表221 グアラナ：1992年の生産状況

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	単収 Kg/ha
バイア	2,7	2,7	1,7	606
アマゾナス	3,3	3,3	0,5	164
マツト・グロッソ	0,6	0,6	0,2	296

バラ	0,2	0,2	0,1	441
その他	-	-	-	-
全国計	6,8	6,8	2,5	361

出所：IBGE

表222 グアラナ：過去5ヶ年間の生産推移 1.000 t

州別	1988	1989	1990	1991	1992
バイア	0,6	0,6	0,8	1,2	1,7
アマソナス	-	-	0,4	0,5	0,5
マツト・グロッソ	0,3	0,2	0,2	0,2	0,2
バラ	0,1	0,1	0,1	0,1	0,1
その他	0,9	0,5	-	-	-
全国計	1,9	1,4	1,5	2,0	2,5

収穫面積 1.000ha	12,4	11,2	9,7	6,1	6,8
--------------	------	------	-----	-----	-----

出所：IBGE

表223 グアラナ：主要生産地の反収 Kg/ha

州別	1988	1989	1990	1991	1992
バイア	479	478	518	614	606
アマソナス	-	-	63	165	164
マツト・グロッソ	134	189	238	260	296
バラ	249	300	365	433	441
全国平均	156	122	155	333	361

出所：IBGE

### 3.5 果実類

#### 3.5.1 オレンジ

##### イ) 生産

表224 オレンジ：1991年の生産実績

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000個	単収 個/ha
サン・パウロ	789,3	789,3	79.022,5	100.114
セルジッペ	35,6	35,6	4.441,1	124.848
バイア	33,3	33,3	2.424,7	72.717
ミナス・ジェライス	33,7	33,7	2.043,1	60.654
リオ・グランド・ド・スル	24,9	24,9	1.902,0	76.296
リオ・デ・ジャネイロ	29,0	29,0	1.497,4	51.694
バラ	6,8	6,8	886,6	131.274
パラナ	4,4	4,4	421,7	96.047
サンタ・カタリーナ	3,3	3,3	372,9	113.625
ゴヤス	4,3	4,3	301,4	69.840
マラニョン	2,6	2,6	259,8	98.325



ピアウイ	1,6	1,6	192,3	122.821
ベルナンブコ	2,5	2,5	147,0	59.067
エスピリト・サント	2,0	2,0	134,5	65.765
その他	6,5	6,5	465,3	-
全国計	980,8	980,8	94.512,3	96.366

出所：IBGE

表225 オレンジ：1992年の生産状況（92年10月調査）

州別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000個	単収 個/ha
サン・パウロ	783,7	783,7	82.885,0	105.765
セルジッペ	37,0	37,0	3.757,1	101.500
バイア	35,3	35,3	2.632,1	74.599
リオ・グランデ・ド・スル	25,5	25,5	2.045,0	80.310
ミナス・ジェライス	37,1	37,1	1.832,0	49.366
リオ・デ・ジネイロ	28,7	28,2	1.498,3	53.229
パラ	7,0	7,0	933,3	133.235
サンタ・カタリーナ	3,6	3,6	506,8	142.721
パラナ	4,5	4,5	427,5	95.000
ゴヤス	4,8	4,8	383,3	79.447
マラニョン	2,5	2,4	227,3	93.408
ピアウイ	1,6	1,6	180,4	114.545
エスピリト・サント	2,1	2,1	148,4	69.225
ベルナンブコ	2,5	2,5	139,5	56.783
その他	7,4	7,4	477,8	-
全国計	983,3	982,7	98.073,8	99.801

出所：IBGE

オレンジの収穫は、7月より開始される。従ってオレンジの1農年とは、7月1日より翌年の6月30日までを指している。91年の7月より開始された91/92農年のオレンジ生産は、980千ヘクタールの面積において行われ、94.512千個の収穫をあげ1haあたりの平均単収は、96.4個であった。

これに続く92/93農年は、農年当初に天候不順により収穫を遅らせたため、生産の減少が予想されていたが、その後の天候が順調に推移したため、92年10月時点での調査結果では、面積が前年とほぼ同等に対し、反収の増加により生産量は、前年を3,8%上回る98.074千個と予想されており、史上最大の生産となっている。過去5ヶ年間の生産推移をみると90年に若干の後退をみた以外は、上昇線を辿っており、現在のところ生産下降の気配はない。

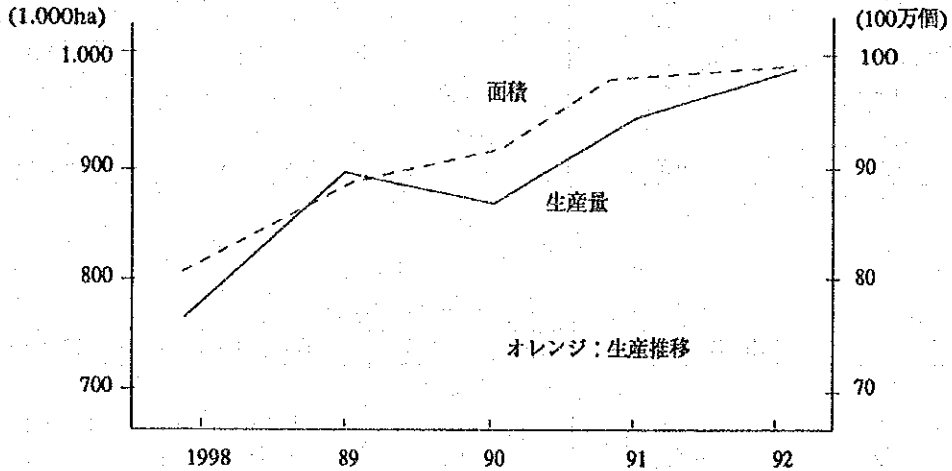


表226 オレンジ：過去5ヶ年間の生産推移 100万個

州別	1988	1989	1990	1991	1992
サン・パウロ	63.115,0	71.935,0	72.325,0	79.022,5	82.885,0
セルジッペ	3.366,6	3.529,3	3.674,8	4.441,1	3.757,1
バイア	1.242,5	1.940,5	2.116,0	2.424,7	2.632,1
オランダ・スル	1.629,2	365,5	2.056,3	1.902,0	2.045,0
ミナス・ジェライス	2.321,9	2.126,2	2.020,1	2.043,1	1.832,0
オデジネ	2.059,9	2.521,2	2.449,7	1.497,4	1.498,3
その他	1.830,1	6.598,5	2.889,9		
全国計	75.565,2	89.016,2	87.531,8	94.512,3	98.073,8

収穫面積 1.000ha	805,7	882,6	910,5	980,8	982,7
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

出所：IBGE

表227 オレンジ：主要生産地の反収 Kg/ha

州別	1988	1989	1990	1991	1992
サン・パウロ	96.899	105.361	100.055	100.114	105.765
セルジッペ	109.887	108.528	106.905	124.848	101.500
バイア	71.000	81.924	73.751	72.717	74.599
オランダ・スル	74.542	85.290	81.199	76.296	80.310
ミナス・ジェライス	73.182	66.944	60.425	60.654	49.366
オデジネ	63.186	71.740	71.657	51.694	53.229
全国平均	93.789	100.853	96.136	96.366	99.801

出所：IBGE

国内の生産・分布は、面積の87%、生産量の88%が南東地方に集中し、中でもサン・パウロ州が生産量の84%を占めているだけにサン・パウロ州の生産動向が全国生産の動向を代表する形が続いている。サン・パウロ州にオレンジ生産が集中するのは、自然条件に恵まれていることのほか、オレンジ・ジュース工場が集中しているためでもある。南東地方に次ぐ生産地帯は、東北地方で全国生産の7,5%を占め、中でもセルジッペ州が3,9%、又最近バイア州の

生産が伸びて2.9%を占めるにいたっている。このためサン・パウロ、リオ、セルジッペと続いていた80年代の生産順位は、サン・パウロ、セルジッペ、パイアと変化している。セルジッペ州にも二つのオレンジ・ジュース工場があり、パイア州の生産地帯は、セルジッペ州に隣接する地帯である。

#### ロ) 国際市場とブラジルの輸出

オレンジを原料とする濃縮オレンジ・ジュースの国際市場は、世界のジュース原料用オレンジ生産を二分する米国のフロリダ州とブラジルのサン・パウロ州における生産動向によって変動する。中でもジュースの国内消費が100万トンに及ぶ米国での生産動向がニューヨーク市場相場の決め手となっており、オレンジ園における降霜の被害によってジュースの相場を高騰させた度々の経験を有している。

1992年におけるニューヨーク市場相場は、91年10月に発表されたUSDA（米国農務局）によるフロリダ州の減産予想から相場が高騰し、同年11月にポンド当り170セントの高値に達したあと92年に入っても4月までは、140セント以上の高値を維持したものの、ブラジルの生産が間近に迫った5月頃より下り始め、9月にいたって100セント台の低値に落ちた。

毎年10月の始めに行われる米国農務局（USDA）によるフロリダ州の次期生産予想に期待が寄せられていたものの発表された予想は、一般の予想を大巾に上回る186百万箱に達したため、ニューヨーク相場は、その翌日より暴落し、以後相場反発の材料もないまま、価格は下降を続け、93年2月には、先物価格が70セント台を割り16年間最低の価格を記録するにいたっており、濃縮オレンジ・ジュースの国際市況は最悪の事態に陥っている。

米国におけるオレンジの増産は、米国のオレンジ・ジュースの自給態勢を高めることをも意味している他、最近NAFTA（米国、カナダ、メキシコによる協同市場）の動きの中で、メキシコの対米輸出増加の可能性もあるため、ブラジルとしては、新市場開拓の必要性に迫られている。新しい市場としてもっとも大きな期待が寄せられている日本市場は、92年4月より輸入制限を撤廃し自由化に入っているため各大手企業は、同市場への進出に販売戦略を展開しつつある。

ニューヨーク取引市場における92年の濃縮オレンジ・ジュース相場の推移は、別表の通りであった。

表228 ニューヨーク取引市場の濃縮オレンジ・ジュース相場

年 月	ポンド当り (US\$)	
1992年 1月	156,60 ~ 143,40	1月20日までを限度とするフロリダ州の降霜時期が去り、相場は下降に向った。但し2月までは、弱度の降霜のリスクが残っているため価格は、ポンド当り140セント台の高値を維持した。この他、ブラジルの生産地帯が乾燥の被害を受け収穫が遅延すると予想が価格を維持させた。
2月	143,45 ~ 136,90	米国のフロリダ州における収穫が順調にすめられたこと、ブラジルの次期収穫予想が前年を9%上回る260百万箱以上の見込み等が価格の上昇を押える要素として作用した。しかし、依然として140セント前後の高値が継続した。
3月	141,30 ~ 141,50	1月の170セントからみると大巾を下降ではあったが、業界にとっては、依然として良好な価格レベルが継続した。価格を維持した理由としては、USDAによるフロリダ州の収穫予想が140百万箱以下で変化がなかったこと、ブラジルの開花期における降雨不足が生産性に影響するとの情報によっている。これらの憶測から5月の中端には145セントの高値が一時的に記録されている。
4月	135,75 ~ 131,50	ブラジルの収穫遅延予想からストックが減少するのではないかと憶測が相場に影響したものの反発の材料とならず、むしろブ

		<p>ラジルの増産予想で価格を押える材料として作用した。</p> <p>この月には、日本が従来の輸入制限を廃止してオレンジ・ジュース輸入の自由化に踏切った月であったが、そのこと自体相場には影響はなかった。</p> <p>月末には、ブラジルの92/93農年収穫が大巾に遅延するとの予想が確定的となり、これが価格に影響して一時的に130セントを割る日もあった。</p>
5月	125,20 ~ 125,25	<p>特に価格反発の材料はなく、ブラジルの収穫も間近に迫ってきたことからニューヨーク市場相場は、130セントを割って120セント台に入りほとんど変動することなく5月を終った。</p>
6月	123,80 ~ 119,15	<p>米国のフロリダ州とブラジルのサン・パウロ州の増産が確定的との情報より価格は、120セントを割って低価格の時代に入った。フロリダ州のオレンジ生産量については、前月行われた予想を、500千箱上廻る139.9百万箱とされており、ジュース歩留りもオレンジ1箱あたり1.54ガロンより1.55ガロンと向上し価格を押える要素となった。</p>
7月	118,80 ~ 118,70	<p>月の中間に120セント台に戻ったもの、月末は、再び120セントを割る相場であった。これは、ブラジルの新期収穫が前年を9%上廻るとの予想に影響されたものである。又フロリダ州では、7月中気象条件が良好に推移し、土壌の水分も適切であるとの気象観測所の発表があり、これも価格を押える要素となった。</p>
8月	114,40 ~ 109,00	<p>7月以降110セント以下に落ちており、この時点では低値の時期に入ったと思われる。例年USDA（米国農務局）の次期フロリダ州生産予想が行われる10月始めを控え取引量は、大巾に減少するのを常としており、今年も同様の状況下にあった。</p>
9月	109,25 ~ 104,80	<p>月の中間においてNY相場は、8月のレベルをや、上廻る回復をみせたもの、フロリダ州の収穫が順調との見通しから月末には、100セント近くに下降した。10月のUSDA発表を待って前月と同様取引量は僅少であった。</p>
10月	108,52 ~ 95,15	<p>10月8日に行われた米国農務局（USDA）によるフロリダ州の次期生産予想は、一般に予想されていた155～175百万箱を大巾に上廻る186百万箱とされ前年を33%上廻るものであったため、NY取引市場は、大きなショックを受けており、翌日の相場は、一挙に98セントへと最近始めて100セントを割った。この価格は、1986年以降最低の価格であり、今後更に下降するみ通しが業界の中で支配的であった。このためブラジルの輸出価格も2%引き下げざるを得ない状況にあった。</p>
11月	96,30 ~ 104,40	<p>特に価格反発の材料はなかったが、月末にかけて思惑買いが増加し底辺の価格ながら上昇があった。これは、フロリダ州がやがて降霜の時期に入り場合によって価格の上昇があり得るとの予想にもとづくものであった。</p>
12月	100,50 ~ 90,90	<p>フロリダ州が降霜の被害を受ける可能性のもっとも高い月で、1 昨年の価格高騰もクリスマス前夜の降霜にもとづくものであっ</p>

1993年 1月	85,20 ~ 74,90	<p>たが、今年は遂に降霜はなく価格は再び90セント台の底辺に戻っている。</p> <p>フロリダ州における降霜のリスクが完全に去った1月の末、NYの濃縮オレンジ・ジュース相場は、下降を続けて月末にいたって74,90セントの低値を記録した。この価格の暴落は米国のフロリダ州とブラジルのサン・パウロ州が記録的なオレンジ生産を行うだろうとするUSDAの予想に影響されたものである。</p> <p>市場専門家の間には先物価格が更に下降すると予想するものが多くを占め、70セントを割ることもあり得るとの悲観的予想も行われた。</p>
2月	71,90 ~ 72,90	<p>2月は、月間を通じて71~75セント台の低位が継続し、その間3月渡し先物価格は、70セントを割る68,3セントを記録し、ほぼ低値に達したものと思われる。市場には、価格反発の材料が皆無のため、この低値より回復するのは、当分困難との見通しが強く悲観的であった。この価格は、過去16年間最低といわれるものでNY相場を基準とするブラジルのオレンジ生産者価格も大巾な下落を余儀なくした。</p>

表229 濃縮オレンジ・ジュースの輸出推移 (歴年)

年 度	重 量 1,000 t	金額FOB 100万ドル	年間平均単価 US\$/t	輸出総額に占めた比率(%)
1986	808,3	682,2	844	3,05
87	755,0	830,5	1.100	3,17
88	663,6	1.143,3	1.724	4,81
89	723,9	1.019,0	1.407	2,96
90	953,9	1.468,4	1.539	4,67
91	913,5	899,9	985	2,86
92	967,2	1.052,8	1.088	2,91

出所：86~89CACEX 90~92DECEX

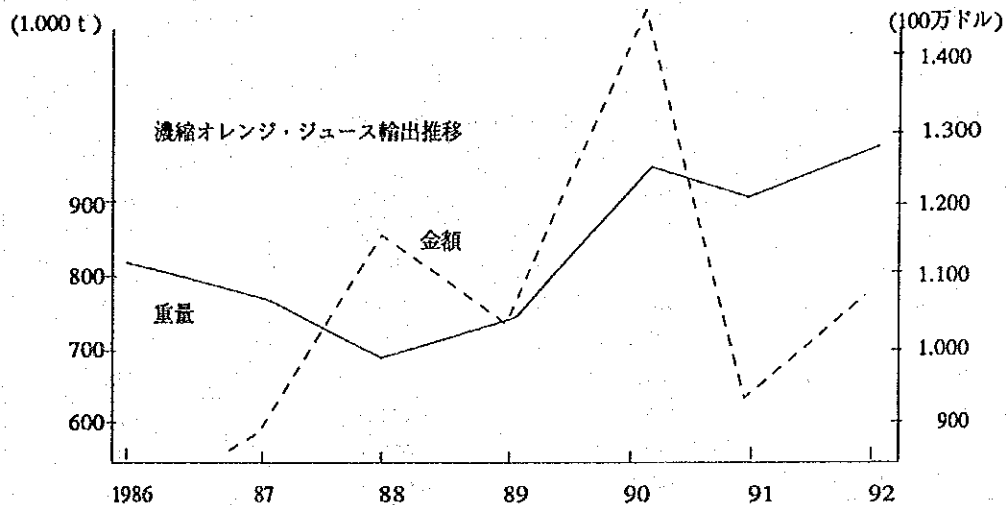


表230

濃縮オレンジ・ジュース：輸出先国別実績（1991年1-12月）

輸出先国	重量 1,000 t	金額(FOB)100万ドル	平均単価 US\$/t
オランダ	331,9	322,5	970
米 国	283,5	282,5	990
ベルギー	112,7	106,8	940
カナダ	54,4	53,8	980
韓 国	39,9	41,8	1.040
日 本	24,9	25,7	1.020
ド イ ツ	22,3	22,7	1.010
オーストラリア	11,6	12,8	1.090
英 国	10,8	10,8	1.000
そ の 他	21,5	20,5	-
計	913,5	899,9	985

出所：DECEX

表231

濃縮オレンジ・ジュース：輸出先国別実績（1991/92農年）

月 別	重 量 t	金 額 (FOB) US\$/1,000,-
91年 7 月	71.933,4	67.455,4
8 月	73.540,2	68.957,3
9 月	95.932,1	72.592,3
10 月	100.631,0	109.583,5
11 月	105.459,1	117.916,0
12 月	76.387,8	115.610,6
92年 1 月	67.266,9	102.296,2
2 月	87.458,2	115.421,9
3 月	95.003,6	128.979,8
4 月	62.761,3	82.681,2
5 月	66.042,0	82.944,2
6 月	56.372,8	67.838,5
計	958.388,4	1.132.276,9

出所：DECEX

表232

濃縮オレンジ・ジュース：対日輸出状況（1991/92農年）

月 別	重 量 t	金額 1000ドル	平均単価 US\$/t
91年 7 月	198,3	186,9	942
8 月	213,1	202,3	949
9 月	1.428,8	1.375,1	962
10 月	1.428,8	1.375,1	962
11 月	3.643,7	5.357,0	1.470
12 月	1.687,1	2.784,8	1.651
92年 1 月	688,4	1.121,0	1.628
2 月	2.592,7	3.633,2	1.401
3 月	3.120,8	4.046,5	1.297

4 月	5,397,2	8,251,4	1,529
5 月	6,518,1	8,131,4	1,248
6 月	9,901,9	11,837,0	1,195
計	36,818,9	48,301,7	1,312

出所：DECEX/CTIC

表233 対日輸出会社と実績 100万ドル

輸 出 会 社	1991年	1992年(1-6月)
MONTECITRUS TRADING S.A.	5,2	8,1
SUCOCITRICO CUTRALE S.A.	5,1	8,1
CARGIL CITRUS LTDA.	5,4	6,4
CITROSUCO PAULISTA S.A.	0,7	5,1
FRUTESP S.A.	6,1	5,0
CITROVITA INDUSTRIAL S.A.	0,8	2,4
FRUTROPIC S.A.	0,2	1,7
JIKKENTI C.V. LTDA.	-	1,1
TESTEL TABACOW S.A.	1,0	-
CARGIL AGRICOLA S.A.	0,8	-
CITROMATÃO TRADING S.A.	0,2	-
そ の 他	0,2	-
計	25,7	37,0

出所：DECEX/CTIC

表234 オレンジ濃縮ジュースの輸出会社と輸出実績 (92年7月～93年2月)

輸 出 会 社	輸 出 先 国	重 量 t	金額 1,000ドル	平均単価 US\$/t
CUTRALE	米 国	102,480,7	79,006,0	770
	オランダ	61,350,2	45,497,0	741
	韓 国	7,638,0	5,915,9	774
	日 本	5,310,5	4,274,1	804
	ド イ ツ	2,623,3	2,402,0	915
	そ の 他			
	計	182,865,7	139,536,0	763
CITROSUCO	ベルギー	78,659,0	60,788,1	772
	米 国	70,957,0	54,879,7	773
	カナダ	16,500,0	12,041,1	729
	韓 国	6,823,7	4,720,9	691
	ド イ ツ	2,912,0	2,130,9	731
	そ の 他			
	計	176,220,0	134,843,3	765
FRUTESP	オランダ	24,958,6	18,130,1	726
	英 国	14,114,2	10,504,1	744
	米 国	7,701,0	5,993,2	778
	韓 国	4,528,0	3,372,6	744

	ニュージーランド	1,527,8	1,152,8	754
	日 本	1,595,0	1,129,0	707
	そ の 他			
	計	57,237,9	42,274,4	738
CARGILL	オランダ	29,729,0	21,971,5	739
	米 国	18,817,0	14,791,0	786
	日 本	4,452,9	2,637,9	592
	そ の 他			
	計	55,290,1	41,044,6	742
COINBRA	オランダ	40,534,5	29,008,9	715
	米 国	12,140,0	8,783,9	723
	そ の 他			
	計	57,597,0	40,740,5	707
MONTECITRUS	オランダ	23,245,7	16,450,0	707
	米 国	11,065,1	9,052,8	818
	日 本	5,338,7	3,343,4	626
	そ の 他			
	計	40,042,2	29,084,1	726
CITROVITA	オランダ	15,276,9	11,216,3	734
	米 国	6,550,2	5,155,7	787
	日 本	2,868,9	1,930,1	672
	英 国	1,716,8	1,196,9	697
	そ の 他			
	計	27,665,3	20,466,0	739
CAMBUHYCI- TRUS	オランダ	15,241,2	9,922,0	651
	米 国	8,350,2	5,966,2	714
	そ の 他			
	計	24,763,0	16,854,0	680
BRANCO PERES	米 国	8,180,0	6,914,4	753
	オランダ	8,414,9	5,548,4	659
	計	16,594,9	12,462,8	708
CITROMATÃO	オランダ	5,745,9	3,747,2	652
	ベルギー	2,686,8	1,715,2	638
	ド イ ツ	2,092,5	1,408,5	673
	米 国	1,700,0	1,283,6	755
	そ の 他			
	計	15,831,5	10,697,2	675
BASCITRUS	米 国	6,500,0	4,756,7	731
	ベルギー	2,830,0	2,392,7	845
	オランダ	3,400,0	2,118,8	623
	計	12,730,0	9,268,7	728
ROYAL CITRUS	オランダ	9,635,0	7,785,9	808
	米 国	1,174,9	1,083,9	922



	計	10,810,3	8,869,8	820
CENTRAL CITRUS	オランダ	5,850,6	5,255,8	898
	その他	1,504,7	1,467,3	975
	計	7,355,3	6,723,1	914
C. A. COTIA	オランダ	7,554,4	4,410,7	583
	その他	1,000,1	720,2	720
	計	8,554,5	5,130,9	599
BRASWEY	オランダ	5,510,3	3,707,6	672
	その他	150,0	102,8	685
	計	5,660,3	3,810,4	673
DAMIRO	ベルギー	3,450,0	3,180,7	908
	その他	900,0	338,1	375
	計	4,350,0	3,518,8	799
MARCHESAN	ベルギー	3,250,0	3,201,3	985
	計	3,250,0	3,201,3	985
CITROPECTINA	計	2,558,4	1,676,2	655
TROP CITRUS	オランダ	2,153,4	1,411,9	655
	その他	222,2	116,3	523
	計	2,375,6	1,528,2	643
CIPASA	米 国	1,710,0	1,381,7	808
	計	1,710,0	1,381,7	808
そ の 他	計			
	合 計	715,816,2	534,008,7	746

出所：ABRASSUCO

濃縮オレンジ・ジュースのほか、オレンジ・ジュース製造に際して出来る副産物やオレンジ青果を加えたかんきつ部門全体の輸出状況は次の表の通りである。

表235 かんきつ部門の輸出状況 (92年7月～93年2月間)

種 類	重量 (1,000 t)	金額 (100万ドル)	平均単価 (US\$/t)
濃縮オレンジ・ジュース	728,1	540,4	742
濃縮ジュース (レモン他)	4,1	3,8	927
かんきつ しほり粕	1,093,3	109,7	100
エッセンス 油	16,2	13,6	839
LIMONENE	24,0	16,4	683
かんきつ生果	80,5	18,9	111
ペクチン	0,2	1,2	680
そ の 他	3,7	5,8	423
計	-	709,8	-

出所：ABRASSUCO

### ハ) 国内価格

オレンジ生産者の工場渡し価格は、生産者と工場側との協定により1農年におけるニューヨーク市場をベースとして設定されることになっている。一般に行われている方法は、1農年の開始(7月)時点で工場側は年間の価格をほぼ想定し、その一部を前途金として生産者に支払い、農年が終了時点(翌年6月)で最終的価格を算出して精算を行うやり方である。最終精算額が一時金又は、月払いで支払ってきた前途金を上廻り、その差額を精算、残額として生産者に支払う場合は、問題はないが、農年後半の価格が予想以上に下落して最終精算額がすでに支払った前途金に満たぬ場合は、生産者の債務となって残るといった問題が生じ、事情は複雑となる。最近の例では、91/92農年にそれが発生しており、最終的に生産者は、出荷したオレンジ1箱当りUS\$0,30の債務を生じることになった。91/92農年は、米国フロリダ州の大巾な減産から濃縮オレンジ・ジュースのニューヨーク相場が高騰したため、これをベースとするオレンジ生産者価格も1箱当りUS\$2,13となつては、\$1,50の前途金に対し、前年の債務も含めて支払い得る状況にあったが、前述の通り16年間最低の相場に落ちた92/93農年は、再び微妙な状況となっており、若し、暴落した92年12月の価格水準が農年末の6月まで継続すると仮定する場合、1箱当りの最終精算価格は、US\$0,30というかつてない低価格となり、US\$1,50の前途金を受取っていた生産者ならば1箱当りUS\$1,20の債務が発生するという極めて深刻な事態に入っている。ASSOCITROS(サン・パウロ州かんきつ生産者協会JOSE NICOLAU会長)によると若しUS\$0,30が最終価格となる場合、オレンジ生産者の債務総額は、80百万ドルに達しようとの予測も行っている程である。工場側としても今後の原料確保のためオレンジ生産者の損害としてだけ放置することも出来ず、債務の負債を軽減する方法を求めざるを得ない状況が生じている。ニューヨーク相場の下落は、オレンジ部門全体に大きな波紋を投げかけている。

表236 1箱当りオレンジ生産者価格の推移

年 度	1箱(40,8Kg入)あたり価格
1987 / 88	US\$ 1,50
88 / 89	2,13
89 / 90	3,53
90 / 91	1,11
91 / 92	2,13
92 / 93 *	0,30

出所: ACIESP ※1992年12月時点

### 3. 5. 2 バナナ

表237 バナナ: :1991年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000房	単 収 房/ha
パイア	73,9	73,9	79,5	1.076
サン・パウロ	45,0	45,0	73,9	1.644
ベルナンブコ	31,4	31,3	40,3	1.285
パラ	26,6	25,9	38,0	1.465
サンタ・カタリーナ	30,6	30,5	36,7	1.201
ミナス・ジェライス	34,2	34,2	35,6	1.040
マト・ジヤレ	33,7	33,7	33,8	1.003
セアラ	40,1	40,1	33,8	843
パラíba	18,6	18,6	25,8	1.388
マツト・グロツソ	35,2	35,2	25,5	725

その他	122,6	111,9	129,7	
全国計	491,9	490,3	522,6	1.127

出所：IBGE

表238

バナナ：1992年の生産状況（92年10月調査）

州別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000房	単収 房/ha
バイア	80,0	80,0	83,3	1.042
サン・パウロ	42,9	42,9	58,6	1.368
サンタ・カタリーナ	51,5	51,5	43,1	837
ベルナンブコ	32,2	32,2	40,5	1.258
パラ	26,6	26,6	37,7	1.419
ミナス・ジェライス	37,8	36,1	35,0	970
セアラ	41,2	41,1	33,5	815
リオ・デ・ジャネイロ	32,2	32,2	31,7	983
パライーバ	22,0	22,0	30,0	1.362
マット・グロソン	38,1	38,1	28,3	742
その他	112,6	112,2	142,6	-
全国計	517,1	514,9	564,3	1.096

出所：IBGE

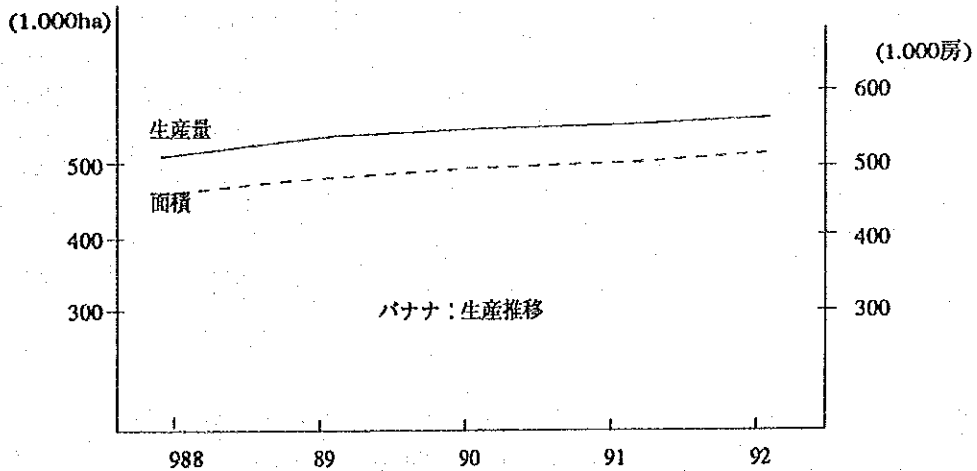


表239

バナナ：主要生産地の反収

州別	1988	1989	1990	1991	1992
バイア	1.150	1.553	1.550	1.042	1.042
サン・パウロ	1.240	1.209	1.089	1.368	1.368
サンタ・カタリーナ	1.443	1.482	1.453	1.201	837
ベルナンブコ	1.321	1.336	1.282	1.285	1.258
パラ	1.416	1.598	1.593	1.465	1.419

全国平均	1.098	1.139	1.129	1.127	1.096
------	-------	-------	-------	-------	-------

出所：IBGE

表240 バナナ：過去5ヶ年間の生産推移 房

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
バイア	53.2	69.9	64.8	79.5	83.3
サン・パウロ	81.8	90.1	83.7	73.9	58.6
サンタ・カタリーナ	39.6	40.6	42.5	36.7	43.1
ペルナンブコ	37.6	39.4	39.7	40.3	40.5
パラ	27.7	43.6	42.9	38.0	37.7
その他	271.9	266.9	276.6	284.2	291.1
全国計	511.8	550.5	550.2	552.6	564.3

収穫面積 1,000ha	466,0	483,2	487,4	490,3	514,9
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

出所：IBGE

### 3.5.3 バイン・アップル

表241 バイン・アップル：1991年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000個	単収 個/ha
バライーバ	10,7	10,7	307,0	28.768
ミナス・ジェライス	9,9	9,9	196,3	19.772
バイア	2,5	2,5	50,1	19.699
エスピリト・サント	1,8	1,8	40,9	22.645
オグランド・ド・フル	1,8	1,8	40,8	22.117
ペルナンブコ	2,0	2,0	36,9	18.454
アラゴアス	0,9	0,9	20,1	22.005
オデジセ	0,5	0,5	14,9	29.700
その他	4,3	4,2	71,8	
全国計	34,4	34,3	778,8	22.684

出所：IBGE

表242 バイン・アップル：1992年の生産状況 (92年10月調査)

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000個	単収 個/ha
バライーバ	9,9	9,9	285,4	28.767
ミナス・ジェライス	10,2	10,1	210,9	20.881
バイア	2,4	2,4	49,1	20.067
エスピリト・サント	1,8	1,8	39,9	22.429
ペルナンブコ	2,0	2,0	36,2	18.113
オグランド・ド・フル	1,4	1,4	28,9	20.690
サン・パウロ	1,0	1,0	25,8	26.889
ゴヤス	1,1	1,1	19,0	18.038

その他	4,8	4,7	75,4	
全国計	34,6	34,4	780,6	22.691

出所：IBGE

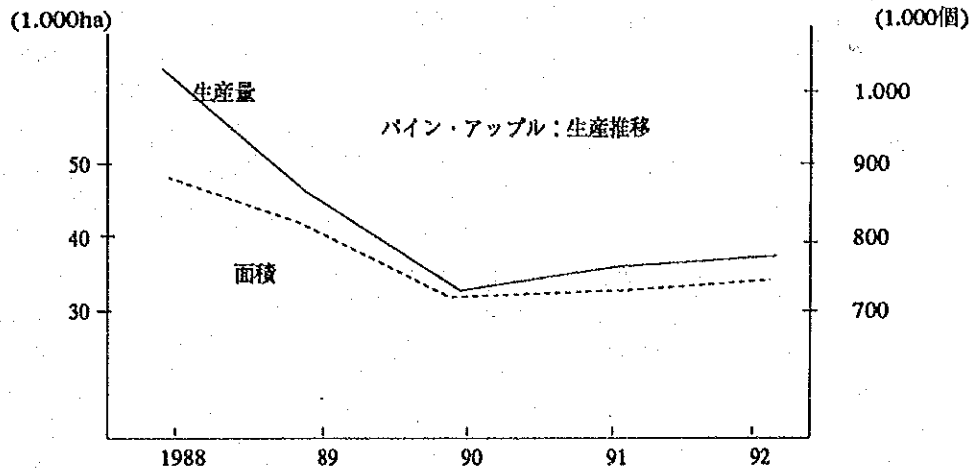


表243 バイン・アップル：過去5ヶ年間の生産推移 1,000個

州別	1988	1989	1990	1991	1992
パラíba	451,5	332,5	284,2	307,0	285,4
ミナス・ジェライ	241,8	225,0	186,0	196,3	210,9
バイア	40,4	39,5	45,6	50,1	49,1
エスピリト・サント	34,4	35,5	30,2	40,9	39,9
ペルナンブコ	36,1	32,4	32,0	36,9	36,2
その他	208,6	173,9	146,0	147,6	179,1
全国計	1.012,8	838,8	724,0	778,8	780,6

収穫面積 1,000ha	46,1	38,0	32,0	34,3	34,4
--------------	------	------	------	------	------

出所：IBGE

表244 バイン・アップル：主要生産地の反収 個/ha

州別	1988	1989	1990	1991	1992
パラíba	28.149	29.012	30.373	28.768	28.767
ミナス・ジェライス	17.664	18.792	18.690	19.772	20.881
バイア	14.414	16.669	19.949	19.699	20.067
エスピリト・サント	24.127	23.431	22.799	22.645	22.429
ペルナンブコ	21.101	20.685	18.451	18.454	18.113
全国平均	21.980	22.072	22.561	22.684	22.691

出所：IBGE

3. 5. 4 おどろ

表245 おどろ：1991年の生産実績

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単 収 Kg/ha
リオ・グランデ・ド・スル	40,0	40,0	395,9	9.701
サン・パウロ	8,9	8,9	122,8	13.739
サンタ・カタリーナ	4,3	4,3	44,1	10.275
パラナ	2,9	2,9	38,1	13.317
ベルナンブコ	1,2	1,2	17,2	13.965
全 国 計	57,3	57,3	618,0	10.785

出所：IBGE

表246 おどろ：1992年の生産状況 (92年10月調査)

州 別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単 収 Kg/ha
リオ・グランデ・ド・スル	39,6	39,6	505,5	12.753
サン・パウロ	9,3	9,3	123,7	13.316
サンタ・カタリーナ	4,0	4,0	56,6	14.059
パラナ	3,0	3,0	37,0	12.400
ベルナンブコ	1,4	1,4	19,4	14.072
全 国 計	57,3	57,3	742,1	12.950

出所：IBGE

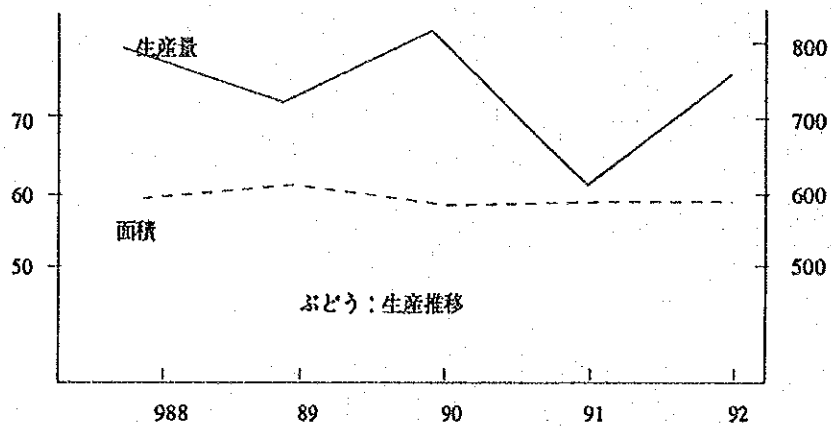


表247 おどろ：過去5ヶ年間の生産推移

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
リオ・グランデ・ド・スル	541,8	421,6	538,7	395,9	505,5
サン・パウロ	99,4	106,0	126,2	122,8	123,7
サンタ・カタリーナ	77,8	74,3	70,8	44,1	56,6
パラナ	30,1	34,9	36,0	38,1	37,0
そ の 他	22,6	29,8	14,5	17,2	19,4

全国計	771,7	716,6	786,2	618,0	742,1
収穫面積 1,000ha	58,3	59,2	57,4	57,3	57,3

表248 ぶどう：主要生産地の反収 Kg/ha

州別	1988	1989	1990	1991	1992
リオグランデ・ド・スル	13.599	11.622	13.459	9.901	12.753
サン・パウロ	11.588	11.622	14.362	13.739	13.316
サンタ・カタリーナ	14.010	13.647	15.039	10.275	14.059
パラナ	12.398	13.327	13.192	13.317	12.400
全国計	13.230	12.110	13.699	10.785	12.950

### 3.6 野菜類

#### 3.6.1 ジャガイモ

##### イ) 生産

表249 ジャガイモ：1991年の生産実績

州別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単収 Kg/ha
パラナ	41,6	41,6	653,8	15.716
サン・パウロ	27,4	27,4	582,0	21.241
ミナス・ジェライス	25,3	25,3	504,5	19.941
リオグランデ・ド・スル	45,9	45,5	323,5	7.110
サンタ・カタリーナ	18,4	18,2	162,1	8.907
ブラジリア	0,4	0,4	10,9	27.250
その他	2,6	2,6	28,1	
全国計	161,6	161,0	2.264,9	14.068

出所：IBGE

表250 ジャガイモ：1992年の生産状況（92年10月調査）

州別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単収 Kg/ha
パラナ	43,9	43,9	683,5	15.569
サン・パウロ	26,7	26,7	567,8	21.266
ミナス・ジェライス	27,9	27,5	528,7	19.225
リオグランデ・ド・スル	51,6	51,6	420,1	8.141
サンタ・カタリーナ	19,7	19,3	187,7	9.725
バイア	1,1	1,1	15,2	13.303
その他	2,4	2,4	27,9	
全国計	173,3	172,5	2.430,9	14.092

出所：IBGE

1987年より1992年の間におけるジャガイモの国内生産量は、年間平均2.2百万トンであった。この生産量より損失分と次期用種子を除外すると年間平均150千トンとなり、需要の高い年の国内消費量に相当する量となる。しかし、90年以降は極度のリセッション下にあり、この生産量も供給過剰の状況にあった。

じゃがいもの生産は、雨期、乾期及び冬期の三回に分けて行われる。1990年の例をとると雨期作が年間収穫量の57%、乾期作が30%、冬期が13%の割合となっている。上表に示す通り国内の主要生産地帯は、パラナ州（全国生産量の29%）を筆頭としサン・パウロ（26%）、ミナス・ジェライス（22%）がほぼ同率で続いている。この中、パラナ州では、雨期作と乾期作に集中して行われるのに対し南東地方では3回の作付けが行われている。この他南伯のリオ・グランデ・ド・スール州及びサンタ・カタリーナ州の生産も見べきものがあるが、その収穫物は、南東地方の市場では好まれず地元の消費に限定されている。サン・パウロ州における生産量は、この2年間、年間平均575千トンの収穫をあげているが、その33%が雨期作、29%が乾期作、38%が冬期作の割合であった。サン・パウロ州におけるじゃがいも生産の増加は、主に冬期作の拡大によるものであり、その出荷量は8月から10月間における全国出荷量の55%を占めている。

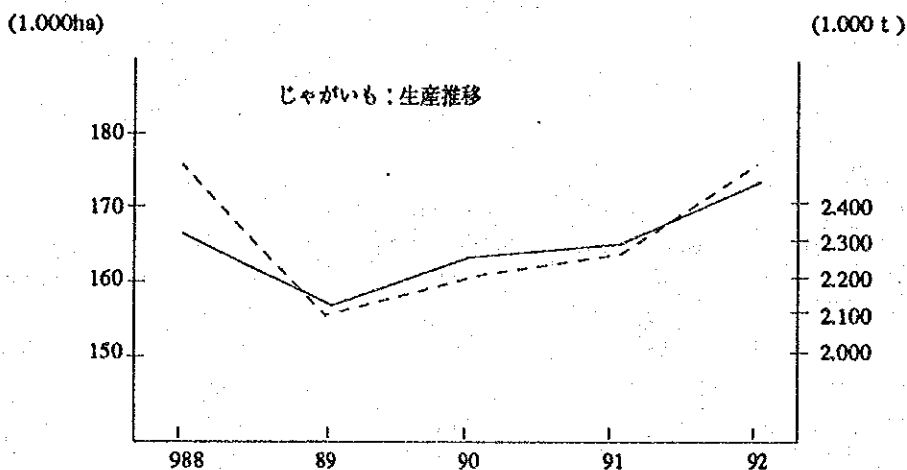


表251 じゃがいも：過去5ヶ年間の生産推移 1,000 t

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
パラナ	660,5	501,4	616,5	653,8	683,5
サン・パウロ	500,6	525,0	505,9	582,0	567,8
ミナス・ジェライス	605,4	577,1	535,1	504,5	528,7
リオ・グランデ・ド・スール	315,2	294,3	339,5	323,5	420,1
サンタ・カタリーナ	170,0	162,3	181,4	162,1	187,7
その他	63,3	72,2	40,7	29,0	43,1
全国計	2,315,0	2,132,3	2,219,1	2,264,9	2,430,9

収穫面積 1,000ha	173,7	156,8	157,8	161,0	172,5
--------------	-------	-------	-------	-------	-------

出所：IBGE

表252 じゃがいも：主要生産地の反収 Kg/ha

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
パラナ	13.403	12.790	14.927	15.716	15.569
サン・パウロ	19.740	19.962	20.155	21.241	21.266
ミナス・ジェライス	18.081	18.921	18.842	19.941	19.225



リオ・グラン・ド・スール	7.443	7.664	8.141	7.110	8.141
サンタ・カタリーナ	9.302	11.780	10.022	8.907	9.725
全国平均	13.325	13.602	14.066	14.068	14.092

出所：IBGE

## ロ) 市場

こ、3年間冬期作が乾期作の生産量をしのいできたため、季節毎に価格動向に変化をあたえており、1985年までにみられた傾向とは逆に7月から10月にかけて価格は、下降するパターンとなっている。このため、91年の下半期における生産者受取価格は、生産価格の60%に満たぬ状況にあった。1992年の上半期には、需要は押えられていたもの、生産者価格がコストをカバーする線の価格水準に戻っている。

ジャガイモ部門が直面する問題としては、メルコスール（南部共同市場）におけるアルゼンチン産品との競争がある。メルコスールは、1995年1月1日を日途にすでに圏内関税及び関税外障壁の撤廃に向ってその準備がすすめられているが、関税が撤廃され、国境にかわりなくアルゼンチン産品が自由に取引される時代に入ると、ブラジル産品は、品質と価格の面で競争力に劣り、とくに南部地方では、アルゼンチン産品に支配されるのではないかと予想が大勢を占めている。

ブラジルにおけるジャガイモの生産コストは、品質と栽培技術により、1俵（60Kg）あたり、US\$5,00から\$14,00の範囲にある。これに対し80年代の生産者価格は、US\$13,60消費者価格は、US\$28,00であった。又、種子用ジャガイモの価格は、サン・パウロ、ミナス・ジェライス及びパラナ州において1箱（30Kg入）あたりUS\$7,00～15,00間にあった。

これに対し、アルゼンチンでは、ブラジルの乾期収穫の開始時期にあたる3～4月に収穫が行われる生産コストは、1ヘクタールあたりUS\$2,500、-といわれており、反収が25tの場合、1俵あたりコストは、US\$6,00となる。1俵あたりの平均コストがUS\$6,00と低いのは、生産資材（肥料及び農薬）及び機械の価格が低いこと、融資システムが高率であること、種子用ジャガイモ価格も1俵（50Kg）あたり平均US\$7,00と安いこと及び現行の農薬規制がブラジルよりもフレキシブルであることなどがあげられる。

このような状況からアルゼンチンの生産者にとっては、4月から10月にかけての端境期にブラジルの南部のリオ・グラン・ド・スール州及びサンタ・カタリーナ州に供給出来る条件にあることを認めており、国内市場と同様に自由に取引が出来るメルコスール市場の本格的開設を待ち望んでいると伝えられている。更にドイツ系の多いブラジル南部地方では、アルゼンチンの主要品種であるSPUNTA種（白色）が受入れられること、ブエノス・アイレス、ポルト・アレグレ間の距離がブラジル国内の供給地帯（南東地方）とポルト・アレグレとの距離と同等であることなどがアルゼンチン産品にとっての強味である。

表253 雨期ジャガイモの生産コスト予想（92/93農年）

項 目	CR		US\$		構 成 比 (%)
	1 ha 当り	1 俵 当り	1 ha 当り	1 俵 当り	
A. 直接コスト					
労 務 費	305.523,09	615,97	76,17	0,15	2,15
種 子	2.600.000,00	5.241,94	648,19	1,31	18,28
肥料石灰	3.281.492,97	6.615,91	818,08	1,65	23,07
農 薬	2.356.010,16	4.750,02	587,36	1,18	16,56
機械維持費	2.467.912,16	4.975,63	615,26	1,24	17,35
袋 代	248.000,00	500,00	61,83	0,12	1,74
収穫請負費	762.046,95	1.536,38	189,98	0,38	5,36
小 計	12.020.985,84	24.235,86	2.996,86	6,04	84,50

B. 間接コスト					
機械償却費	1.130.323,58	2.278,88	281,79	0,57	7,95
金融費用	375.655,81	757,37	93,65	0,19	2,64
社会保障費	179.311,50	361,52	44,70	0,09	1,26
保険料	519.306,59	1.046,99	129,46	0,26	3,65
合計	14.225.583,31	28.680,61	3.546,47	7,15	100,00

出所：IEA サン・パウロ州、ソロカバ地区、機械耕作 1haあたり496 俵 (50Kg入) 生産の場合

注) ドルへの換算率 92年度7月度-CR 4.011,19

金融費用：農業融資利息年利12,5%

社会保障費：労務費及びトラクター運転手給与の58,69%

保険料：農業融資枠を60%とし直接コストの7,2%

表254

乾期ジャガイモの生産コスト予想 (92/93)

項目	CR		US\$		構成比 (%)
	1ha 当り	1俵 当り	1ha 当り	1俵 当り	
労務費	1.407.780	3.352	94,64	0,23	2,02
種子	20.001.016	47.621	1.344,67	3,20	28,63
肥料石灰	9.929.780	23.642	667,58	1,59	14,21
農薬	10.676.636	25.421	717,79	1,71	15,28
機械維持費	10.823.750	25.771	727,68	1,73	15,49
袋代	2.394.000	5.700	160,95	0,38	3,43
収穫請負費	1.260.000	3.000	84,71	0,20	1,80
小計	56.492.962	134.507	3.798,02	9,04	80,86
機械償却費	7.303.284	17.389	491,00	1,17	10,45
金融費用	1.765.405	4.203	118,69	0,28	2,54
社会保障費	1.860.753	4.430	125,10	0,30	2,66
保険料	2.440.496	5.811	164,07	0,39	3,49
合計	69.862.900	166.340	4.696,88	11,18	100,00

出所：IEA サン・パウロ、ソロカバ地区、機械耕作 1haあたり420 俵 (50Kg入) 収穫の場合 93年1月調査

注) 換算レート 93年度1月下旬 US\$1=CR14.874,33

### 3. 6. 2 玉ねぎ

#### イ) 生産

表255

玉ねぎ：1991年の生産実績

州別	作付面積 1.000ha	収穫面積 1.000ha	生産量 1.000 t	単収 Kg/ha
サン・パウロ	15,6	15,6	296,1	19.025
サンタ・カタリーナ	27,0	26,9	289,0	10.735
リオ・グランド・スル	17,4	17,1	110,9	6.465
バイア	6,5	6,5	86,5	13.355
ペルナンブコ	3,7	3,5	62,9	15.043
パラナ	6,0	6,0	43,6	7.232
その他	-	-	-	-

全国計	76,2	75,7	878,9	11.618
-----	------	------	-------	--------

出所：IBGE

表256

玉ねぎ：1992年の生産状況（92年10月調査）

州別	作付面積 1,000ha	収穫面積 1,000ha	生産量 1,000 t	単収 Kg/ha
サンタ・カタリーナ	29,8	29,7	309,8	10.418
サン・パウロ	12,5	12,5	247,3	19.829
リオ・グランデ・ド・スル	18,6	18,6	176,1	9.447
パラナ	7,3	7,3	55,3	7.568
ベルナンブコ	3,6	3,6	50,4	14.073
パイア	5,0	3,9	49,1	12.758
その他	0,1	-	-	-
全国計	76,9	75,6	888,0	11.748

出所：IBGE

IBGEのデータによると玉ねぎの生産は、1986年以降増加を続けている。1989年における生産量は、約800千トンであったがこの量は、精製や貯蔵における損失分を除いて月平均50千トンにあたり、当時の所得水準よりみて国内需要に見合う量であった。90年以降になると年間平均生産量は850千トンを越し、92年は、10月時点の調査で888千トンとされており、これが需要量962千トンと推定される93年5月までの市場に供給されることとなっている。

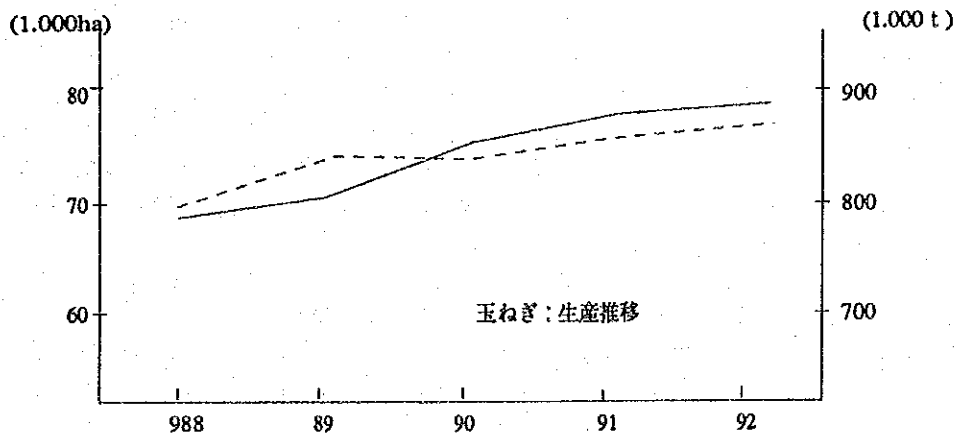


表257

玉ねぎ：過去5ヶ年間の生産推移

1,000 t

州別	1988	1989	1990	1991	1992
サンタ・カタリーナ	211,7	207,6	306,5	289,0	309,8
サン・パウロ	266,7	283,9	276,0	296,1	247,3
リオ・グランデ・ド・スル	124,3	127,4	131,6	110,9	176,1
パラナ	27,7	27,7	44,6	43,6	55,3
ベルナンブコ	28,4	41,3	34,3	62,9	50,4

その他	12,5	109,4	74,1	76,4	49,1
全国計	780,3	797,3	867,1	878,9	888,0

収穫面積 1,000ha	69,3	73,8	74,4	75,7	75,6
--------------	------	------	------	------	------

出所：IBGE

表258 玉ねぎ：主要生産地の反収

州 別	1988	1989	1990	1991	1992
サンタ・カタリーナ	9.686	8.544	11.237	10.735	10.418
サン・パウロ	16.996	17.433	17.602	19.025	19.829
リオ・グランデ・ド・スール	7.745	7.630	7.622	6.465	9.447
パラナ	5.890	6.094	8.049	7.232	7.568
ベルナンブコ	12.113	12.080	12.473	15.043	14.073
全国平均	11.240	10.802	11.653	11.618	11.748

出所：IBGE

#### ロ) 国内市場

1～5月間の国内市場は、サンタ・カタリーナ州とリオ・グランデ・ド・スール州産品によって供給され、4月～9月にかけては、南東、東北地方の収穫物にアルゼンチンよりの輸入品を加えた供給態勢が敷かれる。1～5月の市場を供給するサンタ・カタリーナ及びリオ・グランデ・ド・スール両州の生産量は、貯蔵中や精製時における損失分を差引いて月間58千トンの供給量となるが、その量は、リセッション下の国内需要に対し月間約8千トンを上回る量で供給過剰の状況となる。

4～9月間の市場に向けられるサン・パウロ州の生産量は、90～91年の平均で272千トンとなるが、これ又国内消費を上廻り、供給過剰による価格の低下から生産者の損害は、19百万ドルに達したものと想定されている。

このような生産過剰の状況は、1985年まで続けられていたのに玉ねぎの生産と供給に関する国家プラン (PLANACE) の廃止によって生じた結果とされている。農務省と生産州の農務局によって推進されていた同プランが存在していた当時は、銀行は生産融資を制限し、EMATER (技術普及公社) や農協が生産過剰とならめように指導し輸入を行うことなく、需給関係のバランスが保たれていたものであったが、これが自然消滅したあとは、コントロールの機能が失われ、無計画な生産が続き、今日の市場を形成するにいたったものである。

80年代における季節毎の価格推移は、1月から6月にかけて上昇し、下半期に下降するパターンを続けてきた。1986～90年もこの形が続き、7月から12月にかけて大巾な価格の下降があった。

1990年は6～7月にかけて供給不足により、価格が高騰したため、生産者はこの価格に刺激されて栽培面積を拡大したが、その結果、供給の過剰を招き、価格は暴落し、91年の7～12月にかけて生産コスト以下に落ちたあと、92年に入ってようやく回復するという推移を辿った。

1992年は、前年の低価格による損失にこりて栽培面積が減少したことや、東北地方が3～4月に見舞われた洪水の被害により植付けが遅延したことなどから、6月以降価格の上昇がみられた。

玉ねぎの生産コストは、サン・パウロ州ピエダーデ地区の場合、1ヘクタール当り20tの反収で1俵 (20Kg入) 当りCR10,420,27と推定されている。生産コストに大きな割合を占めたのは、肥料及び農薬の18,18%、機械維持費の17,46%、苗床11,16%等である。1俵 (20Kg入) 当りのコストはUS\$2,59、1トン当たりUS\$129,50となっている。

生産者受取価格は、1980～90年の平均でUS\$ 250,00/ト、サン・パウロ市の卸市場価格は4～7月の上昇期がUS\$ 346,29/ト、最低に落ちる12月がUS\$ 190,00/トであった。